旧 岩 手 県 営 野 球 場 解 体 工 事

工事名	旧岩手県営野球場解体工事		製 図	担 当	検 印	特記	年 月 日		図面内容 タイトル	縮尺 A1:NON A3:NON	区 分 共通	図面番号 KAK－00
							設計番号					

図　面　リ　ス　ト

【建　築】								【構　造】	
図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容
【共　通】		KAK－35	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 14【参考図】	KAS－21	矩計図No.2（解体・撤去図）	KAS－57	ファールポール詳細図（解体・撤去図）	【スタジアム】	
KAK－00	タイトル	KAK－36	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 15【参考図】	KAS－22	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 矩計図No.3（解体・撤去図）	KAS－58	外野スタンド部杭伏図、擁壁詳細図（解体・撤去図）	KSS－01	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 基礎伏図（解体・撤去図）
KAK－01	図面リスト No.1	KAK－37	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 16【参考図】	KAS－23	1塁3塁側屋外階段平面図（解体・撤去図）			KSS－02	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 2階床梁伏図（解体・撤去図）
KAK－02	図面リスト No.2	KAK－38	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 17【参考図】	KAS－24	屋外A階段詳細図（解体・撤去図）			KSS－03	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 客席床梁伏図（解体・撤去図）
KAK－03	建物解体工事特記仕様書 №1	KAK－39	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 18【参考図】	KAS－25	屋外B階段詳細図、入場券売場詳細図（解体・撤去図）			KSS－04	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 柱梁リスト（解体・撤去図）
KAK－04	建物解体工事特記仕様書 №2	KAK－40	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 19【参考図】	KAS－26	屋外C階段詳細図、手摺詳細図（解体・撤去図）	【ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ・ﾊﾞｯｸｽｸﾘｰﾝ】		KSS－05	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 床版リスト（解体・撤去図）
KAK－05	建物解体工事特記仕様書 №3	KAK－41	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 20【参考図】	KAS－27	1階 男子便所、女子便所、身障者便所詳細図（解体・撤去図）	KAB－01	ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ 外観姿図（解体・撤去図）	KSS－06	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 構造詳細図（解体・撤去図）
KAK－06	スタンド1階求積図	KAK－42	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 21【参考図】	KAS－28	2階 男子便所、女子便所詳細図No.1（解体・撤去図）	KAB－02	1・2階平面図（解体・撤去図）	KSS－07	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ E階段配筋図（解体・撤去図）
KAK－07	スタンド2階求積図	KAK－43	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 22【参考図】	KAS－29	2階 男子便所、女子便所詳細図No.2 売店、用具室、水飲み場詳細図（解体・撤去図）	KAB－03	3・R階平面図（解体・撤去図）	KSS－08	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ D階段配筋図（解体・撤去図）
KAK－08	スタンド3階求積図、スコアボード求積図、屋外便所求積図、焼却炉求積図	KAK－44	アスベスト調査表No.1 シーリングPCB含有調査表	KAS－30	屋内練習場詳細図（解体・撤去図）	KAB－04	立面図（解体・撤去図）	KSS－09	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ ﾊﾞｯｸﾈｯﾄﾜｲﾔｰ支柱詳細図（解体・撤去図）
KAK－09	附近見取り図・建物概要・配置図	KAK－45	アスベスト調査表No.2	KAS－31	研修室詳細図、研修準備室詳細図（解体・撤去図）	KAB－05	断面図（解体・撤去図）	KSS－10	1塁側 杭伏図（解体・撤去図）
KAK－10	解体・撤去工事工程フロー【参考図】	KAK－46	ダイオキシン類分析結果	KAS－32	トレーニング室詳細図（解体・撤去図）	KAB－06	矩計図（解体・撤去図）	KSS－11	1塁側 基礎伏図（解体・撤去図）
KAK－11	総合仮設計画図【参考図】	KAK－47	解体後整地図	KAS－33	身障者席詳細図（解体・撤去図）	KAB－07	階段詳細図、建具図、内外仕上げ表（解体・撤去図）	KSS－12	3塁側 基礎伏図（解体・撤去図）
KAK－12	仮設計画図（照明鉄塔足場）【参考図】			KAS－34	警備員控室、入場券売場(1)、用具室詳細図（解体・撤去図）			KSS－13	1塁側 1階柱2階梁伏図（解体・撤去図）
KAK－13	仮設計画図（スコアボード足場）【参考図】			KAS－35	土置き場、砂置き場、入場券売場(2)～(6)詳細図（解体・撤去図）	【屋外便所】		KSS－14	3塁側 1階柱2階梁伏図（解体・撤去図）
KAK－14	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 1【参考図】	【スタジアム】		KAS－36	男女更衣室、補助員室、控え室、用務員室詳細図（解体・撤去図）	KAO－01	屋外便所詳細図（解体・撤去図）	KSS－15	1塁側 2階柱R階梁伏図（解体・撤去図）
KAK－15	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 2【参考図】	KAS－01	建物概要、附近見取り図、外部仕上げ表	KAS－37	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 選手控室詳細図（解体・撤去図）			KSS－16	3塁側 2階柱R階梁伏図（解体・撤去図）
KAK－16	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 3【参考図】	KAS－02	内部仕上げ表 №1（解体・撤去図）	KAS－38	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ シャワー室・脱衣室 脱衣室前室詳細図（解体・撤去図）	【外　構】		KSS－17	1塁側 1階柱壁伏図（解体・撤去図）
KAK－17	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 4【参考図】	KAS－03	内部仕上げ表 №2（解体・撤去図）	KAS－39	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 事務室・湯沸かし室 第一会議室・医務室詳細図（解体・撤去図）	KAG－01	外構配置図（解体・撤去図）	KSS－18	3塁側 1階柱壁伏図（解体・撤去図）
KAK－18	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 5【参考図】	KAS－04	内部仕上げ表 №3（解体・撤去図）	KAS－40	1塁・3塁側 1階天井伏図（解体・撤去図）	KAG－02	外構詳細図 No.1（解体・撤去図）	KSS－19	1塁側 2階柱壁伏図（解体・撤去図）
KAK－19	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 6【参考図】	KAS－05	内部仕上げ表 №4（解体・撤去図）	KAS－41	1塁・3塁側 2階天井伏図（解体・撤去図）	KAG－03	外構詳細図 No.2（解体・撤去図）	KSS－20	3塁側 2階柱壁伏図（解体・撤去図）
KAK－20	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 7【参考図】	KAS－06	内部仕上げ表 №5（解体・撤去図）	KAS－42	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 1・2階天井伏図（解体・撤去図）	KAG－04	外構詳細図 No.3（解体・撤去図）	KSS－21	1塁側 軸組図 No.1（解体・撤去図）
KAK－21	仮設計画図（ｸﾞﾗﾝﾄﾞ側足場）No. 8【参考図】	KAS－07	全体1階平面図（解体・撤去図）	KAS－43	1塁・3塁 1階建具キープラン（解体・撤去図）	KAG－05	外構詳細図 No.4（解体・撤去図）	KSS－22	1塁側 軸組図 No.2（解体・撤去図）
KAK－22	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 1【参考図】	KAS－08	全体2階平面図（解体・撤去図）	KAS－44	1塁・3塁 2階建具キープラン（解体・撤去図）	KAG－06	汚水処理槽詳細図No.1、分離槽詳細図（解体・撤去図）	KSS－23	3塁側 軸組図 No.1（解体・撤去図）
KAK－23	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 2【参考図】	KAS－09	全体3階平面図（解体・撤去図）	KAS－45	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 建具キープランNo.1（解体・撤去図）	KAG－07	汚水処理槽詳細図No.2（解体・撤去図）	KSS－24	3塁側 軸組図 No.2（解体・撤去図）
KAK－24	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 3【参考図】	KAS－10	外野席平面図（解体・撤去図）	KAS－46	ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ 建具キープランNo.2（解体・撤去図）	KAG－08	山留工詳細図（解体・撤去図）	KSS－25	基礎断面表（解体・撤去図）
KAK－25	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 4【参考図】	KAS－11	立面図 No.1（解体・撤去図）	KAS－47	建具表No.1(1塁・3塁)（解体・撤去図）	KAG－09	花壇詳細図（解体・撤去図）	KSS－26	地中梁断面表・便所ピット配筋詳細図（解体・撤去図）
KAK－26	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 5【参考図】	KAS－12	立面図 No.2（解体・撤去図）	KAS－48	建具表No.2(1塁・3塁)（解体・撤去図）	KAG－10	焼却炉詳細図（解体・撤去図）	KSS－27	梁断面表 NO.1（解体・撤去図）
KAK－27	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 6【参考図】	KAS－13	1塁側1階平面図（解体・撤去図）	KAS－49	建具表No.3(1塁・3塁)（解体・撤去図）	KAG－11	植栽配置図（解体・撤去図）	KSS－28	梁断面表 NO.2（解体・撤去図）
KAK－28	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 7【参考図】	KAS－14	3塁側1階平面図（解体・撤去図）	KAS－50	建具表No.4(ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ)（解体・撤去図）			KSS－29	柱断面・床版断面・壁断面表（解体・撤去図）
KAK－29	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 8【参考図】	KAS－15	1塁側2階平面図（解体・撤去図）	KAS－51	建具表No.5(ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ)（解体・撤去図）			KSS－30	鉄筋架構詳細図 NO.1（解体・撤去図）
KAK－30	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 9【参考図】	KAS－16	3塁側2階平面図（解体・撤去図）	KAS－52	扉・フェンス詳細図（解体・撤去図）			KSS－31	鉄筋架構詳細図 NO.2（解体・撤去図）
KAK－31	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 10【参考図】	KAS－17	1塁側観客席平面図（解体・撤去図）	KAS－53	家具備品リスト（解体・撤去図）			KSS－32	屋外A階段配筋詳細図（解体・撤去図）
KAK－32	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 11【参考図】	KAS－18	3塁側観客席平面図（解体・撤去図）	KAS－54	外野席階段詳細図（解体・撤去図）			KSS－33	屋外B・C・D階段配筋詳細図（解体・撤去図）
KAK－33	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 12【参考図】	KAS－19	1塁・3塁 断面図（解体・撤去図）	KAS－55	外野席フェンス割付図（解体・撤去図）			KSS－34	鉄骨軸組図（解体・撤去図）
KAK－34	仮設計画図（ｽﾀﾝﾄﾞ下部足場）No. 13【参考図】	KAS－20	矩計図No.1（解体・撤去図）	KAS－56	フェンス詳細図（解体・撤去図）			KSS－35	鉄骨架構詳細図 NO.1（解体・撤去図）

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日 / 設計番号	図面内容：図面リストNo.1	縮尺：A1:NON A3:NON	区分：共通	図面番号：KAK－01

図　面　リ　ス　ト

【構　造】		【電　気　設　備】				【機　械　設　備】			
図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容	図面番号	図　面　内　容
ＫＳＳ―　３６	鉄骨架構詳細図 NO.2（解体・撤去図）	【スタジアム】		【外　構】		【スタジアム】			
ＫＳＳ―　３７	バックネット詳細図 NO.1（解体・撤去図）	ＫＥＳ－０１	受変電設備単線結線図（解体・撤去図）	ＫＥＧ－　０１	屋外配線設備 No.1（解体・撤去図）	ＫＭＳ－０１	１階全体平面図（解体・撤去図）		
ＫＳＳ―　３８	バックネット詳細図 NO.2（解体・撤去図）	ＫＥＳ－０２	分電盤結線図 No.1（解体・撤去図）	ＫＥＧ－　０２	屋外配線設備 No.2（解体・撤去図）	ＫＭＳ－０２	２階全体平面図（解体・撤去図）		
		ＫＥＳ－０３	分電盤結線図 No.2（解体・撤去図）			ＫＭＳ－０３	換気・衛生設備　一塁側１階平面図（解体・撤去図）		
【照明鉄塔】		ＫＥＳ－０４	分電盤結線図 No.3（解体・撤去図）			ＫＭＳ－０４	換気・衛生設備　三塁側１階平面図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０１	照明鉄塔詳細図 NO.1（解体・撤去図）	ＫＥＳ－０５	幹線設備１階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－０５	換気・衛生設備　一塁側２階平面図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０２	照明鉄塔詳細図 NO.2（解体・撤去図）	ＫＥＳ－０６	幹線設備２階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－０６	換気・衛生設備　三塁側２階平面図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０３	照明鉄塔配置図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－０７	電灯設備１階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－０７	換気・衛生設備　機器表・冷暖房設備平面図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０４	照明鉄塔一般図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－０８	電灯設備２階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－０８	衛生設備　衛生器具表（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０５	照明鉄塔 塔柱図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－０９	コンセント設備１階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－０９	衛生設備　①②便所詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０６	照明鉄塔 灯具取付架台図 NO.1（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１０	コンセント設備２階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－１０	衛生設備　③④便所詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０７	照明鉄塔 灯具取付架台図 NO.2（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１１	防災照明設備１階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－１１	衛生設備　⑤⑥⑦⑧便所詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０８	照明鉄塔 補強詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１２	防災照明設備２階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－１２	衛生設備　⑨⑩便所詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－０９	照明鉄塔 ハッチ詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１３	防災照明設備３階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－１３	衛生設備　⑪⑫便所詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－１０	照明鉄塔 内部タラップ詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１４	放送他弱電設備１階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－１４	衛生設備　各室詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－１１	照明鉄塔 外部タラップ詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１５	放送他弱電設備２階平面図（解体・撤去図）			ＫＭＳ－１５	衛生設備　受水槽詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－１２	照明鉄塔 吊金具詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１６	監視カメラ設備１階平面図（解体・撤去図）						
ＫＳＴ－１３	照明鉄塔 ｷｬｯﾄｳｫｰｸｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１７	自動火災報知設備１階平面図（解体・撤去図）						
ＫＳＴ－１４	照明鉄塔 ﾊｯﾁ開閉器詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１８	自動火災報知設備２階平面図（解体・撤去図）			【屋外便所】			
ＫＳＴ－１５	照明鉄塔 荷揚げ用開口部詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＳ－１９	空調配線設備平面図（解体・撤去図）			ＫＭＯ－０１	衛生器具表　屋外便所詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－１６	照明鉄塔 避雷針支持管詳細図（解体・撤去図）								
ＫＳＴ－１７	照明鉄塔 内部ケーブルラック詳細図（解体・撤去図）								
ＫＳＴ－　１８	照明鉄塔 照明器具取付台座詳細図（解体・撤去図）	【ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ・ﾊﾞｯｸｽｸﾘｰﾝ】				【外　構】			
ＫＳＴ－　１９	照明鉄塔 接地用台座詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＢ－０１	構内幹線設備平面図（解体・撤去図）			ＫＭＧ－　０１	構内給排水設備（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－　２０	照明鉄塔 灯具受け金具詳細図（解体・撤去図）	ＫＥＢ－０２	構内電灯設備平面図（解体・撤去図）			ＫＭＧ－　０２	構内旧給排水残管設備（解体・撤去図）		
ＫＳＴ－　２１	照明鉄塔 基礎・杭伏図（解体・撤去図）	ＫＥＢ－０３	電灯設備平面図（解体・撤去図）			ＫＭＧ－　０３	グランド散水設備（解体・撤去図）		
		ＫＥＢ－０４	機器設備仕様書（解体・撤去図）			ＫＭＧ－　０４	グランド散水残管設備（解体・撤去図）		
【ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ・ﾊﾞｯｸｽｸﾘｰﾝ】						ＫＭＧ－　０５	グランド内暗渠排水設備（解体・撤去図）		
ＫＳＢ―　０１	基礎伏図（解体・撤去図）	【屋外便所】				ＫＭＧ－　０６	グランド内暗渠排水設備詳細図（解体・撤去図）		
ＫＳＢ―　０２	梁伏図、部材ﾘｽﾄ（解体・撤去図）	ＫＥＯ－０１	屋外便所平面図（解体・撤去図）						
ＫＳＢ―　０３	軸組図（解体・撤去図）								
ＫＳＢ―　０４	鉄骨詳細図（解体・撤去図）								
		【照明鉄塔】							
		ＫＥＴ－　０１	受変電設備単線結線図（解体・撤去図）						
【屋外便所】		ＫＥＴ－　０２	幹線設備平面図（解体・撤去図）						
ＫＳＯ―　０１	屋外便所　構造図（解体・撤去図）	ＫＥＴ－　０３	電灯設備平面図（解体・撤去図）						

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日 / 設計番号	図面内容	縮尺	区分	図面番号
							図面リストNo.2	A1:NON A3:NON	共通	KAK－02

建築物解体工事　特記仕様書

Ⅰ．工事概要　旧岩手県営野球場解体工事

1．工事場所　盛岡市三ツ割四丁目8番4ほか
住居表示：盛岡市三ツ割四丁目９番２号
2．敷地面積　88,988.64㎡
3．工事種目
用途　スタンド棟、照明鉄塔、スコアボード、屋外便所1～3、外構
構造・規模・延べ面積
スタンド棟:SRC造一部RC造 3階建て(メインスタンド RC造、1塁･3塁 SRC造)13,258.20㎡
照明鉄塔：鉄骨造 高さ40.7m　6基
スコアボード棟：鉄骨造 3階建て　312.90㎡
屋外便所棟1～3：RC造 平屋建て　各30㎡
外構：施設看板、外灯、第1駐車場内の焼却炉、舗装、側溝、
　フェンス（一部敷地境界部は除く）　等
4．工事内容　建築解体工事一式
電気設備解体工事一式
機械設備解体工事一式
外構解体工事一式
第1駐車場 約 4,892㎡、東側アプローチ傾斜路(水平投影面積) 約 633㎡、
その他 約44,182㎡
5．別途工事　な し

Ⅱ　解体工事仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和７年版）以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和７年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2）本特記仕様書の表記
1）項目は、⊙印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と㊟印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の《　.　.　》内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）特記事項に記載の（　.　.　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5）特記事項に記載の［　.　.　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項

1章 共通事項

①.適用基準
1）図面、本特記仕様書、解体共通仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。
・公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
2）本特記仕様書における「標準詳細図」とは次の基準を示す。
建築工事標準詳細図（令和４年版）
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課　監修

②.工事実績情報システムへの登録
⊙適用する　(1.1.4)

③.工事の記録等
報告に用いる書式等　(1.2.3)
※監督職員と協議による

④.工事現場管理　(1.3.1～1.3.3)
解体施工に携わる下請人について、「建設リサイクル法」に基づく要件を証明する資料を監督職員に提出する。
建設副産物対策等の責任者を選任して監督職員に報告する。
電気保安技術者　⊙適用する　・適用しない

⑤.施工条件
⊙工事用車両の駐車場及び資機材置場　(1.3.5)
※第3駐車場は作業員用の駐車場としての利用は認めるが、解体重機および資材の仮置きは禁止とする。
⊙現場説明書による
・解体共通仕様書1.3.5以外の施工条件
・図示による　・
⊙その他
第3駐車場の外構撤去前には文化財保護法第94条の通知が必要となりますが、通知は岩手県スポーツ振興課が行います。
外灯の基礎撤去時には、岩手県教育委員会が現場確認を行うため、その際は、現場代理人の立会いが必要となります。
また、アスファルト舗装は路盤までの撤去であれば通知不要ですが、路盤下を掘削する場合は再度協議が必要となります。

⑥.発生材の処理
・発注者に引渡しを要するもの　(1.3.10)
・金属類、PCB含有物
⊙工事現場において再利用及び再資源化を図るもの
⊙図示によるによる

⑦.石綿含有建材の調査
石綿含有建材の事前調査　(1.4.1)
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（⊙ ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ棟 軒天・図示　）※設計時石綿定性調査会社　エヌエス環境株式会社
貸与資料（　　　　　）

⊙分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、
クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材　料　名	定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
⊙ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ t4 VP	・ 1 箇所	・ 箇所
⊙予備調査	・ 5 箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数　1箇所あたり３サンプル
採取箇所　⊙図示　（KAB-02 ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ1、2階平面図）

8.施工調査
施工数量調査　(1.5.2)
調査範囲　・図示による
調査方法　・図示による
調査報告書の提出部数　・2部　・

⑨.施工
技能士　(1.6.2)

適用工事種別	職　種	技能検定の作業の種別
仮設工事	と　び	⊙とび作業
排水工事	配　管	⊙建築配管作業
植栽工事	造　園	⊙造園工事作業
		・

⑩.工事検査
技術検査　(1.7.2)
工事施工途中の技術検査の実施
・行わない
⊙行う（⊙実施回数等は発注者の指示による　・　）

⑪.完成時の提出図書
工事完成時の提出図書
提出部数（　）部　提出仕様（⊙紙ベース　⊙電子データ　・　）
※ 完成図（竣工図）は施工請負者が作成し、製本及びＣＡＤデータを発注者及び監理者へ提出すること。
提出部数・製本サイズは発注者の指示による。

⑫.完成写真
※工事完成時に完成写真を撮影し、監督職員に提出する
撮影箇所及び提出サイズ、仕様
※監督員の指示による　・

2章 仮設工事

①.騒音・粉塵等の対策
騒音・粉塵等の対策　(2.2.1)
※防音パネル
・防音シート
設置範囲及び高さ　・図示による

②.足場等　(2.2.2)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場　・枠組足場　・単管足場　⊙くさび緊結式足場足場

③.仮設物
監督職員事務所　(2.3.1)
・設ける（規模、仕上、備品及び数量等は現場説明書による）
⊙設けない

④.山留め
山留め　(2.4.1)(2.4.3)(3.9.1)
⊙設ける（設置範囲、工法、仕様、深さ等は図示による）
鋼矢板等の抜き後の処理
⊙直ちに砂等で充填する
※汚水槽撤去に伴う山留計画のため地盤の地質調査を実施する。
調査箇所：第２駐車場
調査方法：ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ調査(標準貫入試験)GL-12.00mまで 1箇所
そ の 他：液状化の検討
報告書作成・提出：１式

⑤.工事用電力用水
工事用水（構内既存の施設）
・利用できる（・有償　・無償）⊙利用できない
工事用電力（構内既存の施設）
・利用できる（・有償　・無償）⊙利用できない

3章 解体施工

①.事前措置　(3.2.1)
浄化槽、排水槽等
⊙解体共通仕様書3.2.1（コ）による事前措置を行う
オイルタンク等
⊙解体共通仕様書3.2.1（サ）による事前措置を行う

②.解体方法
解体の方法　⊙手作業
⊙手作業及び機械による作業

③.基礎及び杭　(3.9.1)
杭の解体　⊙行う（・杭頭から　mまで　⊙全長）
杭の種別、径、長さ、撤去範囲等　⊙ 図示による
杭の解体方法　⊙引抜き工法（　硬質地盤ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法　）
・粉砕による解体　・図示による
引抜き後の処理
⊙直ちに砂等で充填する

④.工作物等
解体する工作物等　(3.10.1)

名　称	解体範囲、構造、仕様、寸法等
・	・図示による

⑤.構内舗装、樹木等
⊙構内舗装の解体　⊙アスファルト舗装　(3.11.1)
・コンクリート舗装
・
解体の範囲、仕様、寸法等　⊙図示による
樹木の伐採抜根及び移植
⊙行う（範囲、樹種、寸法、移植場所等：図示による）

⑥.地下埋設物 埋設配管
地下埋設物及び埋設配管の解体　(3.12.1)
⊙行う（範囲、種別、仕様、寸法等：図示による）

⑦.解体後の整地
解体後の埋戻し及び盛土　(3.13.1)
⊙行う
整地高さ
・ 現状ＧＬ　⊙ 図示による
埋戻し及び盛土の材料
⊙ 山砂の類
⊙ 他現場の建設発生土の中の良質土
・ 再生コンクリート砂
埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。
・荒整地のみ行う
・行わない

4章 建設廃棄物の処理

①.再資源化
※本特記仕様書で記載する各種処理施設名称は参考であり、採用については受注者の選定により、施工計画書により監督職員に報告する。

再資源化する建設廃棄物の処理施設名称　(4.4.1)

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等（参考）
⊙コンクリート	有限会社古川重機 姫神ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ 盛岡市玉山馬場字前田200-5 株式会社佐藤興産ECOｾﾝﾀｰ 盛岡市乙部5-320-1
⊙コンクリート及び鉄から成る建設資材	有限会社古川重機 姫神ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ 盛岡市玉山馬場字前田200-5
⊙アスファルトコンクリート	有限会社古川重機 姫神ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ 盛岡市玉山馬場字前田200-5
⊙木材、繊維屑	㈲古川重機古川ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ 盛岡市下田字古河川原952、955-4及び948-4
⊙金属類	株式会社佐藤興産ECOｾﾝﾀｰ　盛岡市乙部5-320-1 ㈱青南商事　紫波郡矢巾町大字藤沢第10地割183-3
⊙芝 ※土を振るい落しのうえ搬出	盛岡市クリーンセンター 盛岡市上田字小鳥沢148-25
・小型二次電池	

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等（参考）
・水銀使用ランプ	・する ・しない	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・する ⊙しない	株式会社佐藤興産ECOｾﾝﾀｰ 盛岡市乙部5-320-1
⊙ガラス	⊙する ・しない	株式会社佐藤興産ECOｾﾝﾀｰ 盛岡市乙部5-320-1

木材を指定建設資材廃棄物として縮減（焼却等）する場合
⊙適用可（縮減する）　・縮減しない

再資源化して現場利用する建設廃棄物

種　類	利用する用途、箇所等
⊙ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ	一部現場で破砕後整地時に場内敷き均し
⊙ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装路盤	整地時に場内敷き均し
⊙建設発生土	発生土の一部は基礎埋戻し土として利用
・	

(4.4.2)
※鉄筋コンクリートを現場で破砕し、再生クラッシャランとして利用する場合は、標準仕様書表22.3.1によることとし、すりへり減量(JIS A 1121)を50%以下とする。

2.産業廃棄物広域認定制度
広域認定廃棄物の活用

廃棄物の種類	処理施設の名称等
・	(4.4.3)
・	

③.最終処分場
※処分施設は受注者の選定により、施工計画調査により監督職員に報告する。
・安定型最終処分

廃棄物の種類	処分施設の名称等（参考）
⊙ｱｽﾍﾞｽﾄ吹付処理材	岩手ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ　奥州市江刺岩谷堂字大沢田113
⊙ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材（成形材）	岩手ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ　奥州市江刺岩谷堂字大沢田113
⊙廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	株式会社佐藤興産ECOｾﾝﾀｰ　盛岡市乙部5-320-1

・管理型最終処分

廃棄物の種類	処分施設の名称等（参考）
・	
・	
・	
・	
・	

4.処理に注意を要する建設廃棄物　(4.5.1)

廃棄物の種類	処理施設の名称等（参考）	備　考
・CCA処理木材		
・ヒ素・カドミウム含有せっこうボード		・製造業者による処分 ・管理型最終処分場
・		

参考：ヒ素・カドミウム含有石膏ボード　(2019年9月時点)
1, タイガーボード　小名浜吉野（株）いわき工場
昭和48年3月～平成9年4月製造
2, アドラせっこうボード　日東石膏ボード（株）八戸工場
平成4年10月～平成9年4月製造
・石綿非含有石膏ボード及びヒ素・カドミウム非含有石膏ボードの処理
・再資源化施設で再資源化する
・管理型最終処分場で埋め立て処分する

5章 特別管理産業廃棄物等の処理等

①.施工計画調査
※本特記仕様書で記載する各種処理施設名称は参考であり、採用については受注者の選定により、施工計画書により監督職員に報告する。
(5.1.2～3)
特別管理産業廃棄物の調査に基づき処理計画を定め、施工計画書を監督職員に提出する。

特別管理産業廃棄物	種類、製造所、製造年、型式等等	使用箇所
⊙ 焼却炉ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類除去時発生汚泥		第1駐車場 焼却炉
・		
・		
・		

②.特別管理産業廃棄物の処理
⊙分析調査　・行う
⊙行わない　(5.4.1)
※ダイオキシン類濃度・重金属類濃度は調査済
PCBを含む機器類の処理
・微量PCBの分析調査
・行う　(調査材料名：図示　調査個所：図示　)
PCB含有シーリング材の処理
⊙分析調査　※PCB含有の恐れのあるシーリング材は調査済
・行う　(調査材料名：図示　調査個所：図示　)
・撤去箇所、範囲等は図示による。
廃油の処分方法
・焼却処分
・中間処理施設で再生処理
廃酸、廃アルカリの処理
・中和処理
・焼却処分
・中間処理施設で再生処理
ダイオキシン類の処理
サンプリング調査の適用
・適用する　⊙適用しない
解体及び処分方法
⊙関係法令の基づき施工計画書を作成の上、監督職員に提出する。

6章 石綿含有建材の除去等

① 石綿粉じん濃度測定

⊙外壁下地調整材除去　　24 箇所　　(6.1.3)

⊙石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　点
⊙	測定3	処理作業中	処理作業室内 外	⊙計 16 点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
⊙	測定7	処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	処理作業室内 外	⊙計 8 点
・	測定8	処理作業後ｼｰﾄ撤去後1週間以降	処理作業室内	・計　点
・	測定9		調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定４ ・測定５	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定４ ・測定５	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
⊙測定　3、7 ・	25	5	120

⊙軒天、天井吹き付け材除去　　箇所　※外壁数量に含む

⊙石綿粉じん濃度測定　　(6.1.3)

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　点
⊙	測定3	処理作業中	処理作業室内 外	・計　点 ※外壁数量に含む
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
⊙	測定7	処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	処理作業室内 外	・計　点 ※外壁数量に含む
	測定8	処理作業後ｼｰﾄ撤去後1週間以降	処理作業室内	・計　点
	測定9		調査対象室外部の付近	・計　点

② 石綿含有建材の除去

⊙含有建材は、仕上表の「アスベスト含有材」による。　(6.3.2～3)

・石綿含有吹付け材の除去
　除去対象範囲　・図示による
　除去工法　※6.3.2(1)による　・
　除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
　　※湿潤化　・固形化
　除去した石綿含有吹付け材等の処分
　・埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去　(6.4.1)
　除去対象範囲　・図示による
　除去工法　・切断又は破砕して除去　・手ばらし
　除去した石綿含有保温材等の飛散防止
　　※湿潤化　・固形化
　除去した石綿含有保温材等の処分
　・埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有成形板等の除去　(6.5.1)（6.5.3)
　飛散防止の養生
　　・行う（・養生シート　・　）
　　⊙行わない
　除去対象範囲　・図示による
　除去した石綿含有成形板等の処分
　　⊙石綿含有せっこうボード　※いわてクリーンセンター
　　　※埋立処分（管理型最終処分場）
　　⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等
　　　・埋立処分（安定型最終処分場）※いわてクリーンセンター
　　　・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有仕上げ塗材の除去　(6.6.1～6.6.4)
　除去対象範囲　⊙図示
　石綿含有仕上げ塗材の除去工法
　　⊙電気グラインダー工法（⊙湿潤化　・　）
　　⊙高圧洗浄工法（ウォータージェット工法）
　　・
　除去した石綿含有仕上げ塗材（汚泥）の処理
　　⊙埋立処分（管理型最終処分場）

高圧水洗工法工事計画フロー（参考）

○高圧水洗工法の作業手順

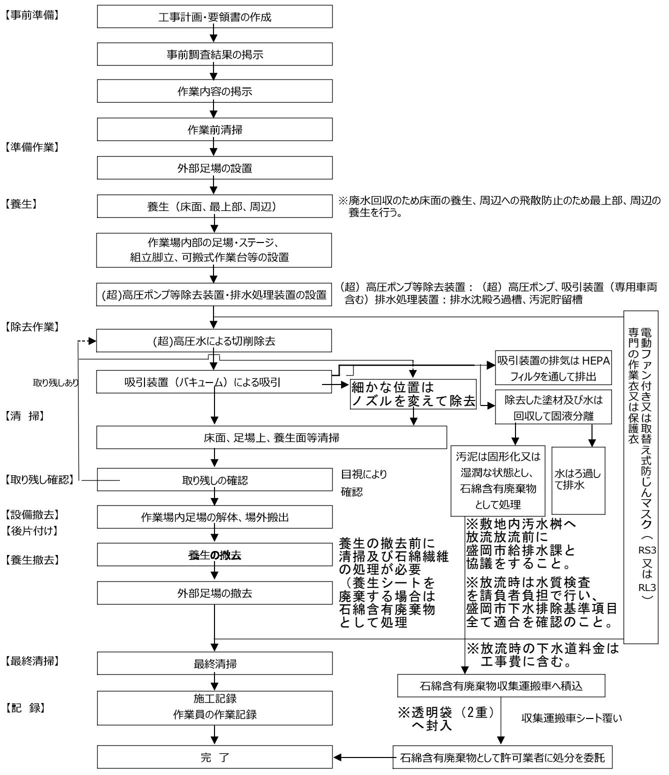
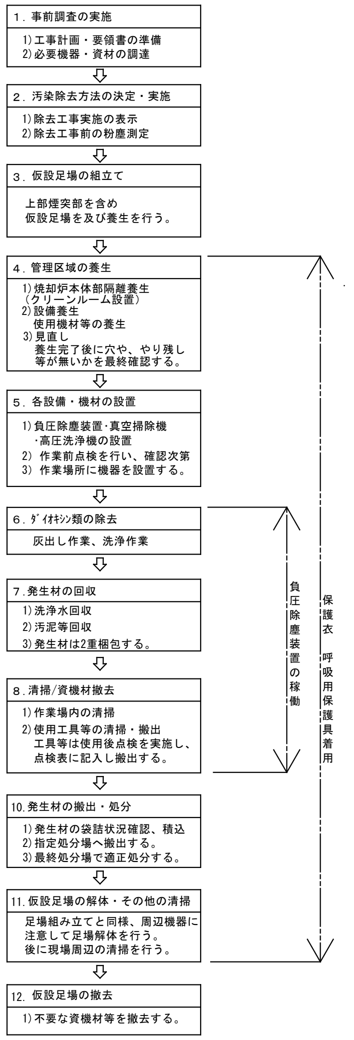


図4.12.3 高圧水洗工法の手順

⊙ 関係諸官庁への届出・関連法令を遵守し飛散防止に努める。処分は適切に行うこと。
⊙ 施工手順は、、監督員の承諾を得る事。
⊙ 施工前確認事項
　1. 使用機器の確認（下地コンクリート面に達するまで完全に除去できるか）
　2. 養生内での使用による有機溶剤中毒等の恐れ（換気、防護マスク着用の検討）
　3. 臭気の影響
　4. 作業性など
⊙ 施工共通事項
　1. 石綿作業主任者・除去作業者・特別管理産業廃棄物管理責任者を選定すること。
　2. 大防法・安衛法及び石綿則に定める表示および掲示を行う。
　3. 作業に応じた適切な呼吸用保護具及び保護衣・作業衣の着用。
　4. 事前調査・作業記録は保存すること。
⊙ 養生
　1. 隔離工法としない（剥離剤使用により）
　2. 解体足場（各段）に養生シート（防水シート）のほか、足場上部へも養養生シートで飛散防止を図る。
　3. 足場下部には、養生シート（防水シート）を敷き飛散防止を図る。
　4. 施工区から外に出る際は、作業着に付着している可能性がある粉塵を除去する計画をすること。
⊙その他
　1. 集積袋は、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製（t=0.1mm以上）または同等品以上とし、二重袋詰めとすること。
　2. 袋には石綿廃棄物（特別管理産業廃棄物）及び取扱注意事項を明記すること。
　3. 特記仕様書に明記してある大気分析を実施すること。

焼却炉解体工事計画フロー（参考）



⊙ 関連法令を遵守し飛散防止に努める。処分は適切に行うこと。
⊙ 施工手順は、監督員の承諾を得る事。
⊙ 施工前確認事項
　1. 使用機器の確認
　2. 養生内での使用による有機溶剤中毒等の恐れ（換気、防護マスク着用の検討）
　3. 臭気の影響
　4. 作業性など
⊙ 施工共通事項
　1. 除去作業者を選定する事。
　2. 安衛法に定める表示および掲示を行う。
　3. 作業に応じた適切な呼吸用保護具及び保護衣・作業衣の着用。
　4. 事前調査・作業記録は保存すること。

⊙ 養生
　1. 解体足場（各段）に養生シートのほか、足場上部へも養養生シートで飛散防止を図る。
　2. 足場下部には、養生シート2重を敷き飛散防止を図る。
　3. 施工区から外に出る際は、作業着に付着している可能性がある粉塵を除去する計画をすること。
⊙その他
　1. 集積袋は、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製（t=0.1mm以上）または同等品以上とし、二重袋詰めとすること。
　2. 袋には（特別管理産業廃棄物）及び取扱注意事項を明記すること。

7章 特殊な建設副産物の処理

① 施工計画調査

特殊な建設副産物の調査に基づき処理計画を定め、施工計画書を監督職員に提出する。

特殊な建設副産物	種類、製造所、製造年、型式等等	使用箇所
・フロン、ハロン		
・六ふっ化硫黄ガス		
・PFOS		
・特定化学物質		(7.1.3)

⊙分析調査　・行う
　　　　　　⊙行わない

2. 特殊な建設副産物の処理等

処理等

特殊な建設副産物	処理及び回収等
・冷媒フロン	※登録を受けた回収業者に回収委託
・建材用断熱フロン	※焼却による破壊処理可能な処理施設
・ハロン	※ハロン消火設備設置業者等に処理委託
・イオン化式感知器	※法令に基づき製造業者等に処理委託　(7.3.1)
・六ふっ化硫黄ガス	※製造業者等に処理委託
・PFOS	※廃棄物処理業者に処理委託
・特定化学物質	※関係法令に基づき、処理業者に処理委託
・	

20-2 ユニット及びその他の工事（建築新営工事）

⊙フェンス
　フェンスの種類
　　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
　　⊙樹脂塗装メッシュフェンス
　　・鋼管フェンス
　　・アルミフェンス
　高さ
　　⊙図示による　・

⊙屋外掲示板
　枠の材質
　　※アルミニウム製
　　⊙掲示板 基材SUS304 t 1.0
　表面の材質
　　※塩ビ発泡シート張り
　　⊙ｴｯｼﾞﾝｸﾞ文字

⊙敷地境界石
※既設井戸位置表示
　種類
　　・コンクリートブロック製（市販品）
　　・花こう岩類（文字記号等入り）
　　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ製杭　（天面 田）60×60×H450（市販品）

21-2 舗装工事（建築新営工事）

⊙砂利敷き
　種別　(22.9.2)(表22.9.1)
　　通路　※A種　・図示による
　　建築物周囲その他　※B種　・図示による
　　解体後整地　⊙解体ｺﾝｸﾘｰﾄ破砕品　・図示による
　厚さ、施工範囲　⊙図示による　・

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日 / 設計番号	図面内容	縮尺	区分	図面番号
							建物解体工事特記仕様書 No.2	A1:NON A3:NON	共通	KAK－04

旧岩手県営野球場解体工事　設備解体特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　盛岡市三ツ割四丁目8番4ほか　　住居表示：盛岡市三ツ割四丁目９番２号

2．敷地面積　　88,988.64㎡

3．工事種目

建物名称	構　造	階数 地上	階数 地下	階数 塔屋	建築基準法による延べ面積（㎡）	解体区分	備　考
スタンド棟	SRC造一部RC造	3			13,258.20		
照明鉄塔	S造						高さ40.7m　6基
ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ棟	S造	3			312.90		
屋外便所棟	RC造	1			30.0		３棟

4．工事内容

建築解体に伴う電気・機械設備の解体撤去、処分

外構解体に伴う屋外電気・機械設備の解体撤去、処分

Ⅱ　解体工事仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。

図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編（令和７年版）」並びに同「（機械設備工事編（令和７年版）」（以下「改修工事標準仕様書」という）による

（2）本特記仕様書の表記

本特記仕様書は、●印のものを適用し、○印のものは適用しない。

電気設備工事

1．共通仕様

● 解体工事特記仕様書（建築工事）による。

2、特記仕様

（1）一般共通事項

● 発生材の種類、処理等は工事補足説明事項による。

● 分析調査

○ 有り

○ 微量ＰＣＢ含有調査　（　　　　）

○ 石綿含有調査　（　　　　）

○

● 無し（解体共通仕様書による「施工調査」の結果、分析調査の必要が生じた場合は監督職員と協議すること）

（2）取りこわし内容

● 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。（地下埋設物、埋設配管を含む）

● 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し又は回収する。これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。

1）廃棄物等（「施工調査」の結果、●印以外の廃棄物等が確認された場合はは監督員と協議すること。）

再資源化を図るもの

○ 小型二次電池

● 蛍光ランプ及びＨＩＤランプ（水銀リサイクル共）

○

特別管理産業廃棄物

○ 石綿含有材　（○　　　　）

○ ＰＣＢ含有機器　（○蛍光灯安定器　○変圧器　○　　　）

○ 廃油　（○　　　　）

○ 廃アルカリ　（○アルカリ蓄電池　○　　　）

特殊な建設副産物

○ イオン化式感知器

○ 六ふっ化硫黄（SF6）ガス（○ガス絶縁開閉器　○　　　）

2）機器類

● 受変電盤

○ 直流電源装置

○ 発電装置

○

機械設備工事

1．共通仕様

● 解体工事特記仕様書（建築工事）による。

2．一般事項

● 撤去前に内容物（冷媒・吸収液・廃油等）の回収を要する機器、配管等の処置

・事前に回収し、洗浄等の処置を行う

● 官公署への手続き等

工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。

種　別	手　続　等
○ 貯油槽	○ 廃止届
● 給水装置	○ 廃止届　● 休止届
● 排水設備	○ 廃止届　● 休止届
○ 都市ガス設備	○ 廃止届
○ ボイラー	○ 廃止届
○ 浄化槽	○ 廃止届
○ 昇降機	○ 廃止届
○	

3，撤去

○ 廃酸・廃アルカリ処分

吸収冷凍機、吸収冷温水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜取費用は（・本工事　・別途）とする。

○ ダイオキシン類処理

焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は（・本工事　・別途）とする。

○ 廃油処理

オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は（・本工事　・別途）とする。

● 冷媒（フロン類）の回収

冷凍機、パッケージ形空気調和機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第３編2.4.3により適切に行うこと。

ただし、家電リサイクル対象機器は除く。冷媒回収の費用は（・本工事　・別途）とする。

○ 家電リサイクル

対象機器は（　　　　）とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。（リサイクル料金は本工事に含む）

○ 汚泥、汚水処理

浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。

ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収、処分費は（・本工事・別途）とする。

● 屋外設備

○ 給水装置

○ 本管にて閉栓とする。

● 敷地内第１弁を閉とじプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

● 排水設備

○ 本管にて閉止とする。

● 公設桝にてキャップ止めとする。

○ 都市ガス設備

○ 本管にて閉栓とする。

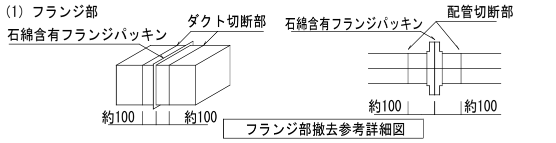
○ 敷地内第１弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

●アスベスト含有製品処理

ダクト及び配管のフランジパッキン、たわみ継手及び配管エルボ・チーズ部の保温材の処理方法は以下による。

撤去するフランジ部、たわみ継手及びエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ、エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクトと配管とは別に廃棄を行う。

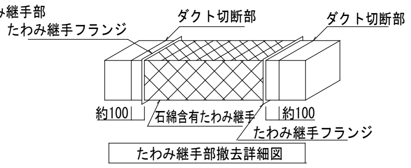
(1) フランジ部



フランジ部撤去参考詳細図

1．切断にあたり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
2．フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3．片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
4．切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

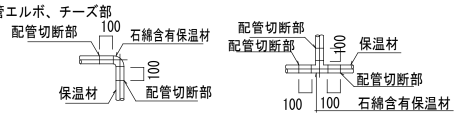
(2) たわみ継手部



たわみ継手部撤去詳細図

1．石綿含有たわみ継手の撤去はたわみ継手の前後フランジ部から約100mm間隔を開けてダクトを切断する方法とする。なお、フランジ部の撤去については前述するフランジ部撤去と同じ方法とする。ただし、石綿含有たわみ継手の切断及びフランジの分解を行わないように注意する。

(3) 移管エルボ、チーズ部



配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図

1．切断にあたり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2．保温材部両側約１００mmの箇所において慎重に切断する。
3．切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

● 配管種別（既設配管）

	配管種別	配　管　材　料
空気調和	○ 冷温水、冷却水	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● ドレン管	● 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● 油	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　● 銅管
	○ 蒸気	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　○ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	● 冷媒管	● 冷媒用被覆銅管
給水	● 屋内給水管	● 水道用亜鉛メッキ鋼管　● 塩ビライニング鋼管　● ポリエチレン粉体ライニング鋼管
	● 屋外給水管	● 水道用硬質塩化ビニル管（VW）　● ポリエチレン管　● 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
給湯	● 給湯管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 銅管
排水	● 汚水管	● 排水用鋳鉄管　○ 塩ビライニング鋼管　● 鉛管　●ビニル管
	● 雑排水管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）　●ビニル管
	● 通気管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）　●ビニル管
	● 屋外排水管	● コンクリート管　● ビニル管（ＶＰ）
ガス	● 屋内ガス管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 屋外ガス管	○ ガス用ポリエチレン管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

● ダクト種別（● 亜鉛鉄板　○ 鋼板製）

● 保温種別　（● ロックウール保温材　● グラスウール保温材　● ポリスチレンフォーム保温材　● 化粧ケース（樹脂製））

● 衛生器具　（● 陶器製　○ ＳＵＳ製）

Ⅲ．取りこわし内容

（1）共通

● 図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。

● コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。

● ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。

○ オイルタンク

○ オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。

○ オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。

○ オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。

○

○ 浄化槽

○ 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。

○ 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。

○

● 屋外設備

● 配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。

● 屋外給水配管の埋設深さは６００Ｈ～９００Ｈとする。

○ 屋外ガス配管の埋設深さは６００Ｈとする。

● 給水装置

○ 本管にて閉栓とする。

● 敷地内第１弁を閉としプラグ止めの上、埋設表示杭設置とする。

● 排水設備

○ 本管にて閉止とする。

● 公設桝にてキャップ止めとする。

○ 都市ガス設備

○ 本管にて閉栓とする。

○ 敷地内第１弁を閉としプラグ止めの上、埋設表示杭設置とする。

● 石綿含有設備資材撤去リスト

種　類	寸　法	箇所	備　考（ダクト板厚 mm）
● ダクトフランジ部	1200×430	7	0.8
	950×550	5	0.8
	850×500	4	0.8
	750×400	2	0.6
	600×300	3	0.6
	400×260	7	0.5
	400×200	8	0.5
	300×210	5	0.5
	250×160	2	0.5
	200×200	12	0.5
○ たわみ継手			
○ 配管エルボ部			
○ 配管チーズ部			

※ ダクト及び配管フランジ部、配管エルボ部の撤去に先立ち、フランジ部は１箇所につき２箇所切断、エルボ部は１箇所につき3箇所切断、たわみ継手は１箇所につき２箇所切断する。

○ 撤去する機器表

記号	機器名	機　器　仕　様	kW	φ	V	数量	設置場所	備　考
	機器表による							

※ 機器内部にアスベスト等含有している可能性がある機器は製造メーカーに確認し、監督職員に報告する。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号		建物解体工事特記仕様書 No.3	A1:NON A3:NON	共通	KAK－05

○ 既存建物面積

- Ⓢ (54.711)² × 3.14 / 5.7416 − (40.211)² × 3.14 / 5.7416 = 753.0985
- Ⓣ 1.0 × 5.5 = 5.5
- Ⓤ 9.6 × 2.2 = 21.12
- Ⓥ 9.6 × 2.2 = 21.12

計 800.8385 m²

○ 既存ピロティー面積

- ③ (52.711)² × 3.14 / 63.1579 − (40.211)² × 3.14 / 63.1579 − 4.0 × 2.2 = 48.7764
- ④ (52.711)² × 3.14 / 63.1579 − (40.211)² × 3.14 / 63.1579 − 4.0 × 2.2 = 48.7764

計 97.4528 m²

○ 一塁側建物面積

- Ⓘ (2.4 + 2.9) / 2 × 3.3 = 8.745
- Ⓙ 6.47 × 19.5 / 2 = 63.0825
- Ⓚ 20.0 × 19.5 = 390
- Ⓛ 40.0 × 24.5 = 980
- Ⓜ 15.0 × 19.5 = 292.5
- Ⓝ 4.0 × 3.55 = 14.2
- Ⓞ 4.0 × 3.55 = 14.2
- Ⓟ 9.0 × 0.995 = 8.955
- Ⓠ (10.5 + 7.5) / 2 × 0.995 = 8.955
- Ⓡ (2.36 × 7.5) / 2 = 8.85

計 1789.4875 m²

○ 一塁側ピロティー面積

- ② (5.47 + 2.49) / 2 × 9.0 = 35.82 35.82 m²

○ 三塁側建物面積

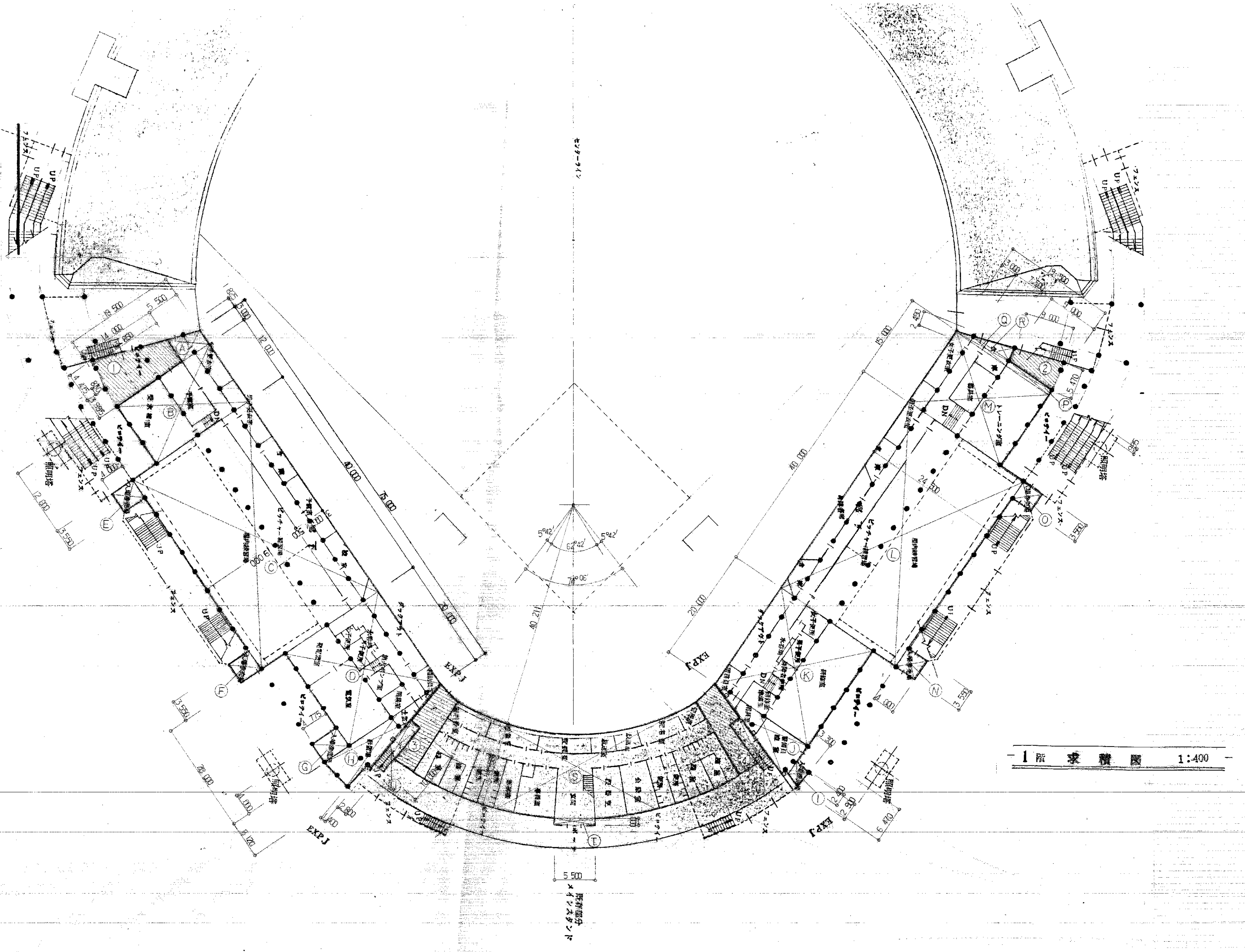
- Ⓐ (4.825 + 3.0) / 2 × 5.5 = 21.5187
- Ⓑ 12.0 × 19.5 = 234
- Ⓒ 40.0 × 24.5 = 980
- Ⓓ 19.5 × 20.0 = 390
- Ⓔ 4.0 × 3.55 = 14.2
- Ⓕ 4.0 × 3.55 = 14.2
- Ⓖ 4.0 × 4.775 = 19.1
- Ⓗ 24.5 × 8.12 / 2 = 99.47

計 1772.4887 m²

○ 三塁側ピロティー面積

- ① 3.995 × 14.0 + (4.475 × 13.85) / 2 + (13.85 − 14.0) / 2 × 0.83 = 98.4771

98.4771 m²



工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号		ｽﾀﾝﾄﾞ1階求積図	A1:1/400 A3:1/800	共通	KAK−06

○ 既存席面積

①　$[(54.711)^2 \times 3.14/63.1579 - (52.711)^2 \times 3.14/63.1579] \times 2 = 21.3734$

$[(55.711)^2 \times 3.14/21.0526 - (52.711)^2 \times 3.14/21.0526] \times 2 = 97.0762$

$(57.711)^2 \times 3.14/21.0526 - (52.711)^2 \times 3.14/21.0526 = 82.3890$

$(2.7 \times 2.9 \times 2) + (2.7 \times 1.7) + 1.9 \times 6.6 = 30.63$

計　231.4686 m²

○ 既存バルコニー面積

③　$[(59.711)^2 \times 3.14/63.1579 - (54.711)^2 \times 3.14/63.1579] \times 2 = 56.9158$

$[(59.711)^2 \times 3.14/21.0526 - (55.711)^2 \times 3.14/21.0526] \times 2 = 137.2915$

$(59.711)^2 \times 3.14/21.0526 - (57.711)^2 \times 3.14/21.0526 = 35.0447$

$[(52.711)^2 \times 3.14/63.1579 - (40.211)^2 \times 3.14/63.1579] \times 2 = 115.9528$

④+④′　$5.9 \times 2.2 \times 2 = 25.96$

計　371.2646 m²

○ 一塁側建物面積

Ⓐ　$2.55 \times 7.7/2 + (1.93 + 2.95)/2 \times 2.6 + 2.95 \times 0.52/2 = 16.9285$

Ⓑ　$14.32 \times 6.5 + 3.0 \times 0.325 = 94.055$

Ⓒ　$1.0 \times 4.7 = 4.7$

Ⓓ　$4.0 \times 9.0 = 36$

Ⓔ　$4.0 \times 9.0 = 36$

Ⓕ　$1.0 \times 4.7 = 4.7$

Ⓖ　$18.5 \times 6.5 + 3.0 \times 0.325 = 121.225$

Ⓗ　$(3.585 \times 10.81)/2 = 19.3769$

計　332.9854 m²

○ 一塁側バルコニー面積

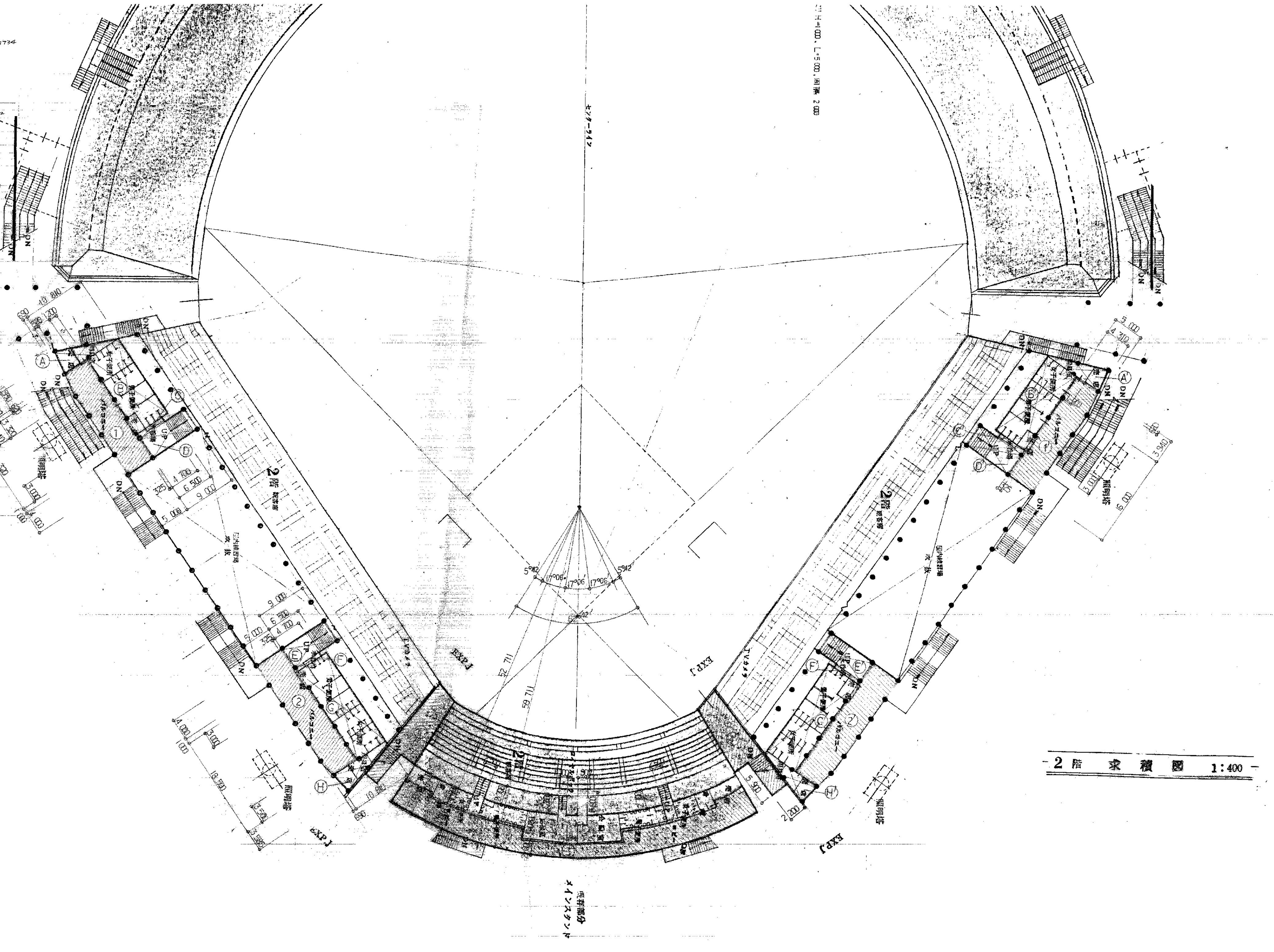
①′　$5.0 \times 16.0 + (5.0 + 4.31)/2 \times 3.94 - 1.2 \times 0.52 - 3.0 \times 0.325 = 96.6217$

②′　$20.0 \times 5 + (5.0 + 4.31)/2 \times 3.5 - 3.0 \times 0.325 = 115.3175$

計　211.9392 m²

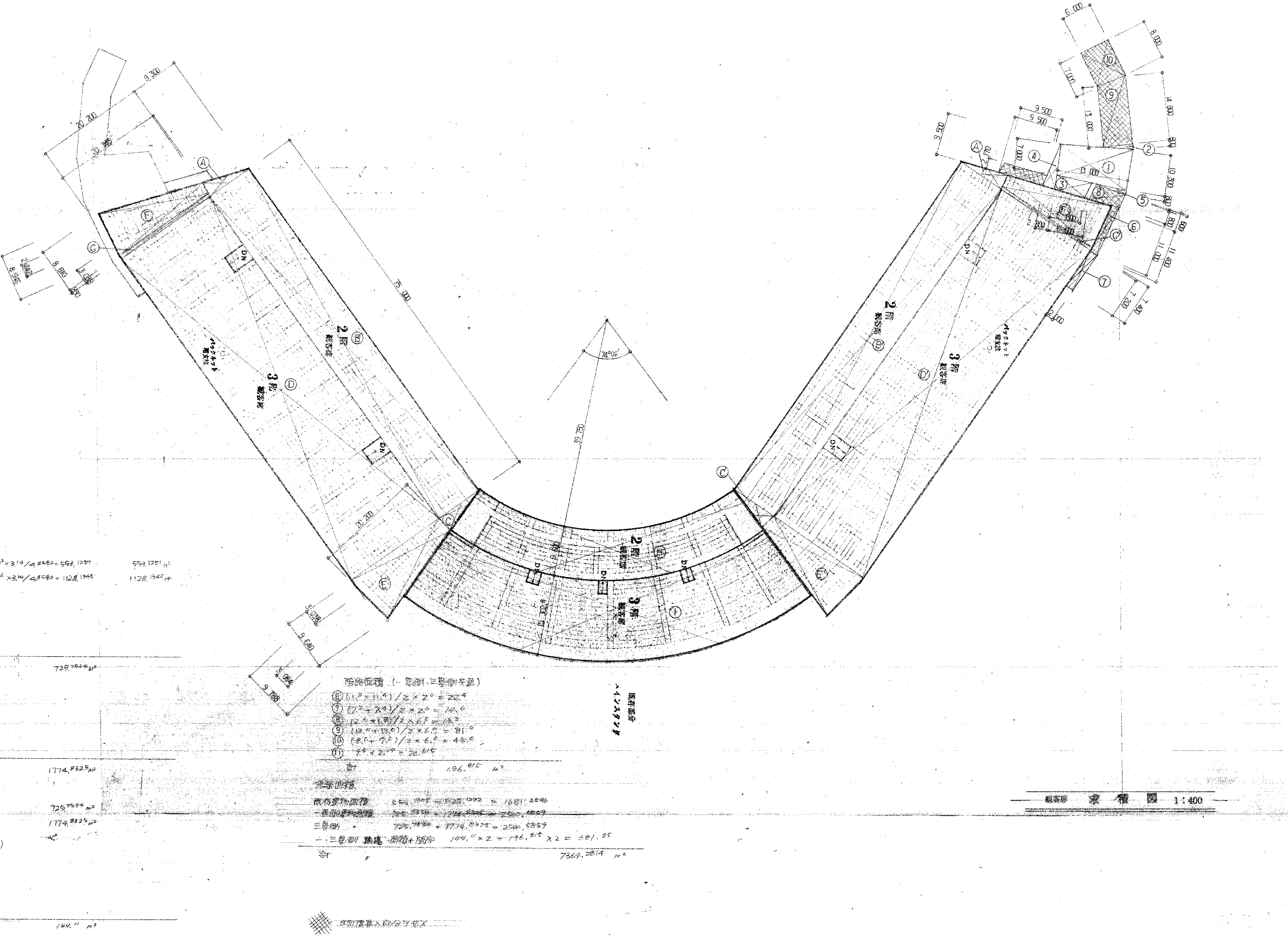
○ 三塁側建物面積　（一塁側と同じ）　332.9854 m²

○ 三塁側バルコニー面積　（　〃　）　211.9392 m²



-2階 求積図 1:400-

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号		ｽﾀﾝﾄﾞ2階求積図	A1:1/400 A3:1/800	共通	KAK−07



○ 既存建物面積

Ⓗ (2階) $(49.35)^2 \times 3.14/4.8582 - (39.75)^2 \times 3.14/4.8582 = 553.1251$ — 553.1251 m²

Ⓘ (3階) $(64.6528)^2 \times 3.14/4.8582 - (49.35)^2 \times 3.14/4.8582 = 1128.1345$ — 1128.1345 m²

○ 一塁側建物面積 (2階)

Ⓐ $9.3 \times 3.038/2 = 14.1267$

Ⓑ $75.0 \times 9.3 = 697.5$

Ⓒ $9.3 \times 3.038/2 = 14.1267$

計 725.7534 m²

(3階)

Ⓓ $75.0 \times 20.2 = 1515$

Ⓔ $(3.084 + 9.788)/2 \times 20.2 = 130.0072$

Ⓕ $(2.242 + 8.906)/2 \times 20.2 = 112.5988$

Ⓖ $(20.2 + 20.346)/2 \times 0.83 = 16.8265$

計 1774.8325 m²

○ 三塁側建物面積

(2階) 一塁側に同じ 725.7534 m²

(3階) 1774.8325 m²

○ 一塁側、三塁側支柱 踊場 面積 (3階)

① $(10.3 + 7.0)/2 \times 13.0 = 112.45$

② $6.0 \times 0.8/2 = 2.4$

③ $(5.3 + 6.0)/2 \times 2.4 = 13.56$

④ $9.5 \times 2.8/2 = 13.3$

⑤ $6.0 \times 0.8/2 = 2.4$

計 144.11 m²

階段面積 (一塁側、三塁側共通)

⑥ $(11.0 + 11.4)/2 \times 2.0 = 22.4$

⑦ $(7.2 + 7.4)/2 \times 2.0 = 14.6$

⑧ $(12.0 + 13.8)/2 \times 6.0 = 13.2$

⑨ $(14.0 + 13.0)/2 \times 6.0 = 81.0$

⑩ $(8.0 + 7.0)/2 \times 6.0 = 45.0$

⑪ $9.5 \times 2.17 = 20.615$

計 196.915 m²

合算面積

既存建物面積 $553.1251 + 1128.1345 = 1681.2596$

一塁側建物面積 $725.7534 + 1774.8325 = 2500.5859$

三塁側 〃 $725.7534 + 1774.8325 = 2500.5859$

一、三塁側 踊場 面積+階段 $144.11 \times 2 + 196.915 \times 2 = 681.35$

計 7364.2814 m²

床面積算入部分を示す

スコアボード棟

番号	W	H	面積
1	24.900	3.200	79.680
2	29.900	3.900	116.610
3	29.900	3.900	116.610
		合計	312.900
		延床面積	312.90
		建築面積	312.90

① 24,900 × 3,200 — 1階

② 29,900 × 3,900 — 2階

③ 29,900 × 3,900 — 3階

屋外便所棟

番号	W	H	面積
1	10.000	3.000	30.000
		合計	30.000
		延床面積	30.00
		建築面積	30.00

① 10,000 × 3,200

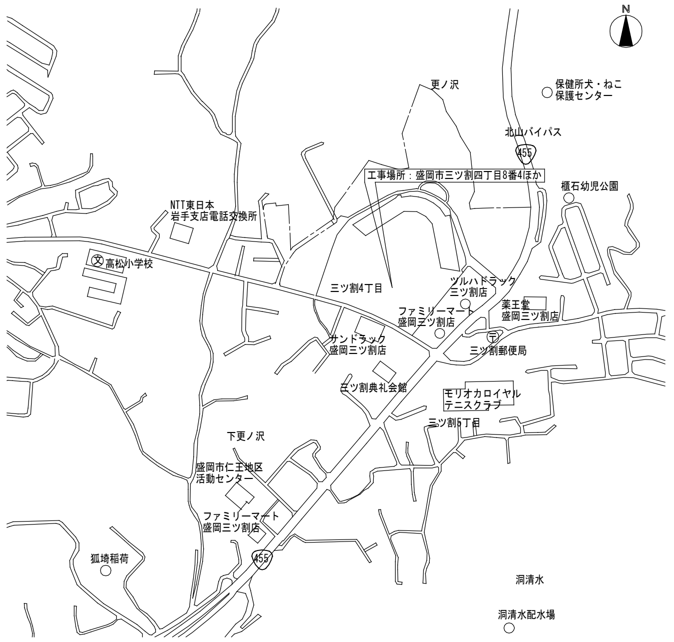
焼却炉棟

番号	W	H	面積
1	3.500	4.850	16.975
		合計	16.975
		延床面積	16.97
		建築面積	16.97

① 3,500 × 4,850

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号		ｽﾀﾝﾄﾞ3階求積図 ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ求積図 屋外便所求積図 焼却炉求積図	A1:1/400 A3:1/800	共通	KAK－08

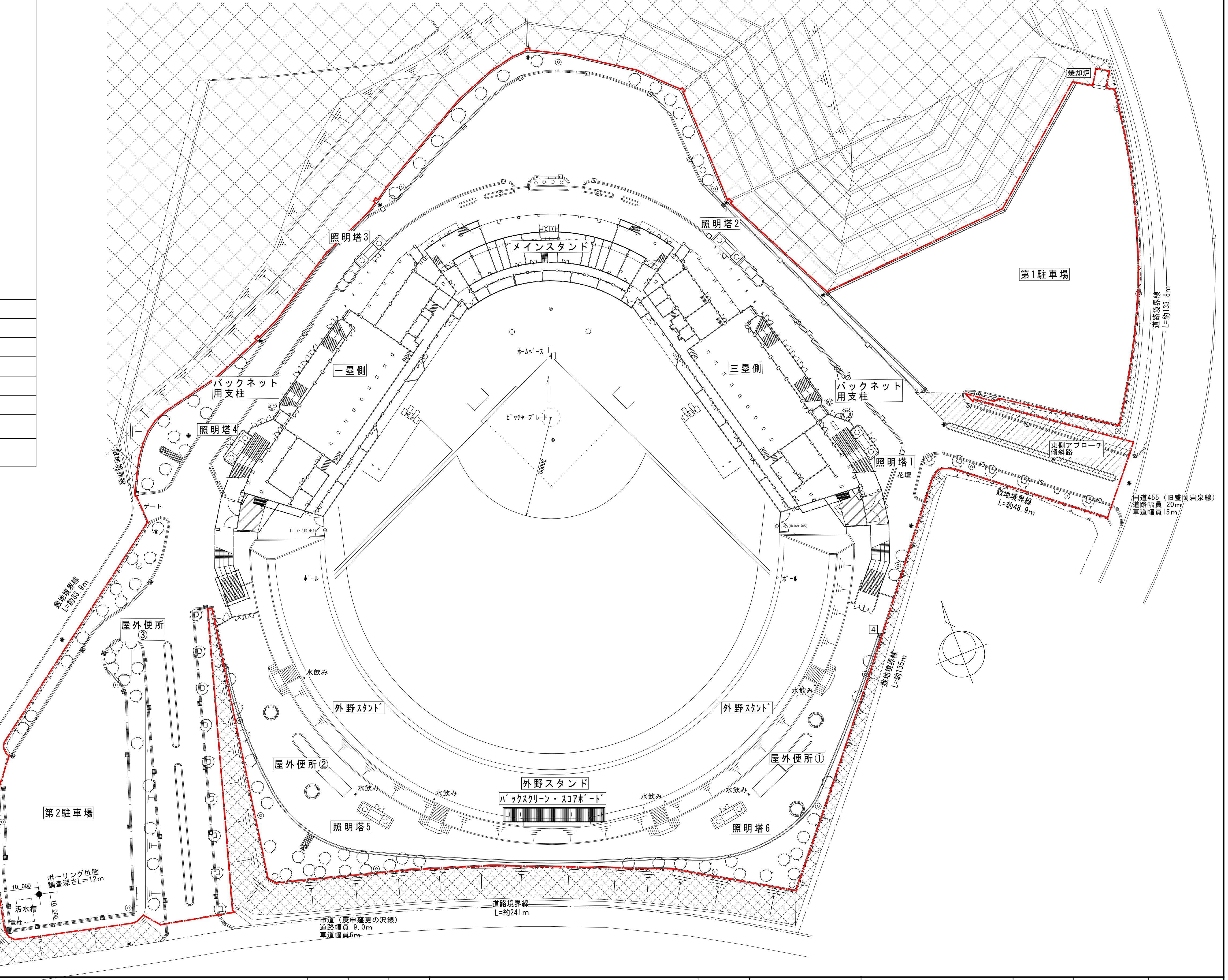
附近見取り図



建物概要・凡　例

部　位	構造・階数 等	面積・規模
スタンド棟	メインスタンド・1塁スタンド・3塁スタンド・外野席：SRC造一部RC造 3階建て	13,258.20㎡
照明鉄塔	S造 高さ40.7m　6基	6　基
スコアボード・バックスクリーン	S造 3階建て	312.90㎡
屋外便所棟①～③	RC造 平屋建て	各 30.00㎡
外　構	第1駐車場 約4,892㎡、第2駐車場 約2,883㎡、第3駐車場 約3,897㎡、東側アプローチ傾斜路(水平投影面積) 約 633㎡、その他 約 37,402㎡	

—・—・— ・・・工事対象範囲内を示す。



工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容	縮尺	区分	図面番号
					・既存配置図に寸法の明記がないため、本図の寸法は参考値として示す。	設計番号		附近見取り図 建物概要 配置図	A1:1/600 A3:1/1200	共通	KAK－09

解体・撤去工事工程フロー（参考）

1．第Ｉ駐車場アスファルト舗装（表層）、焼却炉（上屋共）解体撤去　※他工事へ敷地を引き渡すため最初に解体

2．アスベスト含有塗装材の除去（超高圧水洗工法 ガン併用）
メインスタジアム：外壁（749.8㎡）軒天（1,364㎡）、内部　天井（411㎡）、壁（484㎡）、床（282㎡）の除去
１塁スタンド：外壁（外周・グランド側）（1,128㎡）軒天（1,866㎡）、内部　天井（357㎡）、壁（482㎡）、床（34.8㎡）の除去
３塁スタンド：外壁（外周･グランド側）（1,152㎡）軒天（1,840㎡）、内部　天井（333㎡）、壁（487㎡）の除去
外野席：擁壁壁（328㎡）の除去。

3．1塁側と外野スタンド間へグランドへ重機が入るルートを設置
グランド内へ敷き鉄板を敷設する。（1塁側・メインスタンド部敷設後順次3塁・外野擁壁部へ敷設）※転用の考慮なし

4．スタンド棟 メインスタンド、1塁スタンド、3塁スタンドの上屋解体後土間基礎解体
メインスタンド解体（RC造 3階建て　延べ床面積　3182.75㎡ 最高高さ現況GL+12.3m）
1塁スタンド解体（SRC造 3階建て 延べ床面積　10075.45㎡ 最高高さ現況GL+14.0m）
3塁スタンド解体（SRC造 3階建て 延べ床面積　10075.45㎡ 最高高さ現況GL+14.0m）

5．照明鉄塔上屋（照明架台、柱）、バックネット支柱上屋解体
照明鉄塔H=40.7m（柱径φ1230～1750 2本）6基
バックネット支柱H=19.0m（柱径φ600～1200）　2本

【照明鉄塔解体手順】
鉄塔柱内部の昇降タラップを使い上部メンテナンス通路まで昇り、照明器具の配線・配管を切断し、鉄塔上部の照明鉄骨架台の中間部分を切断することで、柱間の接合を無くす。その後、柱切断用足場（KAK-12 仮設計画図参照）を設置し、1本目の柱をラフタークレーン（130t）で柱頭を吊りながら、高さ約20m付近で柱を半分に切断する。切断後は、灯具および灯具架台鉄骨を取り付けたままゆっくりと平地へ倒す。残りの柱脚も根元を切断し平地に倒す。倒した後、地上にて照明架台および機器の配線・配管を取り外し、柱および鉄塔架台鉄骨をダンプ積載可能な4～5分割サイズに切断する。続いて、2本目の柱についても同様の手順で解体を行う。　※切断位置等については、KST-04 照明鉄塔一般図参照

【バックネット支柱解体手順】
ネットを取外し後、高所作業車で支柱上部丸環へ吊ワイヤーを取付。
ラフタークレーン130ｔで柱頭を吊った状態で柱脚切断後ゆっくり支柱を平地に倒す。
倒したあと、地上にて支柱を（ﾀﾞﾝﾌﾟへ積めるサイズ）切断。

6．スコアボード
・バックスクリーン解体（S造 3階建て 延べ床面積　312.90㎡ 最高高さ現況GL+18.55m）※現況GL＝ｸﾞﾗﾝﾄﾞGL+4.96m
外野席解体（RC造 内周部擁壁 L=205m高さ 現況GL+1.6m（根入れ部0.65m））
（RC造 外周部擁壁 L=295m高さ 現況GL+2.13m（根入れ部2.37m））
（外部RC階段撤去　4カ所　）
（外野席盛り土撤去　18609m3、芝生撤去　5582㎡）
スタンド土間・基礎、照明鉄塔基礎解体撤去

7．照明鉄塔杭、スコアボード・バックスクリーン杭、外野席擁壁下の杭、スタンド棟杭を順次撤去解体

8．屋外便所棟解体撤去
屋外便所①～③
便所棟（共通）（RC造 平屋建て　延べ床面積 30.㎡ 最高高さ現況GL+3.5m）

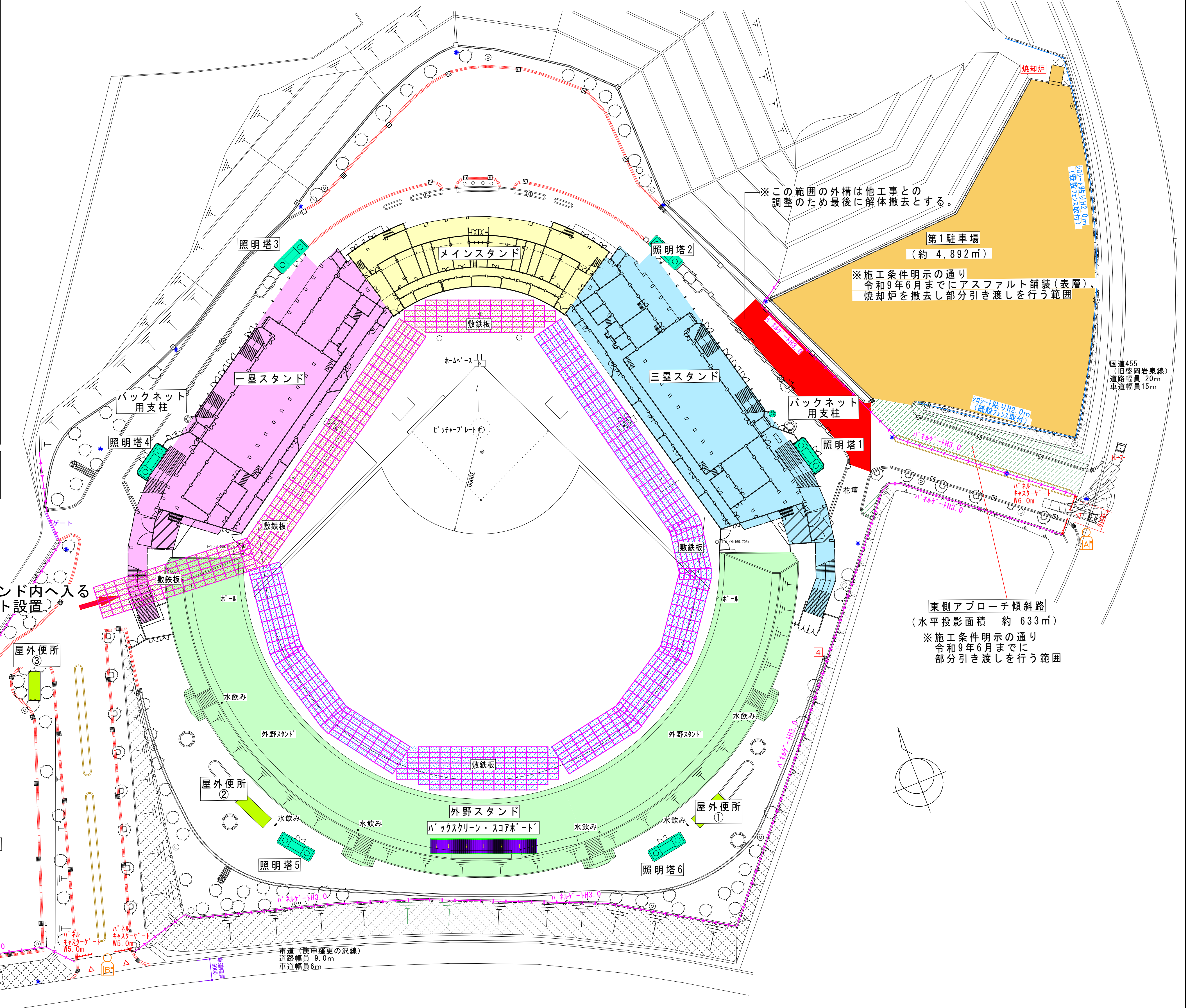
9．外構・植栽解体撤去
アスファルト舗装・路盤（第1駐車場は除く）
屋外排水設備（L型側溝、U字側溝、ヒューム管、集水桝）
外部工作物（植栽帯、水飲み台、屋外看板）
地下埋設物（汚水槽、分離槽）
※他工事との取り合い部は取壊し時期を調整
※敷地外周部フェンス、東側ゲート・西側ゲート残置

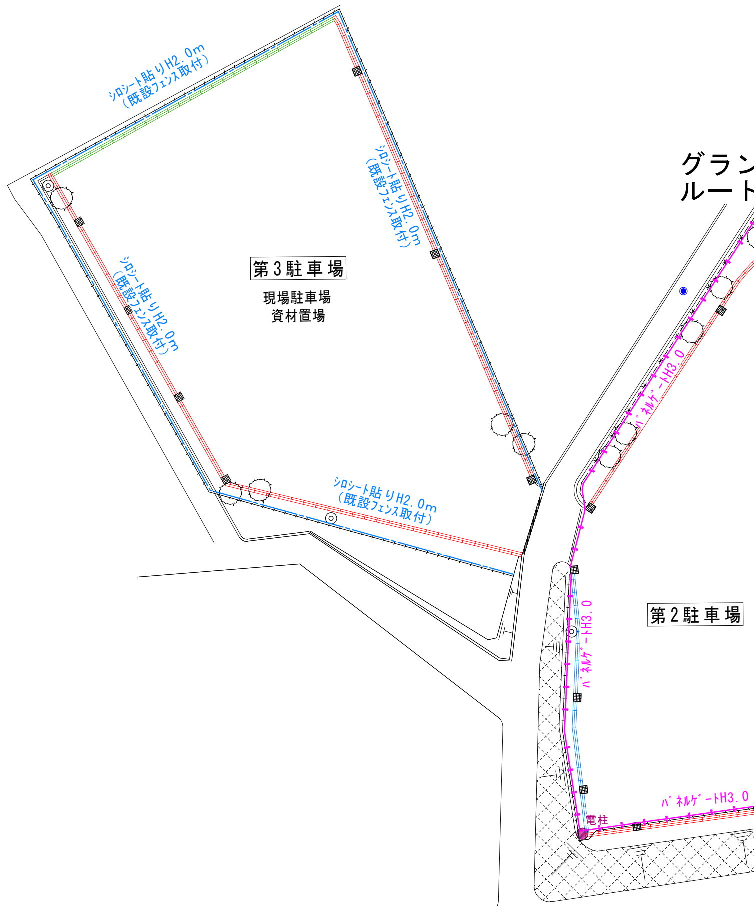
10．敷地整地
現場発生土構内敷き均しのうえ転圧
現場発生コンクリートガラ破砕後敷き均しのうえ転圧　※破砕機：大型自走式破砕機 現場搬入のうえ破砕
現場発生アスファルト舗装路盤敷き均しのうえ転圧
井戸部位置へプラ杭設置後、メッシュフェンスH1200（2m角範囲）新設、

11．工事終了　敷地引き渡し

凡例

メインスタジアム	1塁スタンド
3塁スタンド	外野席
照明鉄塔	スコアボード・バックスクリーン
屋外便所	第1駐車場
外構行程調整範囲	

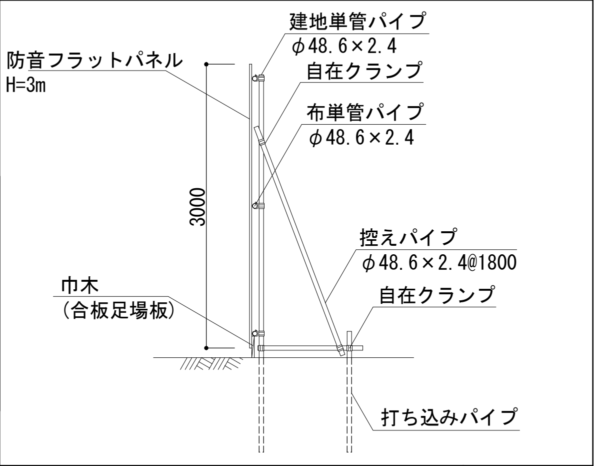




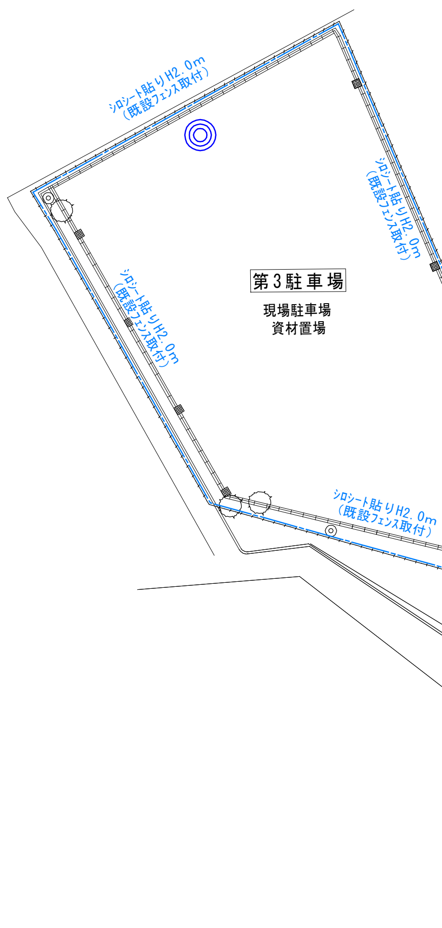
工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
						設計番号		解体・撤去工事工程フロー	A1:1/600 A3:1/1200	共通	KAK−10

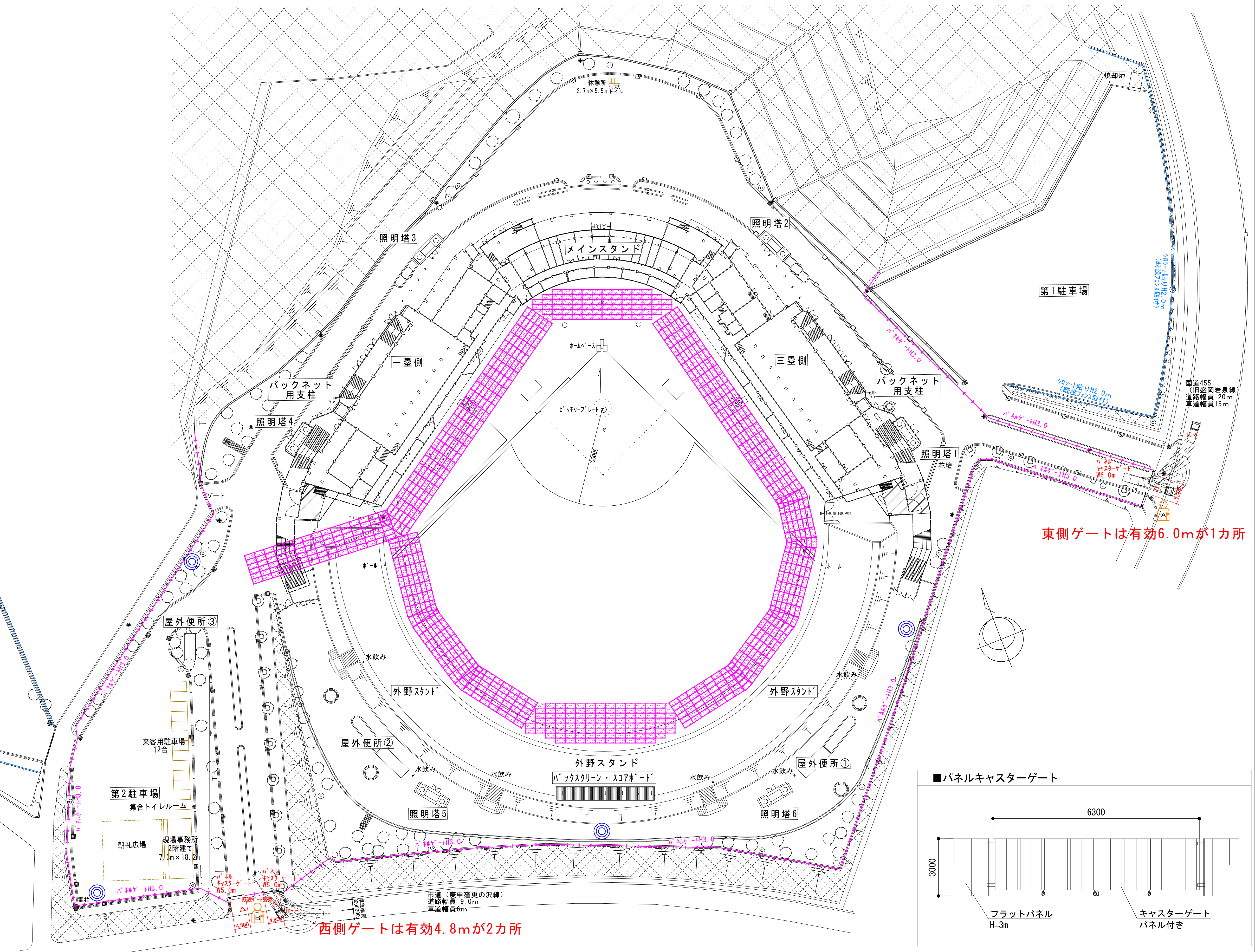
仮設計画図　凡例

■仮囲い



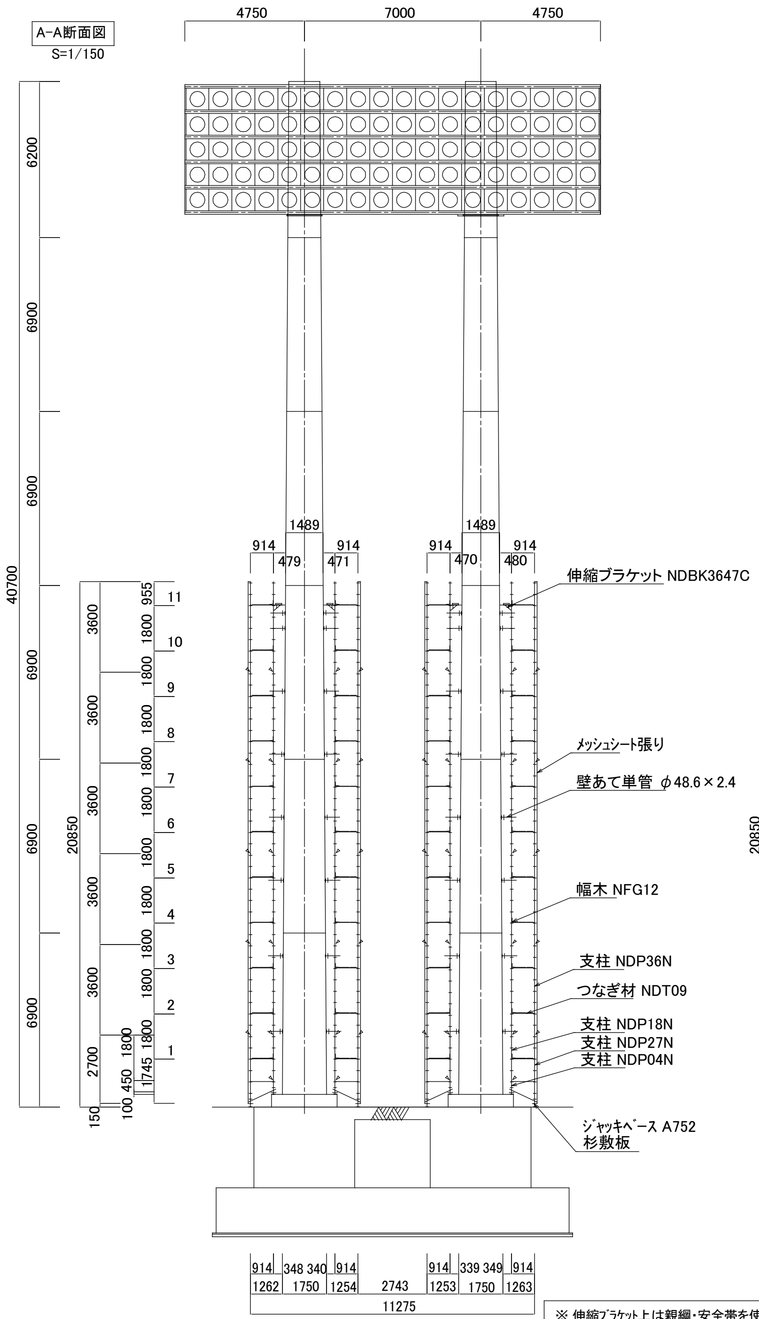
項　目	仕　様	月数・数量
仮　囲 A	防音パネル H3.0m（タウンキャンバス防音型　同等品）	24ヵ月・685m
仮　囲 B	シロシート張り H2.0m（既設フェンスへ取付）	1.5ヵ月・172m
仮　囲 C	シロシート張り H2.0m（既設フェンスへ取付）	24ヵ月・245m
パネルキャスターゲート（西側ゲート）	H3.0m　W5000	23ヵ月・2カ所
パネルキャスターゲート（東側ゲート）	H3.0m　W6000	23ヵ月・1カ所
仮設鉄板敷き 工事施工用通路・重機設置部	t=22	19.5ヵ月・4024㎡
交通誘導員A	東側ゲート（国道455）	22.5ヵ月・495人
交通誘導員B	西側ゲート（市道）	22.5ヵ月・495人
工事騒音計	騒音振動表示装置（SVD-350）	23ヵ月・5台
取壊し重機(ベースマシン) 解体重機腕付替え、鉄骨ｶｯﾀｰ、大割圧砕機 他 アタッチメント 取替	バックホー1.6m3 バックホー1.4m3 バックホー0.8m3 バックホー0.5m3	1台 1台 4台 2台
ラフタークレーン	130ｔ吊	1台



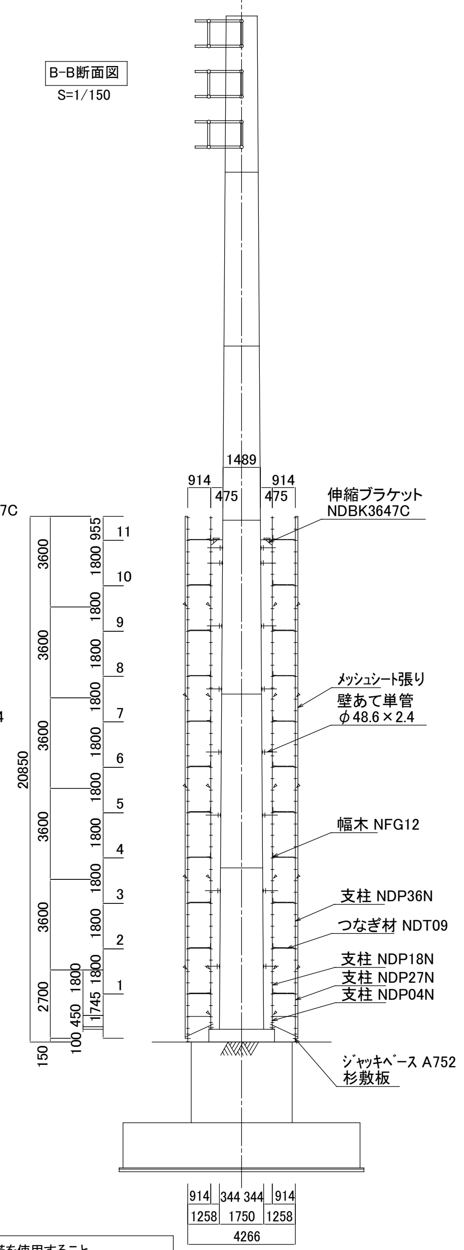


工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製　図	担　当	検　印	特記	年 月 日 / 設計番号	図面内容【参考図】 総合仮設計画図	縮尺 A1:1/600 A3:1/1200	区　分 建築解体 / 図面番号 KAK－11

A-A断面図
S=1/150

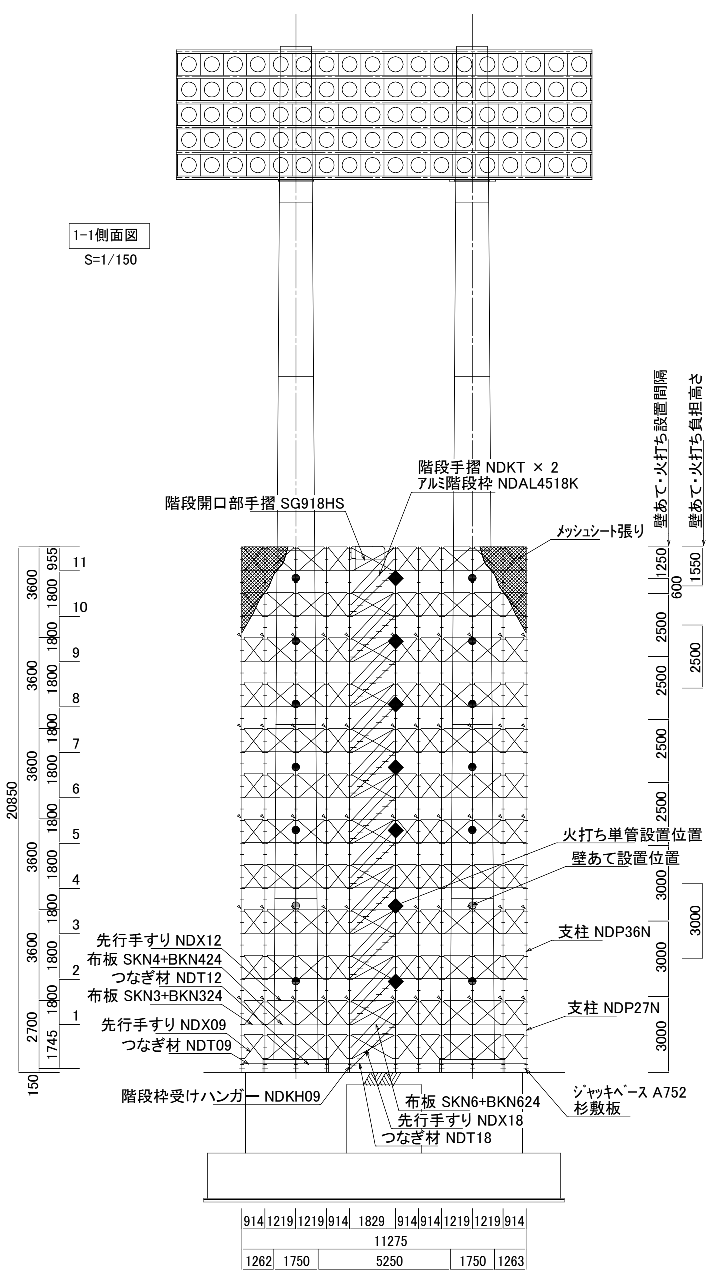


B-B断面図
S=1/150

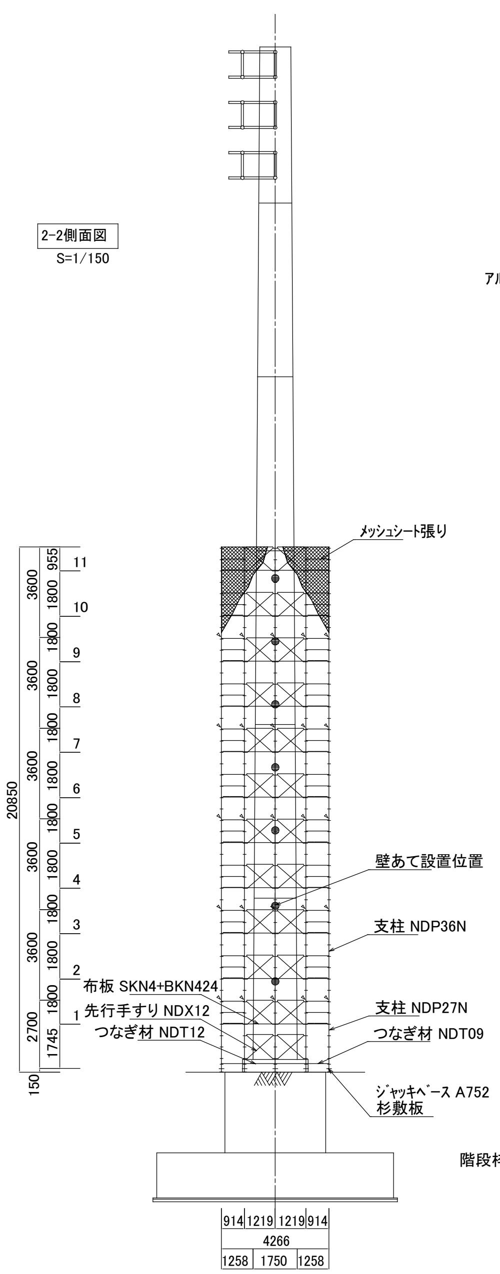


※ 伸縮ﾌﾞﾗｹｯﾄ上は親綱・安全帯を使用すること。
必要に応じて単管手摺柱・単管手摺・巾木を設置すること。

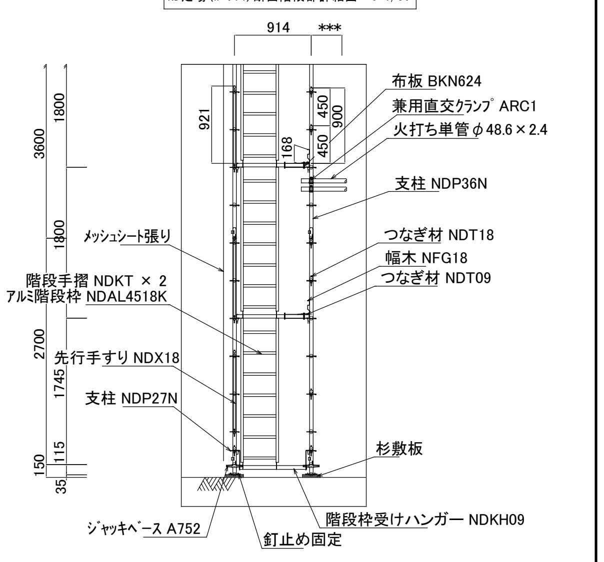
1-1側面図
S=1/150



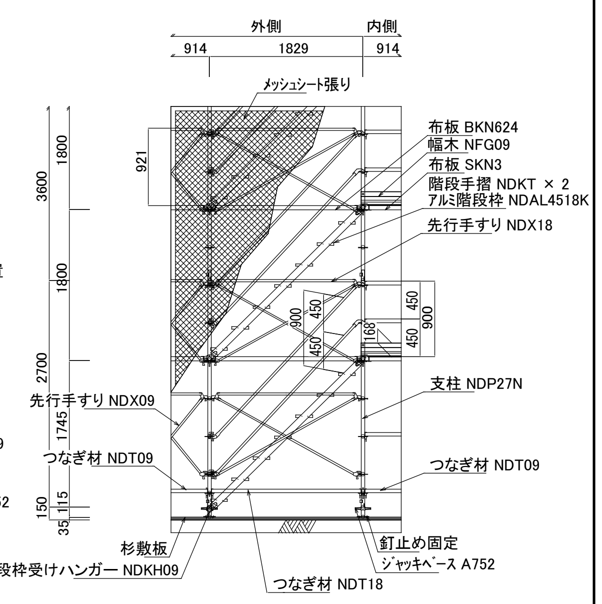
2-2側面図
S=1/150



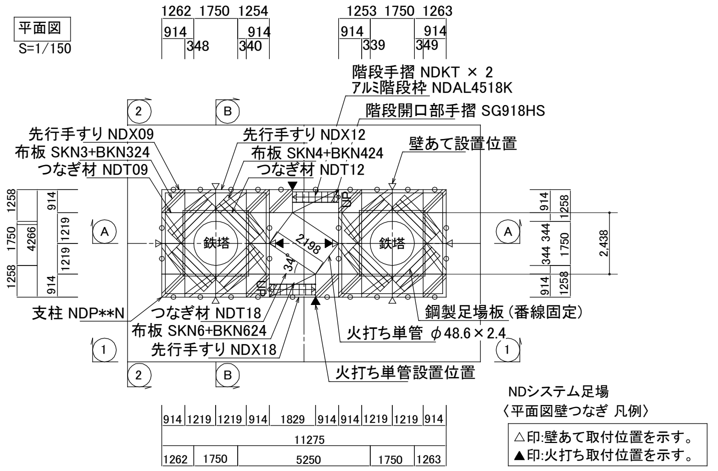
ND足場(W=914)断面階段部詳細図 S=1/30



ND足場側面階段部詳細図 S=1/30



平面図
S=1/150



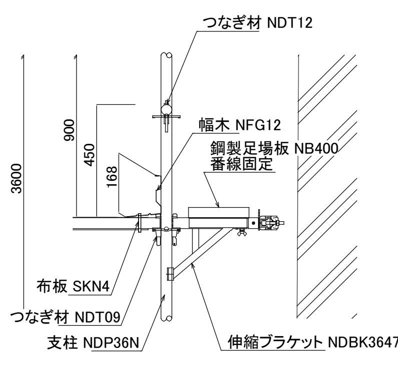
NDシステム足場
〈平面図壁つなぎ 凡例〉

△印:壁あて取付位置を示す。
▲印:火打ち取付位置を示す。

〈矢視図壁つなぎ 凡例〉

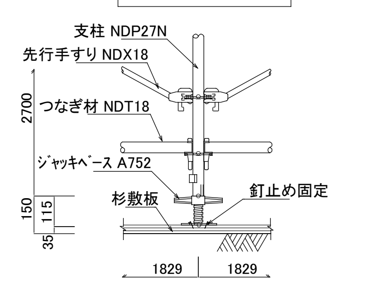
◍	壁あて(高さ10m以下)	※壁あては1層(3.000m)2スパン(1.219m×2)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は 壁あて1本当りの分担面積が、7.314㎡以内となるように変更すること。
	壁あて(高さ10m～20m)	※壁あては1層(2.500m)2スパン(1.219m×2)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は 壁あて1本当りの分担面積が、6.095㎡以内となるように変更すること。
	壁あて(高さ20m以上)	※壁あては1層(1.550m)1スパン(1.219m×2)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は 壁あて1本当りの分担面積が、3.779㎡以内となるように変更すること。
◆	火打ち(高さ10m以下) 火打ちは1箇所に2本設置	※火打ちは1層(3.000m)1スパン(2.743m)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は 火打ち2本当りの分担面積が、8.229㎡以内となるように変更すること。
	火打ち(高さ10m～20m) 火打ちは1箇所に2本設置	※火打ちは1層(2.500m)1スパン(2.743m)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は 火打ち2本当りの分担面積が、6.858㎡以内となるように変更すること。
	火打ち(高さ20m以上) 火打ちは1箇所に2本設置	※火打ちは1層(1.550m)1スパン(2.743m)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は 火打ち2本当りの分担面積が、4.252㎡以内となるように変更すること。

伸縮ブラケット詳細図 S=1/10

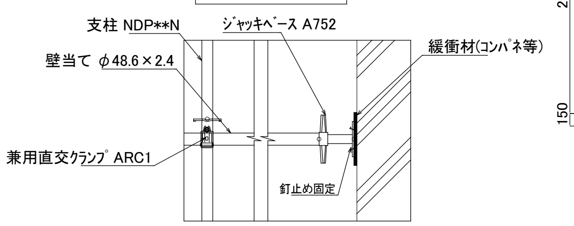


※ 伸縮ﾌﾞﾗｹｯﾄ上は親綱・安全帯を使用すること。
必要に応じて単管手摺柱・単管手摺・巾木を設置すること。

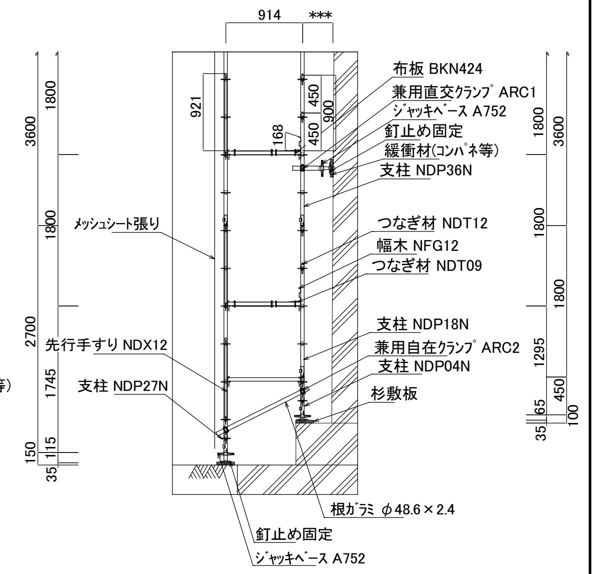
脚部標準詳細図 S=1/10



壁当て部詳細図 S=1/10



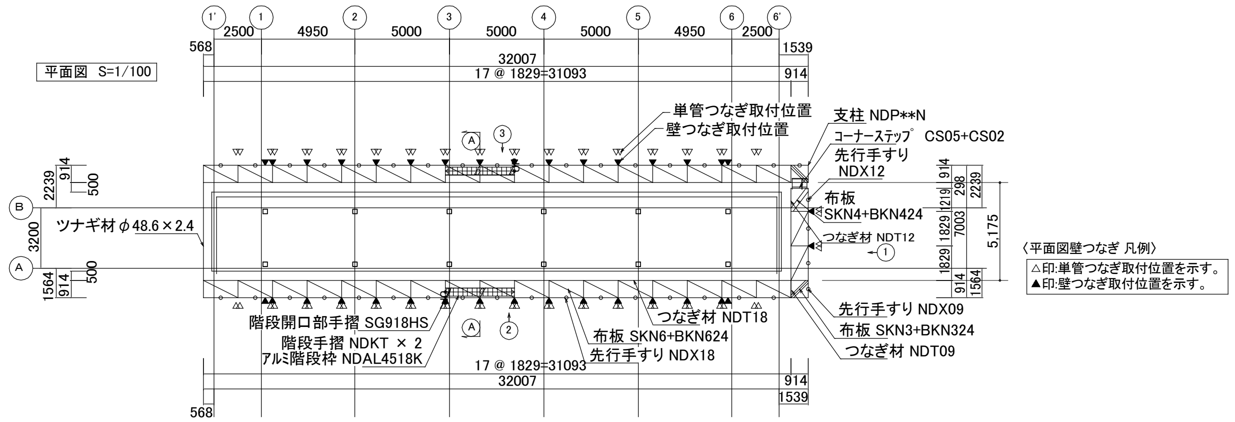
ND足場(W=914)断面詳細図 S=1/30



※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

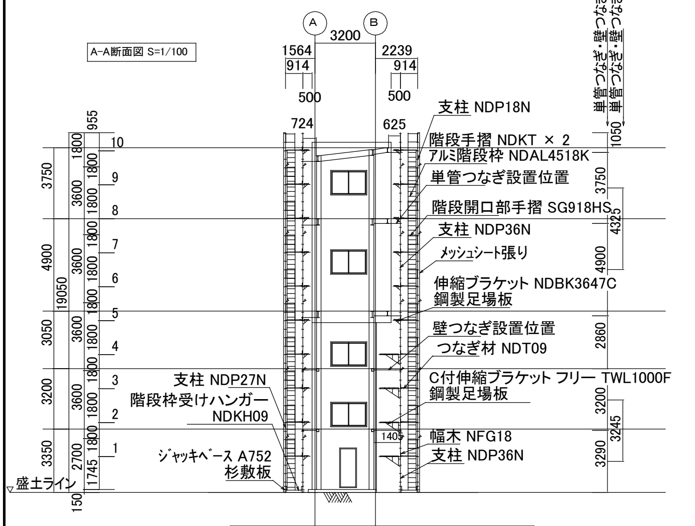
工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※ﾒｯｼｭｼｰﾄは防炎Ⅰ類品とする。	年月日		図面内容 【参考図】 仮設計画図 (照明鉄塔足場)	縮尺 A1:1/10,30,150 A3:1/20,60,300	区分 共通	図面番号 KAK－12
						設計番号					

平面図 S=1/100



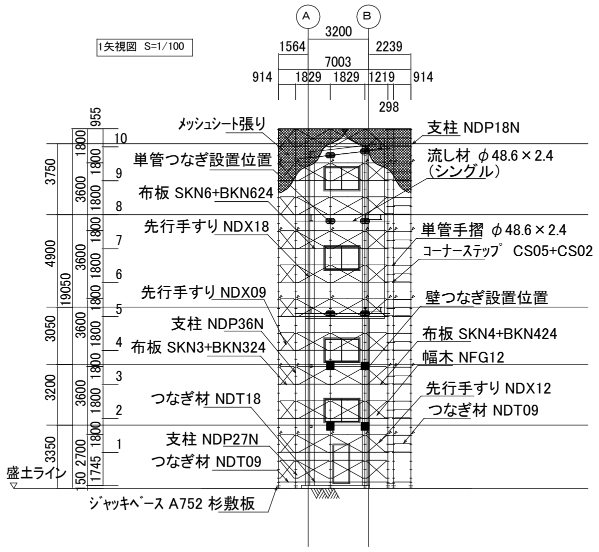
〈平面図壁つなぎ 凡例〉
△印:単管つなぎ取付位置を示す。
▲印:壁つなぎ取付位置を示す。

A-A断面図 S=1/100

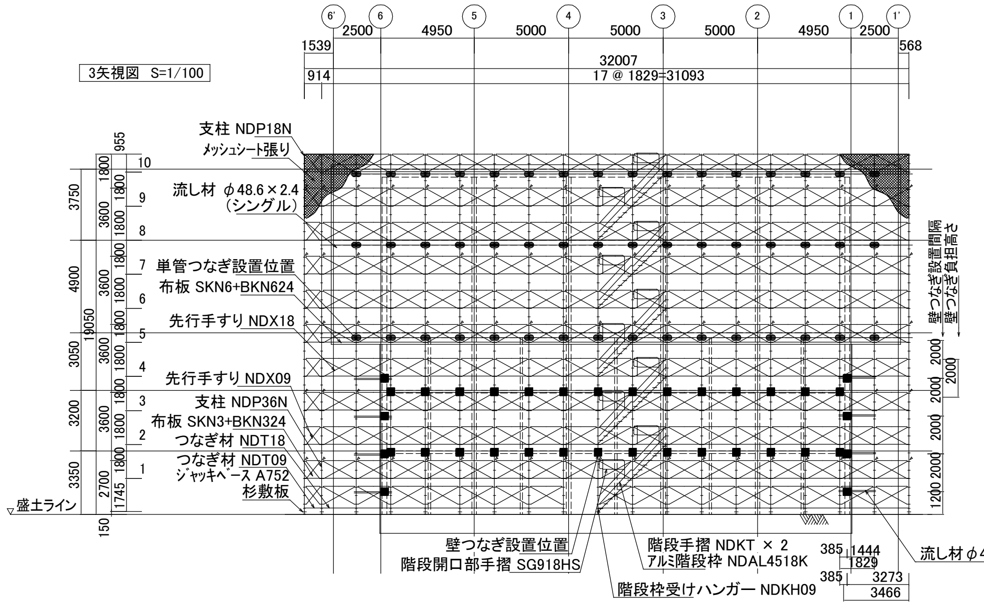


※ 伸縮ブラケット上は親綱・安全帯を使用すること。
必要に応じて単管手摺柱・単管手摺・巾木を設置すること。

1矢視図 S=1/100



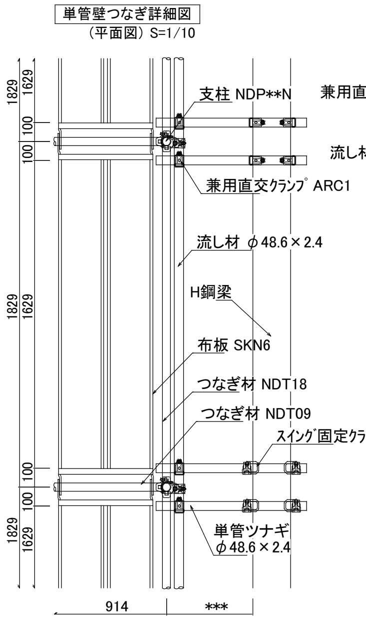
3矢視図 S=1/100



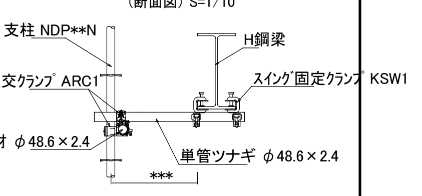
〈矢視図壁つなぎ 凡例〉

■	壁つなぎ(高さ10m以下) プレートアンカードリルビス型 小梁:□-125×150に設置	※壁つなぎは1層(3.245m)1スパン(1.829m)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は つなぎ1本当りの分担面積が、5.936㎡以内となるように変更すること。
■	壁つなぎ(高さ10m以下) プレートアンカードリルビス型 柱:□-250×250×12に設置	※壁つなぎは1層(2.000m)1スパン(3.466m)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は つなぎ1本当りの分担面積が、6.932㎡以内となるように変更すること。 流し材 φ48.6×2.4はダブル。
●	単管つなぎ(高さ10m～20m) 鉄骨梁に設置	※単管つなぎは1層(4.325m)0.5スパン(0.915m)以内に取付ける事。 開口等で単管つなぎを図面通り取付けられない場合は 単管つなぎ1本当りの分担面積が、3.956㎡以内となるように変更すること。 流し材 φ48.6×2.4はシングル。

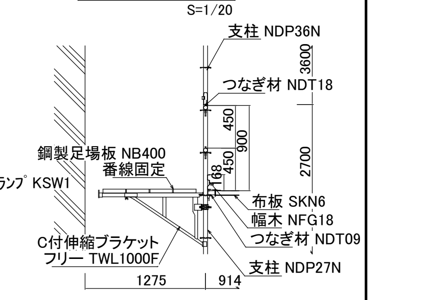
単管壁つなぎ詳細図 (平面図) S=1/10



単管壁つなぎ詳細図 (断面図) S=1/10

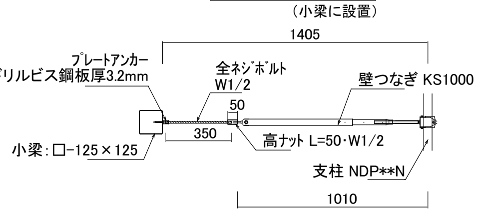


伸縮ブラケット部詳細図 S=1/20

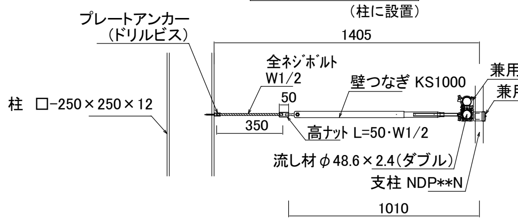


※ 伸縮ブラケット上は親綱・安全帯を使用すること。

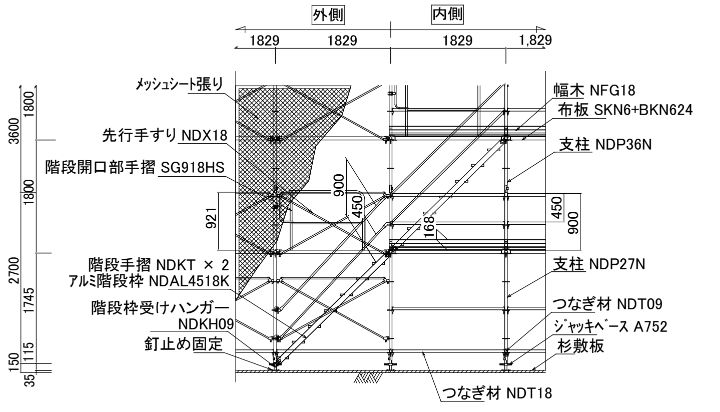
壁ツナギ詳細図 S=1/10 (小梁に設置)



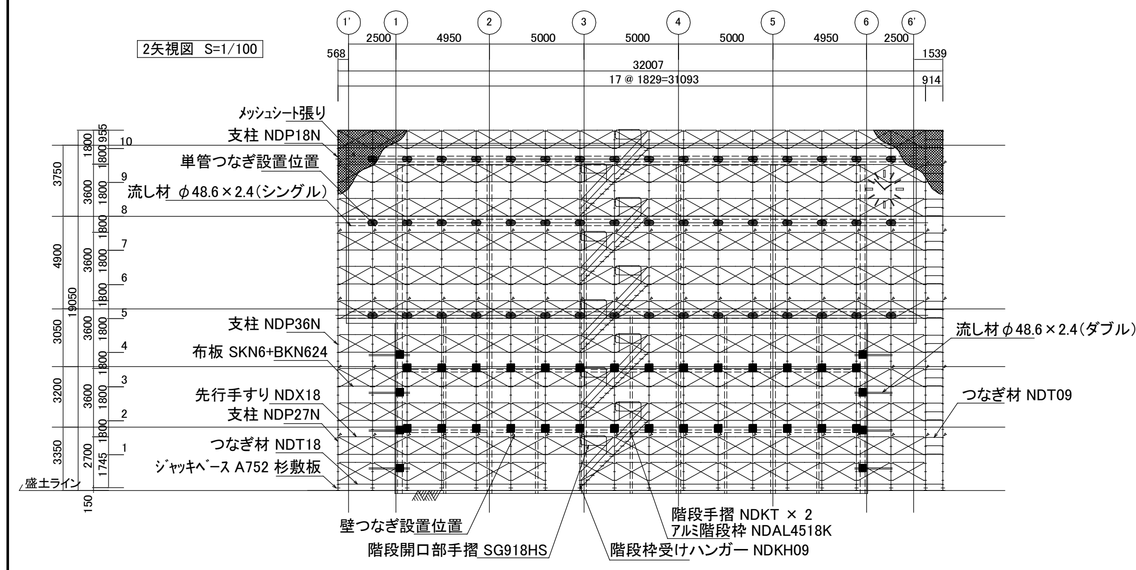
壁ツナギ詳細図 S=1/10 (柱に設置)



ND足場側面階段部詳細図 S=1/30



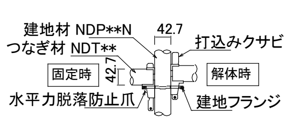
2矢視図 S=1/100



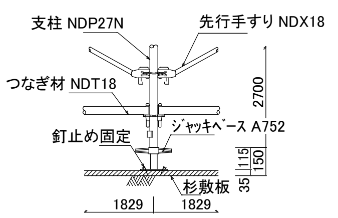
〈矢視図壁つなぎ 凡例〉

■	壁つなぎ(高さ10m以下) プレートアンカードリルビス型 小梁:□-125×150に設置	※壁つなぎは1層(3.245m)1スパン(1.829m)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は つなぎ1本当りの分担面積が、5.936㎡以内となるように変更すること。
■	壁つなぎ(高さ10m以下) プレートアンカードリルビス型 柱:□-250×250×12に設置	※壁つなぎは1層(2.000m)1スパン(3.466m)以内に取付ける事。 開口等で壁つなぎを図面通り取付けられない場合は つなぎ1本当りの分担面積が、6.932㎡以内となるように変更すること。 流し材 φ48.6×2.4はダブル。
●	単管つなぎ(高さ10m～20m) 鉄骨梁に設置	※単管つなぎは1層(4.325m)0.5スパン(0.915m)以内に取付ける事。 開口等で単管つなぎを図面通り取付けられない場合は 単管つなぎ1本当りの分担面積が、3.956㎡以内となるように変更すること。 流し材 φ48.6×2.4はシングル。

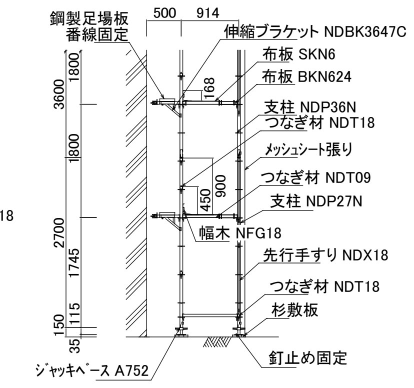
つなぎ材打込み詳細図 S=1/5



脚部標準詳細図 S=1/10



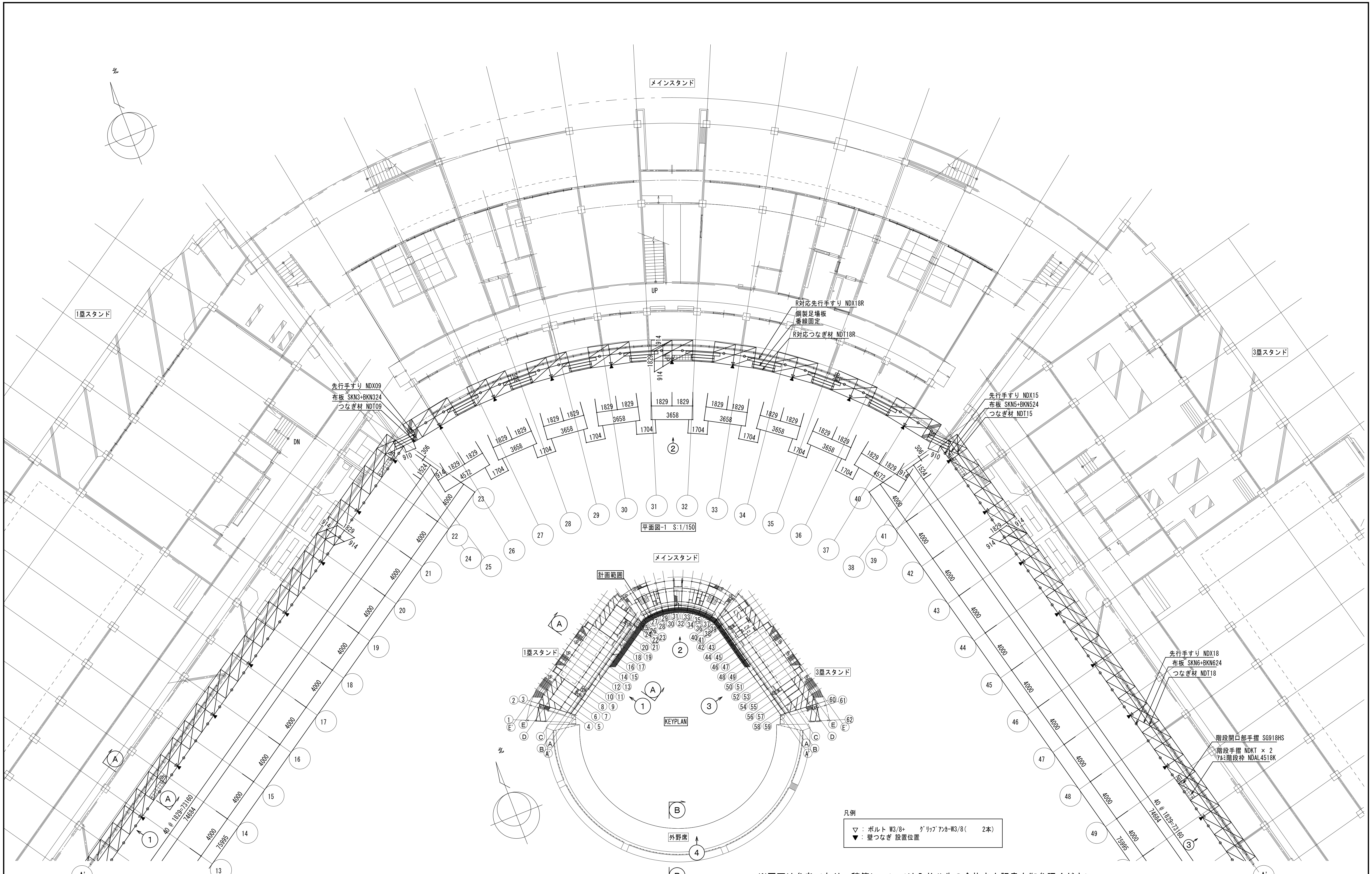
ND足場(W914)断面詳細図 S=1/30



※ 伸縮ブラケット上は親綱・安全帯を使用すること。
必要に応じて単管手摺柱・単管手摺・巾木を設置すること。

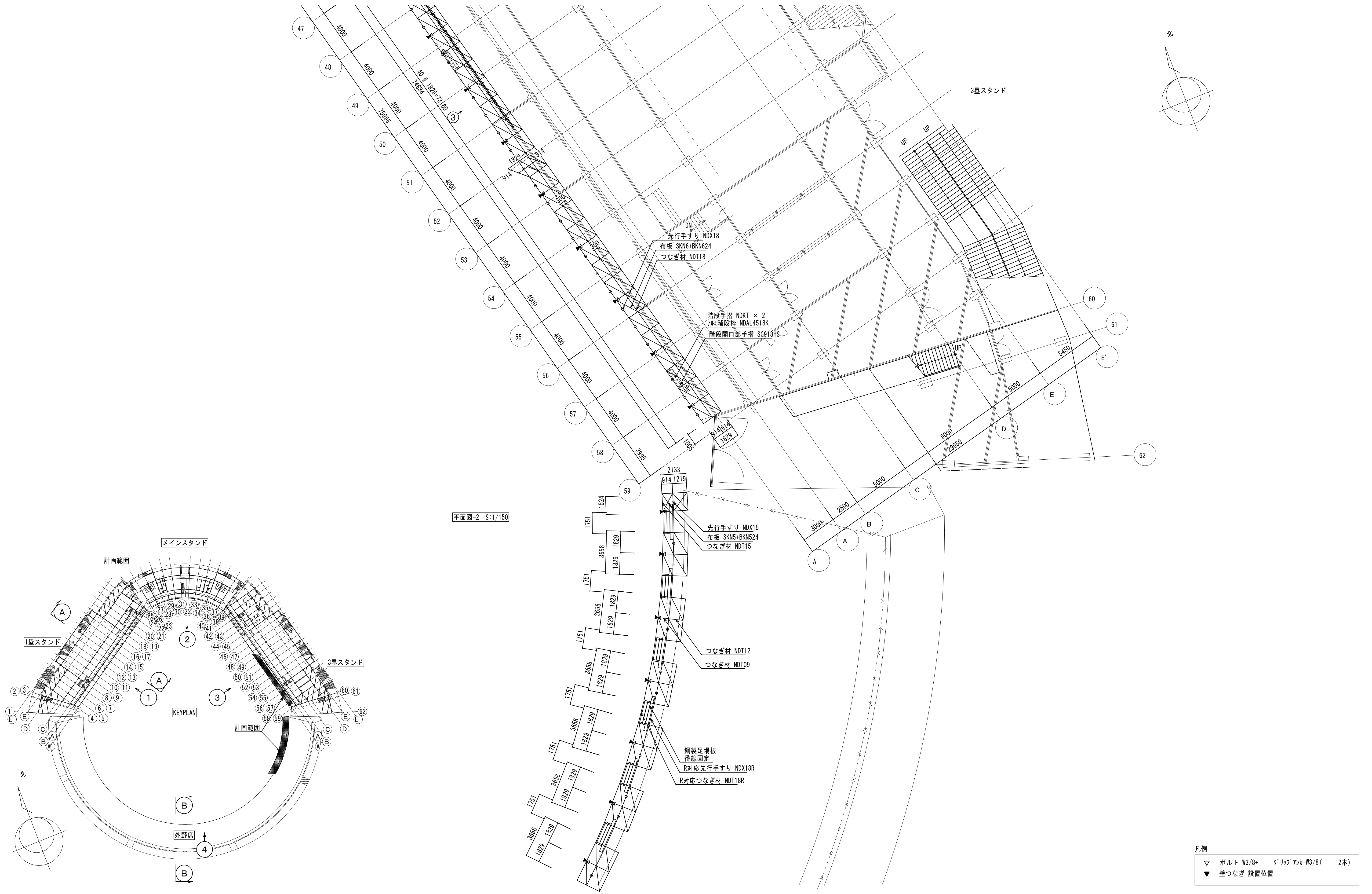
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※メッシュシートは防炎Ⅰ類品とする。	年月日 / 設計番号	図面内容 【参考図】 仮設計画図 (スコアボード足場)	縮尺 A1:1/5,10,20,30,100 A3:1/10,20,40,60,200	区分 共通	図面番号 KAK－13



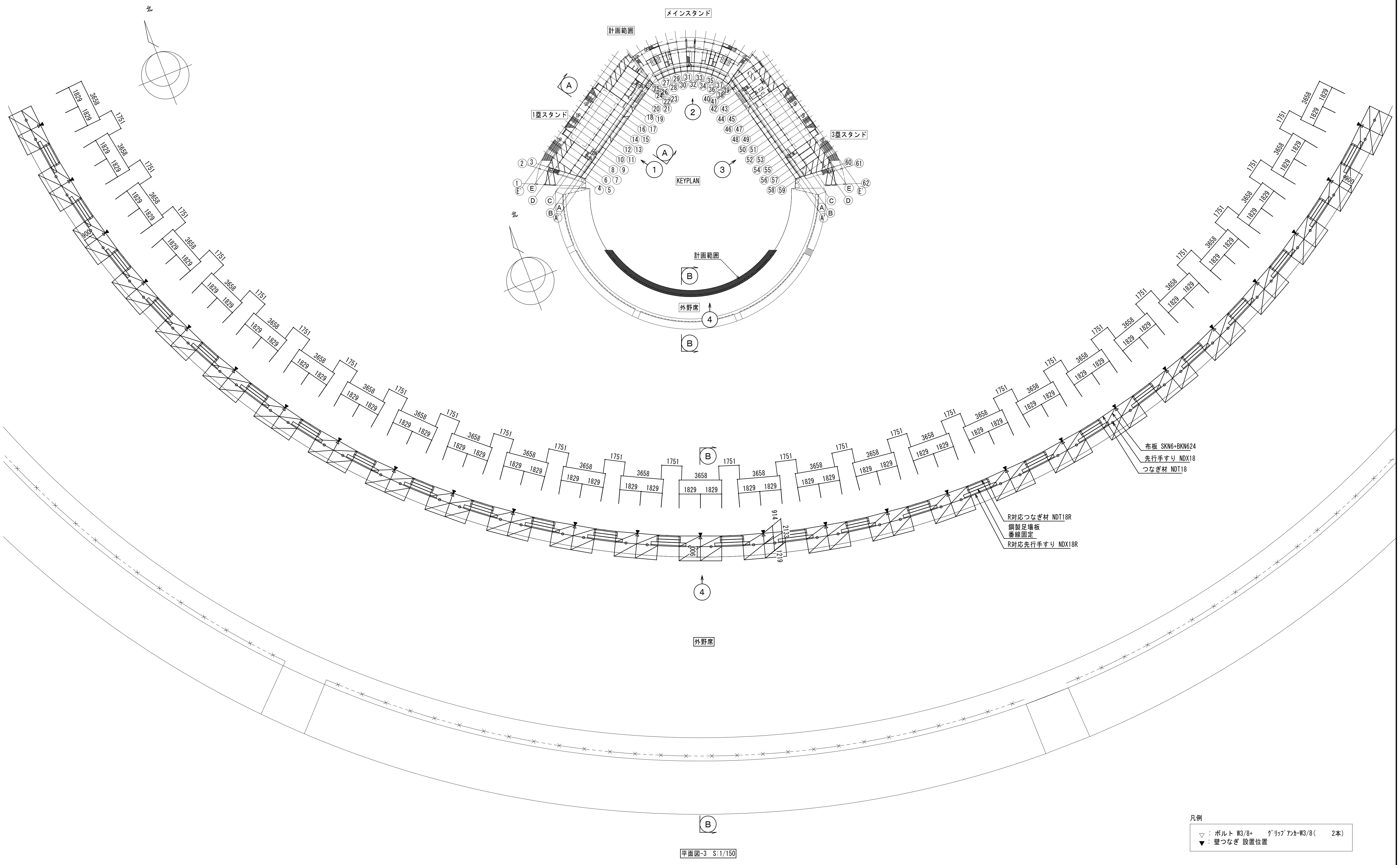
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事		製図	担当	検印	特記 ※白シートは防炎Ⅱ類品とする。	年月日 / 設計番号	図面内容 【参考図】 仮設計画図（グランド側足場）No.1	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	区分 共通	図面番号 KAK－14



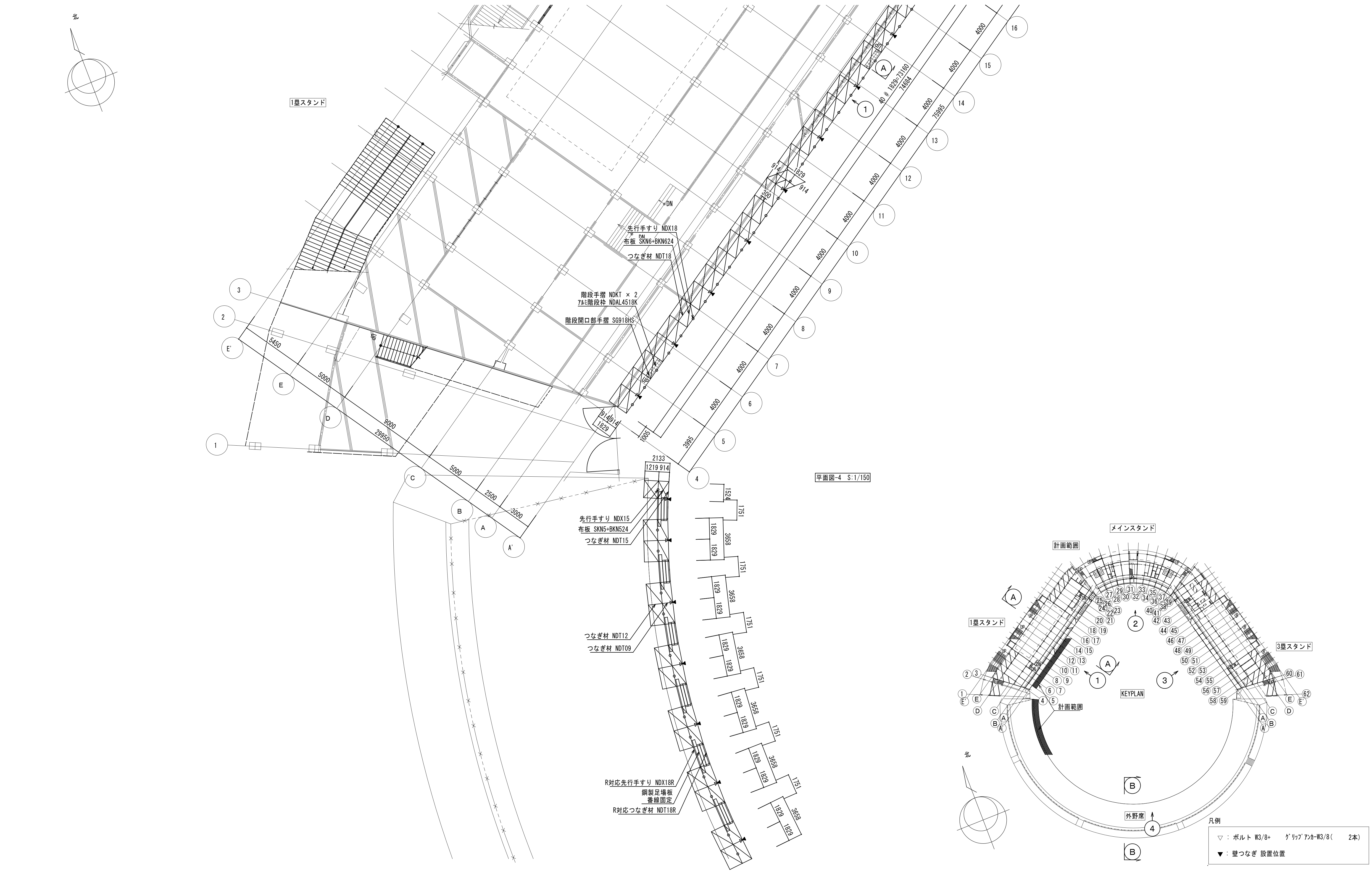
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。	年月日		図面内容 【参考図】 仮設計画図（グランド側足場）No.2	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	区分 共通	図面番号 KAK－15
						設計番号					



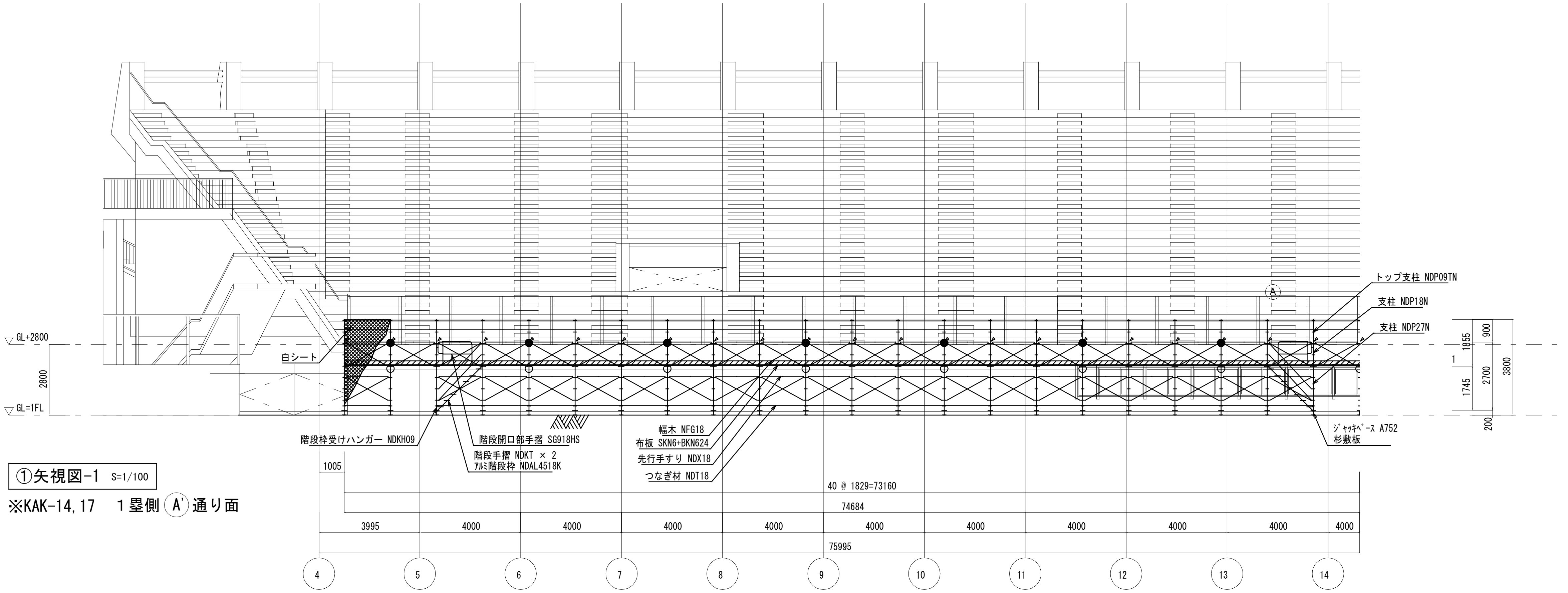
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製 図	担 当	検 印	特記 ※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。	年 月 日		図面内容 【参考図】 仮設計画図（グランド側足場）No.3	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	区 分 共 通	図面番号 KAK－16
						設計番号					



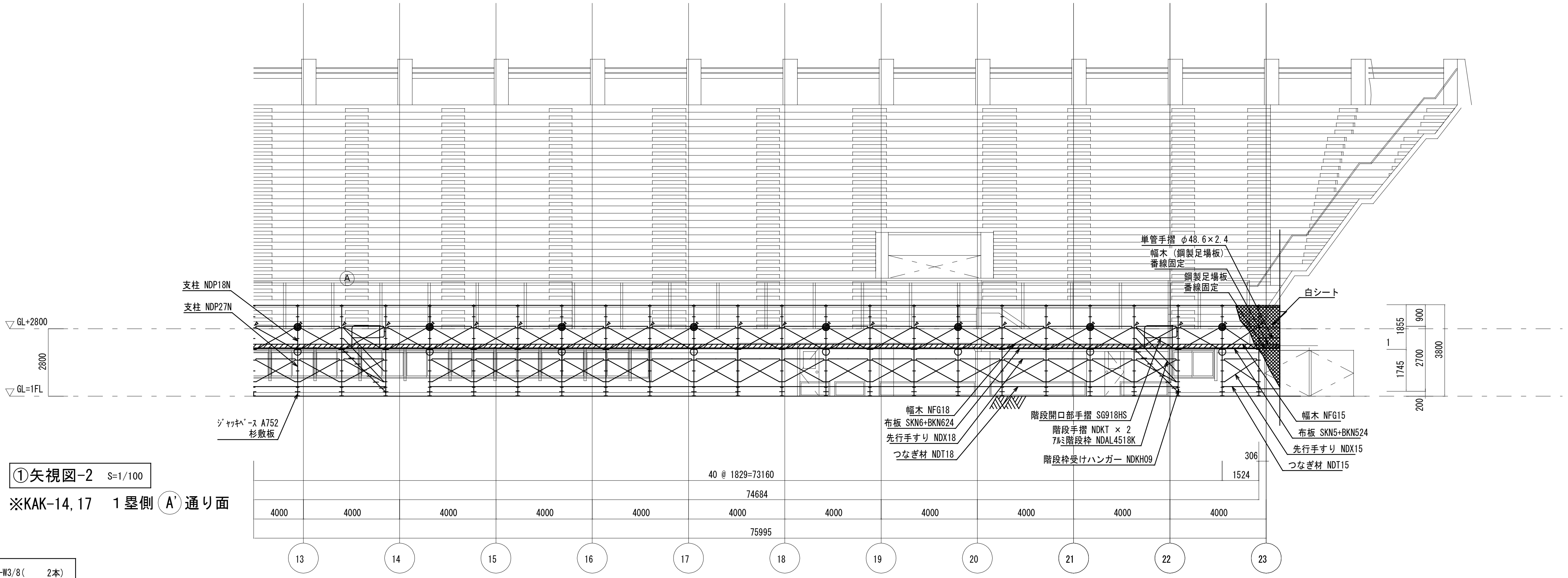
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白シートは防炎Ⅱ類品とする。	設計番号		仮設計画図（グランド側足場）No.4	A1:1/150 A3:1/300	共通	KAK－17



①矢視図-1 S=1/100

※KAK-14,17 1塁側 A' 通り面



①矢視図-2 S=1/100

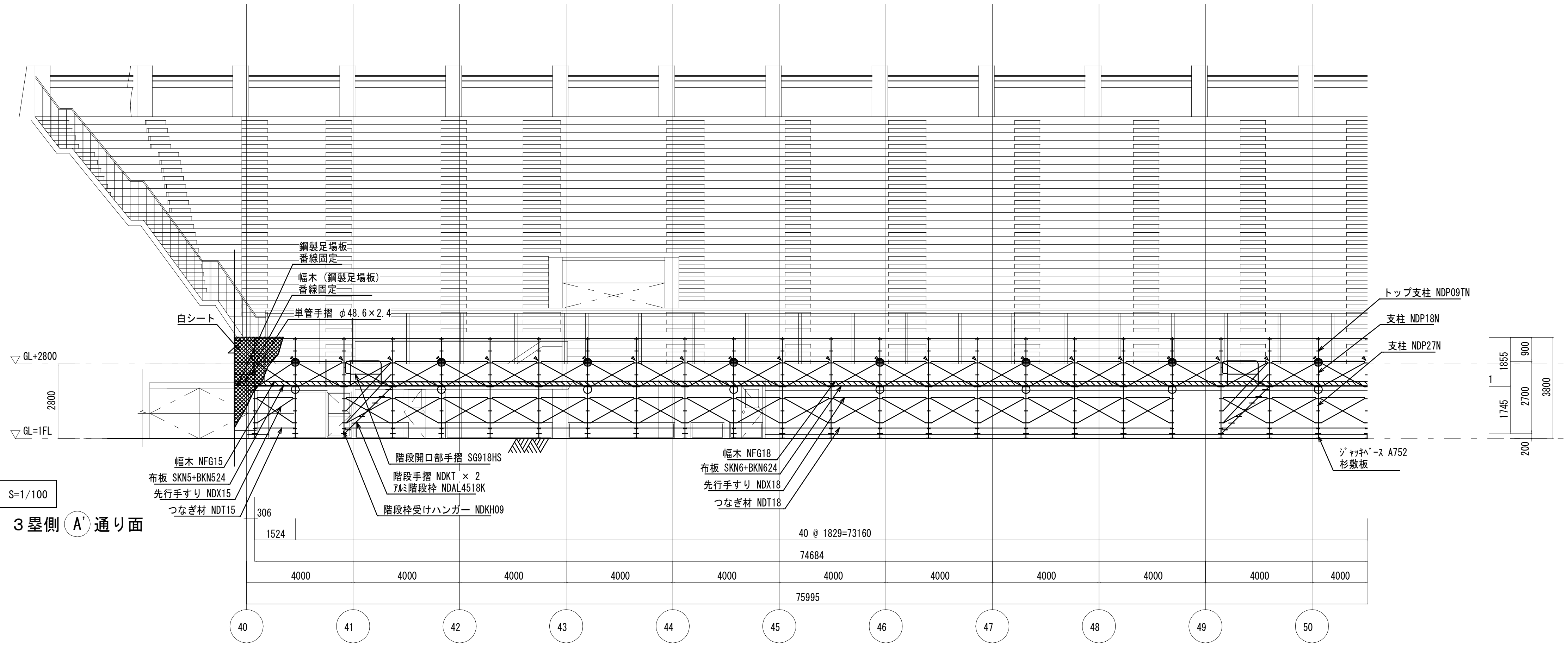
※KAK-14,17 1塁側 A' 通り面

凡例

- ⬤ ： ボルト W3/8+ ｸﾞﾘｯﾌﾟｱﾝｶｰW3/8（ 2本）
- ○ ：壁つなぎ 設置位置

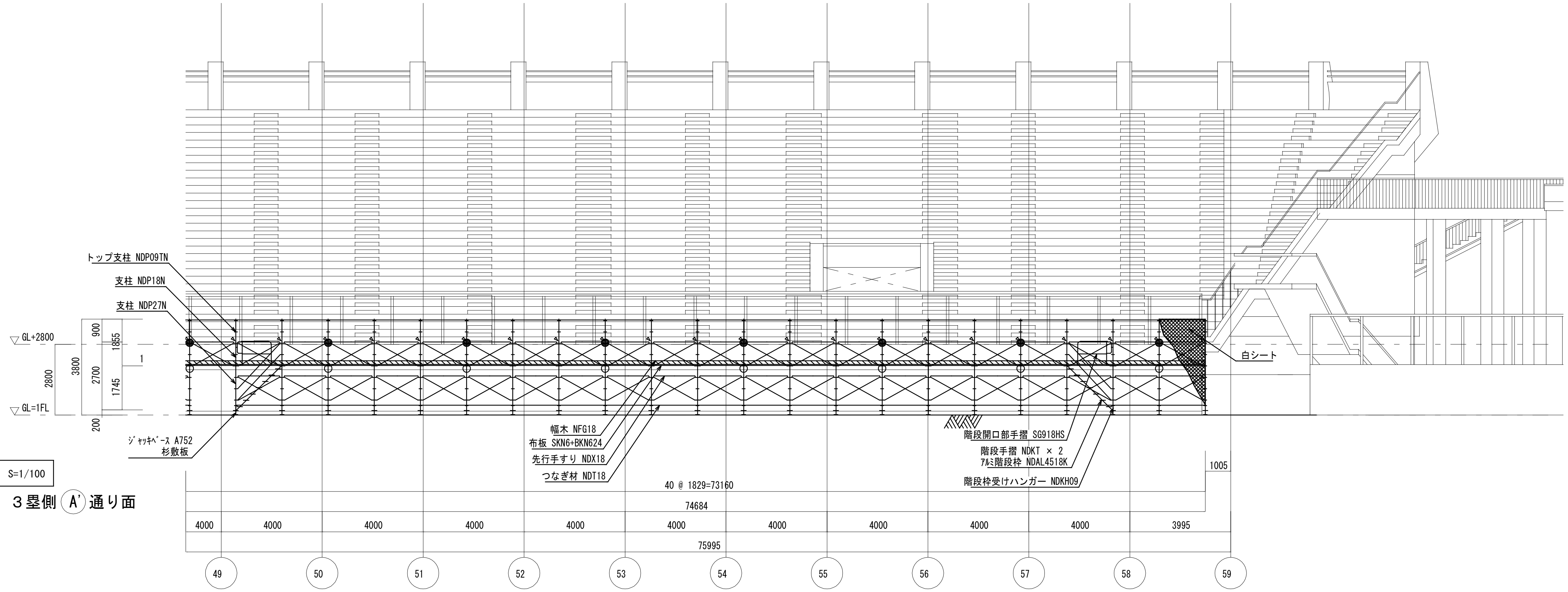
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白シートは防炎Ⅱ類品とする。	年月日 / 設計番号	図面内容【参考図】 仮設計画図（グランド側足場）No.5	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	区分 共通	図面番号 KAK－18



③矢視図-1 S=1/100

※KAK-14,15　3塁側 A' 通り面



③矢視図-2 S=1/100

※KAK-14,15　3塁側 A' 通り面

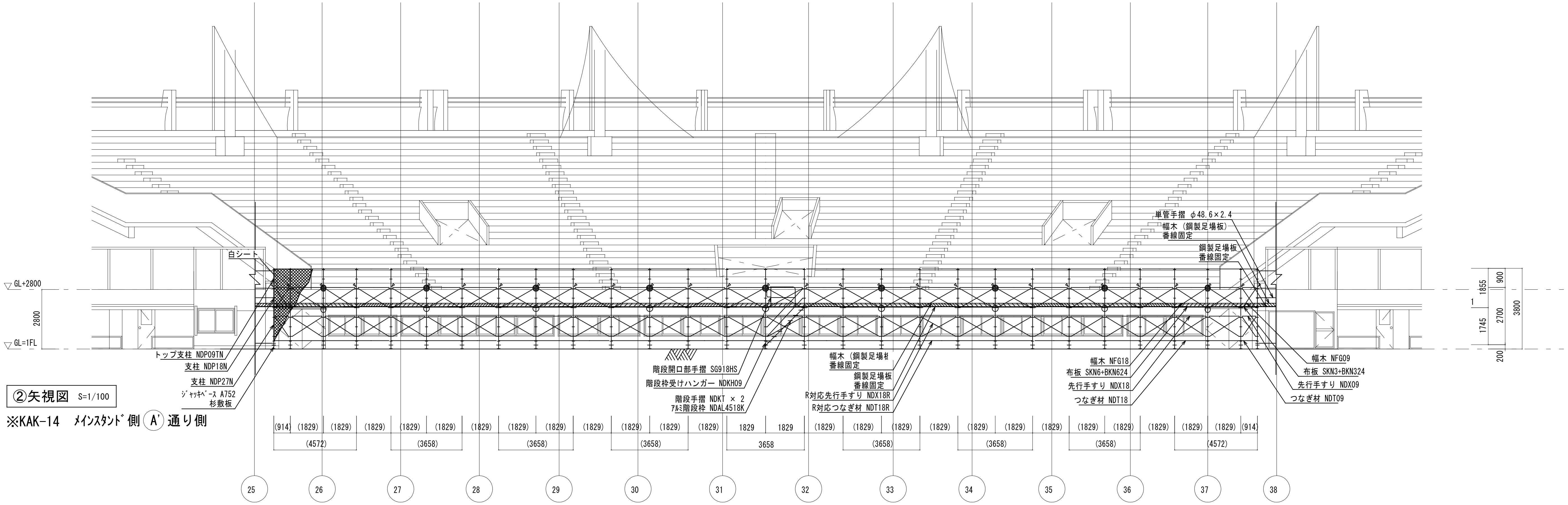
凡例

● ：ボルト W3/8+　　ｸﾞﾘｯﾌﾟｱﾝｶｰW3/8（　　2本）

○ ：壁つなぎ 設置位置

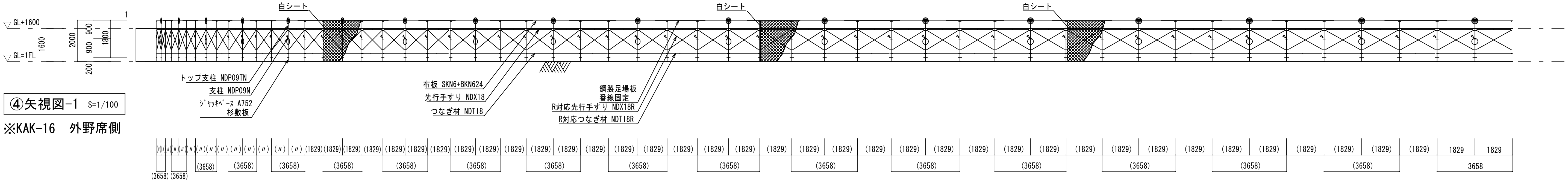
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。	年月日 / 設計番号	図面内容【参考図】 仮設計画図（グランド側足場）No.6	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	区分 共通	図面番号 KAK－19



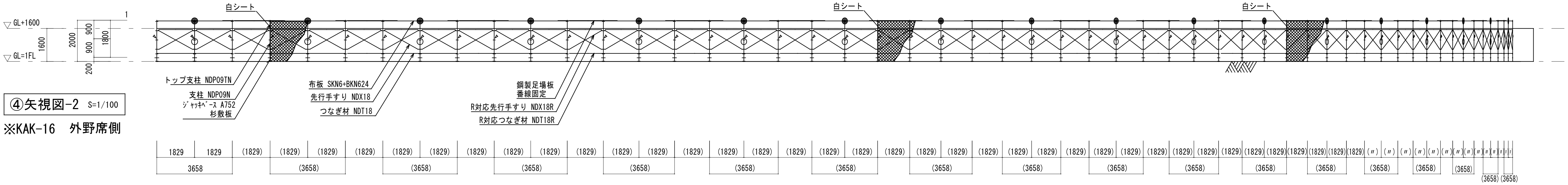
②矢視図 S=1/100

※KAK-14 ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ側 A' 通り側



④矢視図-1 S=1/100

※KAK-16 外野席側



④矢視図-2 S=1/100

※KAK-16 外野席側

凡例

● ：ボルト W3/8+ ｸﾞﾘｯﾌﾟｱﾝｶｰW3/8（ 2本）

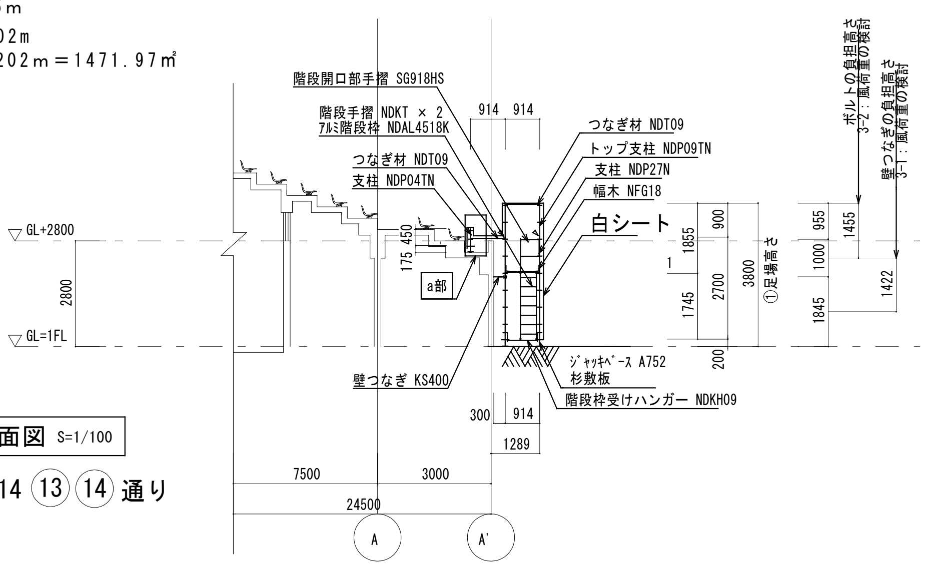
○ ：壁つなぎ 設置位置

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。	年月日		図面内容 【参考図】 仮設計画図（グランド側足場）No.7	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	区分 共通	図面番号 KAK－20
						設計番号					

内野部 グランド側足場

①部ｼｰﾄ水平長さ 7.287m
①部足場掛け長さm
メインスタンド 52m
1塁スタンド 75m
3塁スタンド 75m
足場掛け長さ合計 202m
ｼｰﾄ面積 7.287m×202m＝1471.97㎡

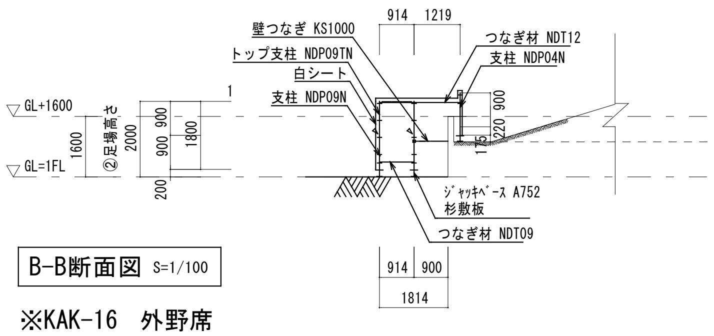


A-A断面図 S=1/100

※KAK-14 ⑬⑭通り

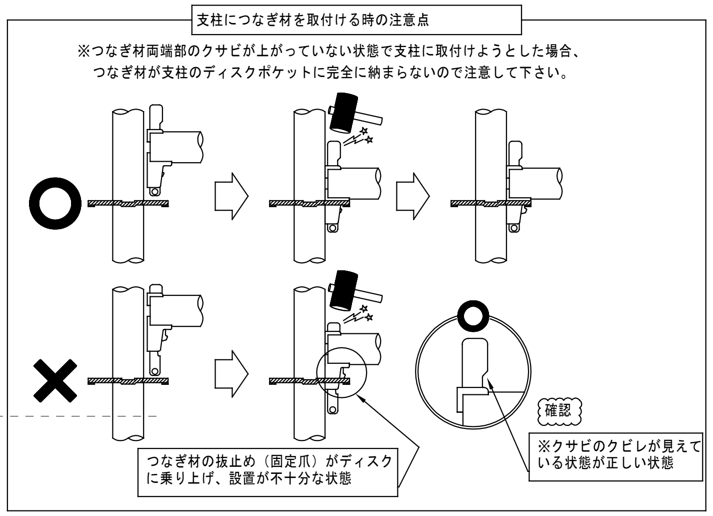
外野部 グランド側足場

②部ｼｰﾄ水平長さ 4.915m
②部足場掛け長さ206m
ｼｰﾄ面積 4.915m×206m＝1012.49㎡

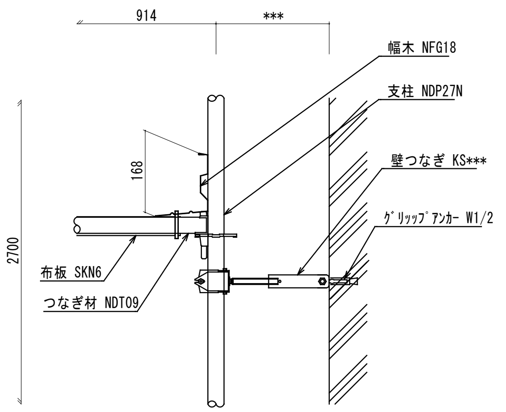


B-B断面図 S=1/100

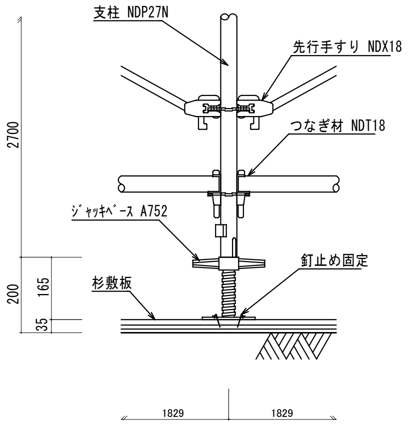
※KAK-16 外野席



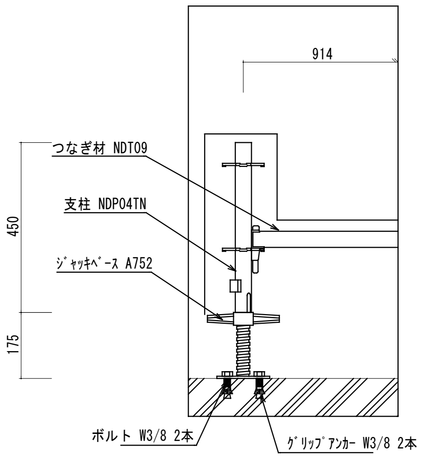
壁ツナギ詳細図 S=1/10



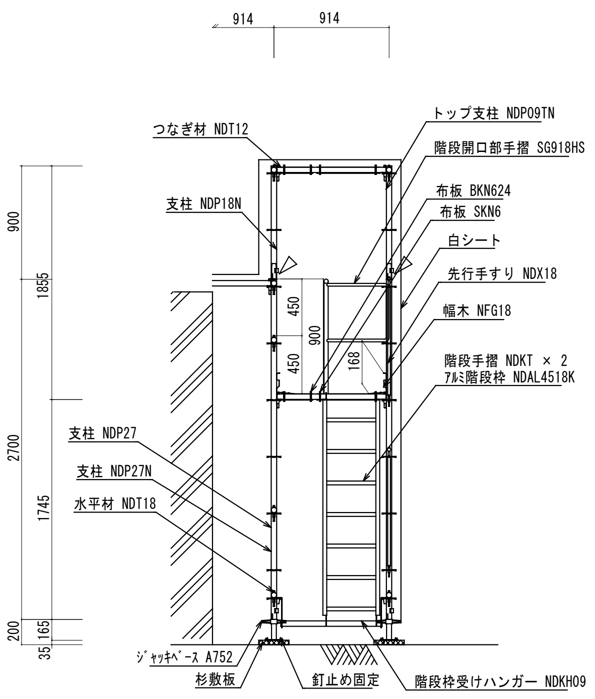
ND支柱脚部詳細図 S=1/10



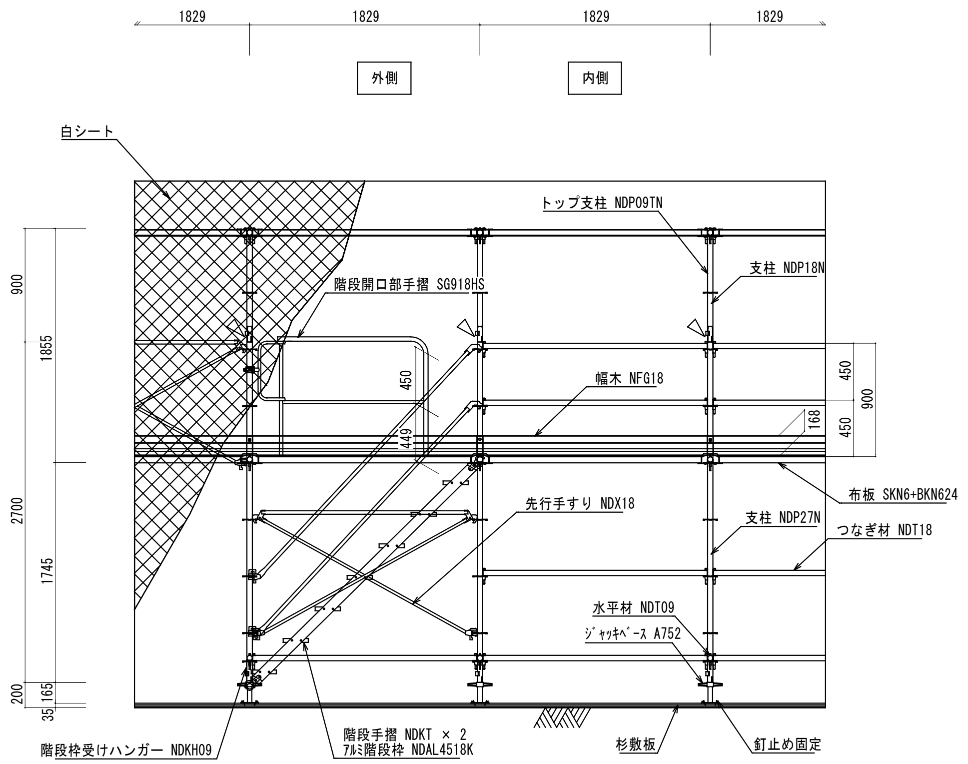
a部詳細図 S=1/30



支柱ND(W=914)断面詳細図 S=1/30

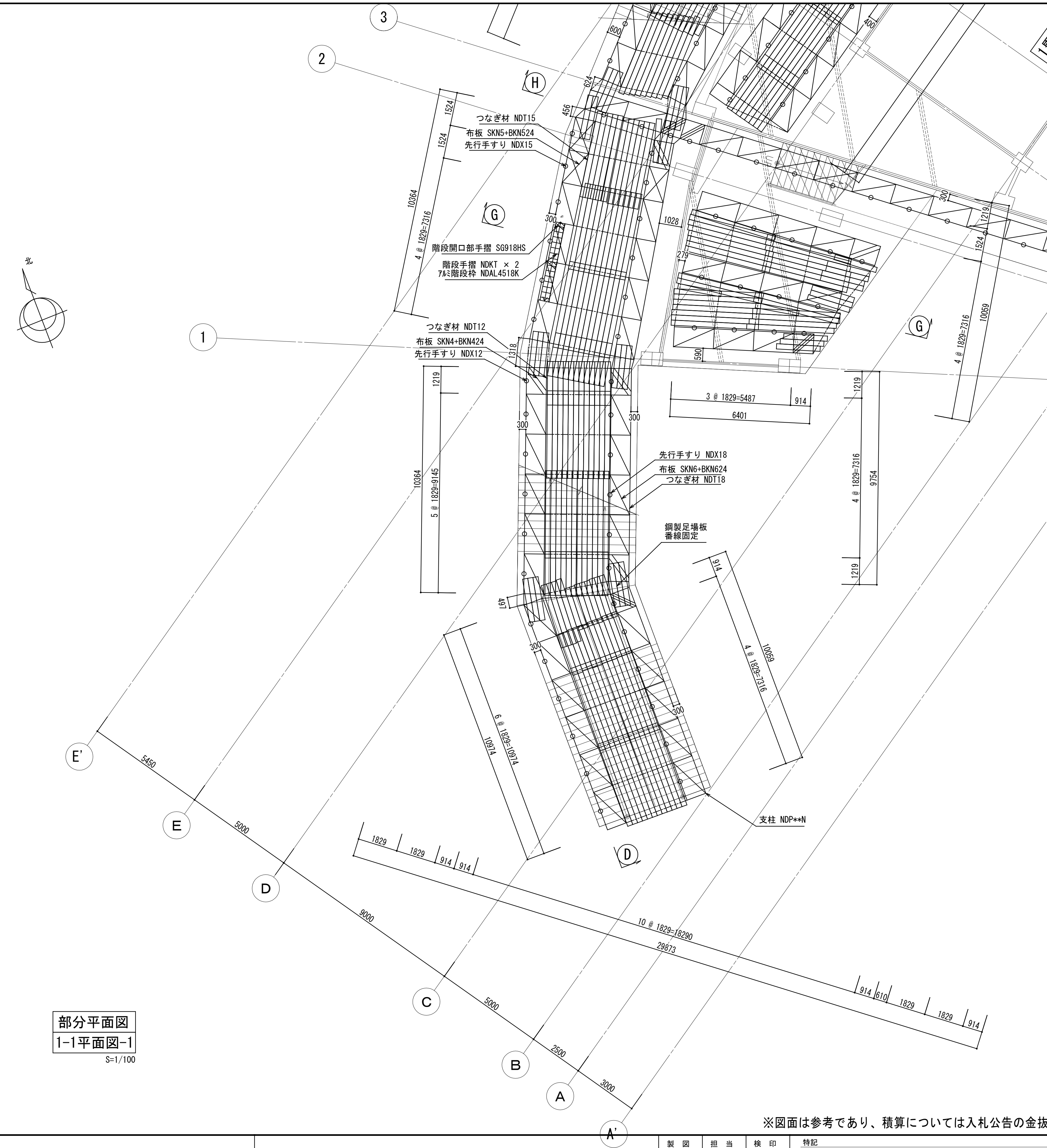


階段部詳細図 S=1/30

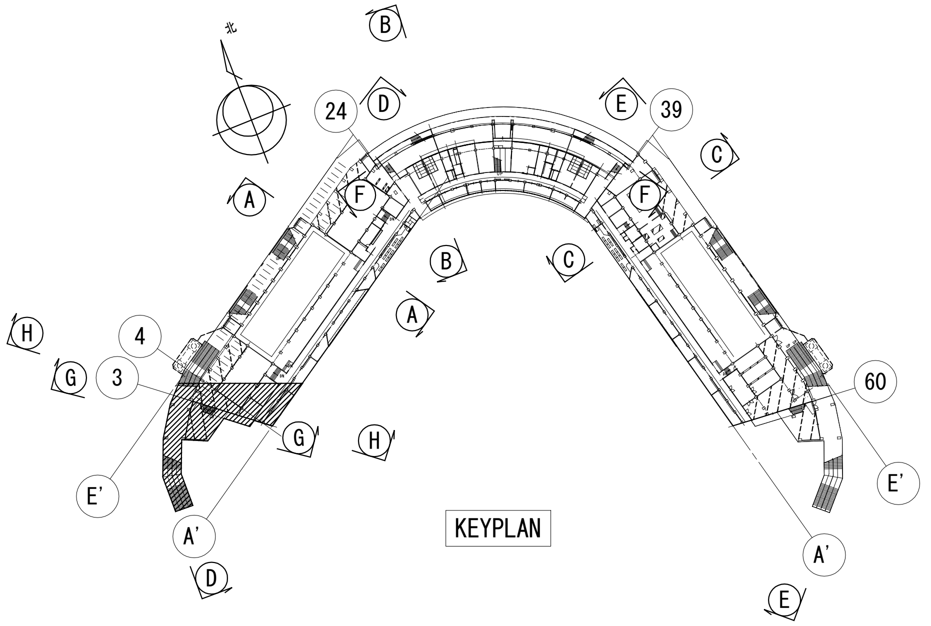


※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。	年月日 / 設計番号	図面内容 【参考図】 仮設計画図（グランド側足場）No.8	縮尺 A1:1/10,30,100 A3:1/20,60,200	区分 共通	図面番号 KAK－21



部分平面図
1-1平面図-1
S=1/100



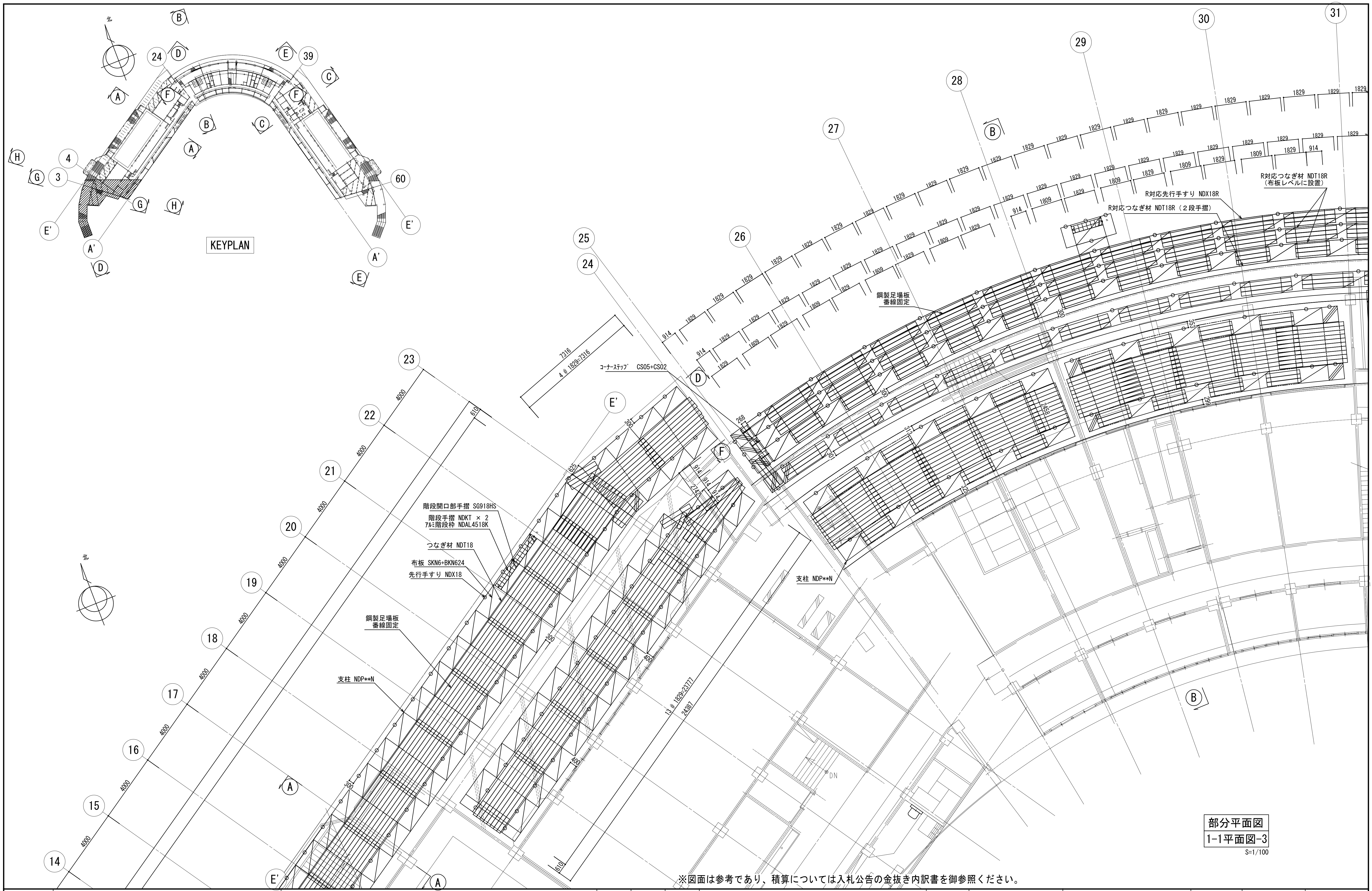
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号	仮設計画図（スタンド下部足場）No.1	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK−22

部分平面図
1-1平面図-2
S=1/100

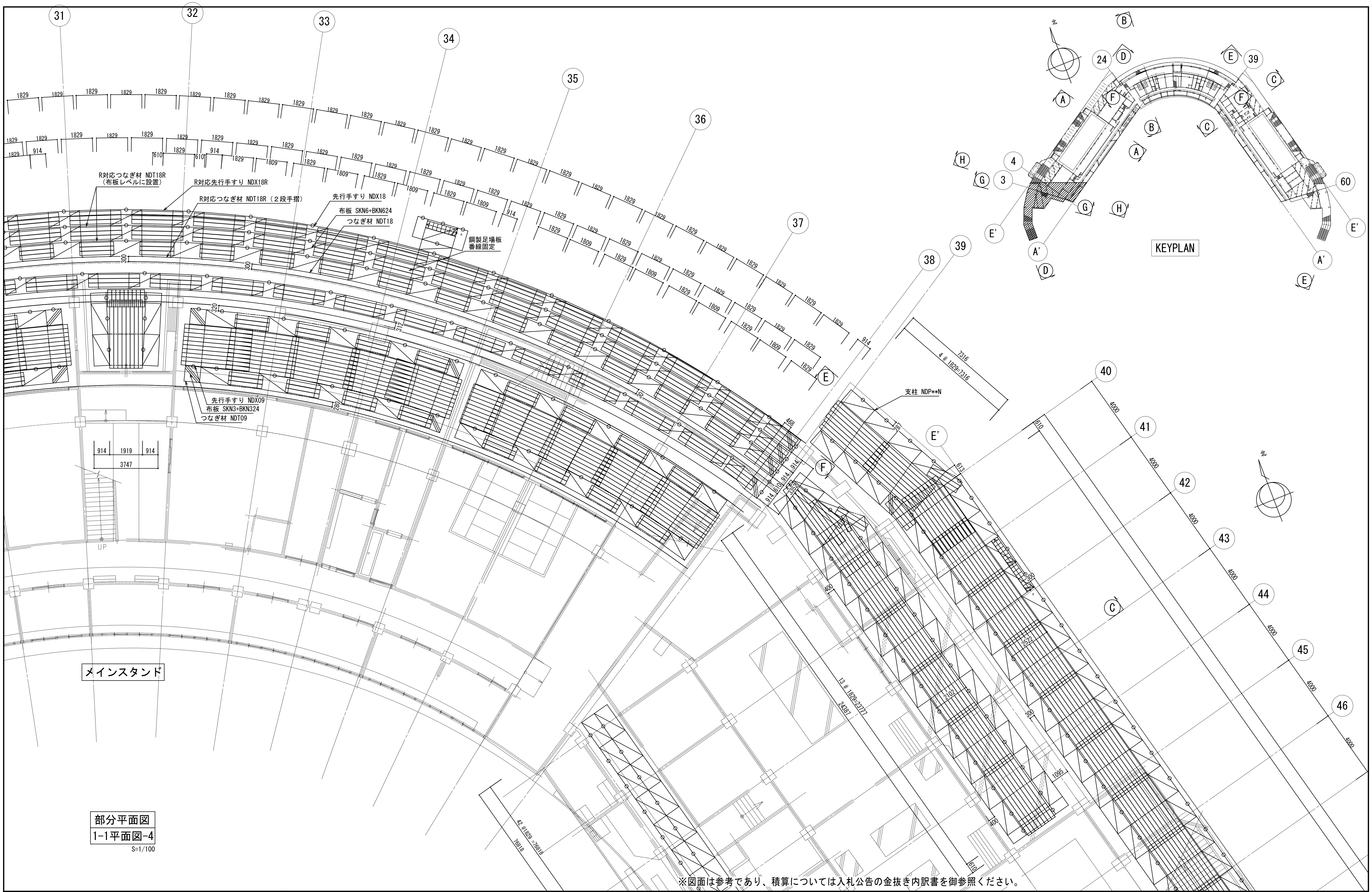
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.2	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－23



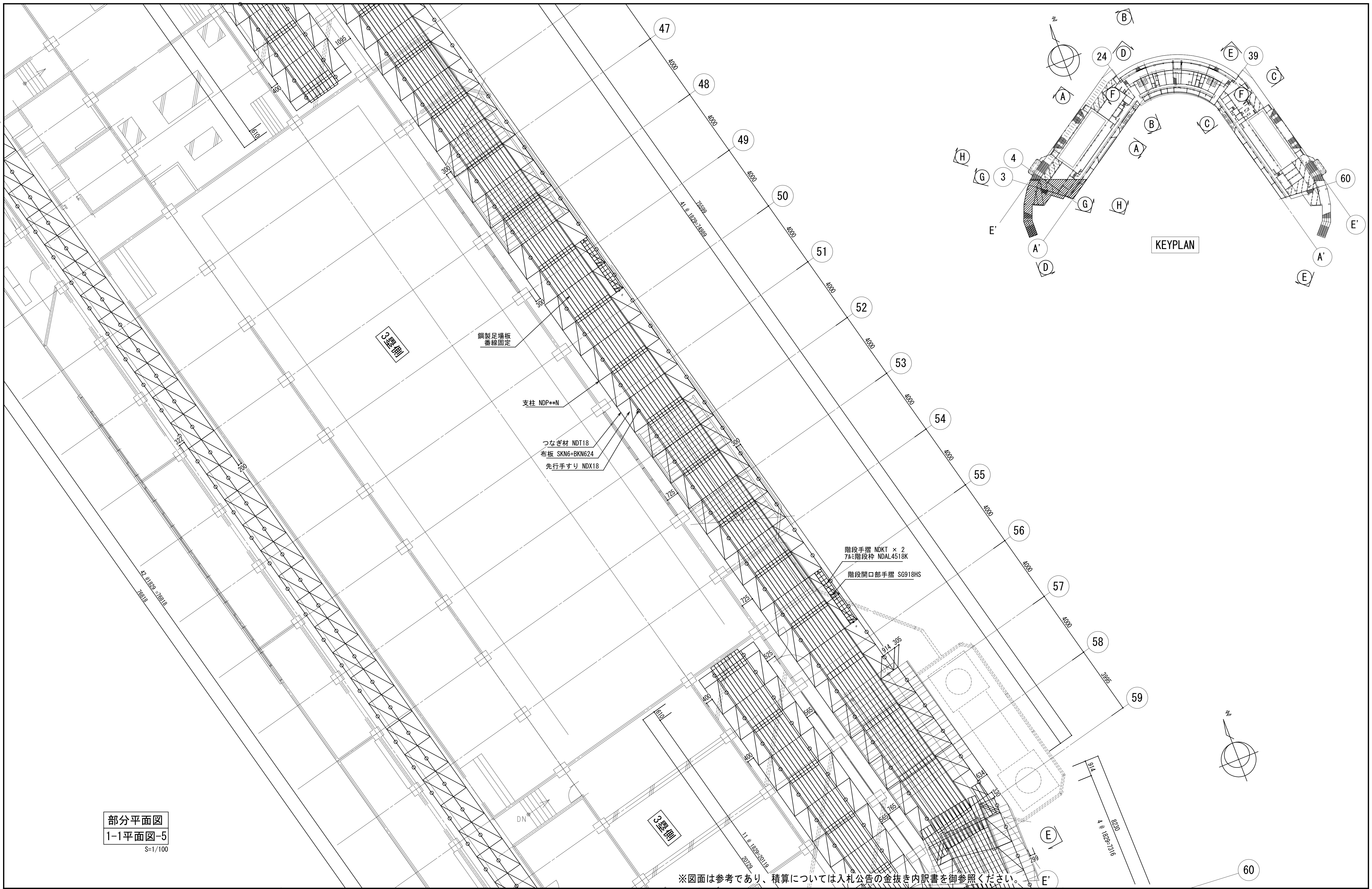
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.3	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－24



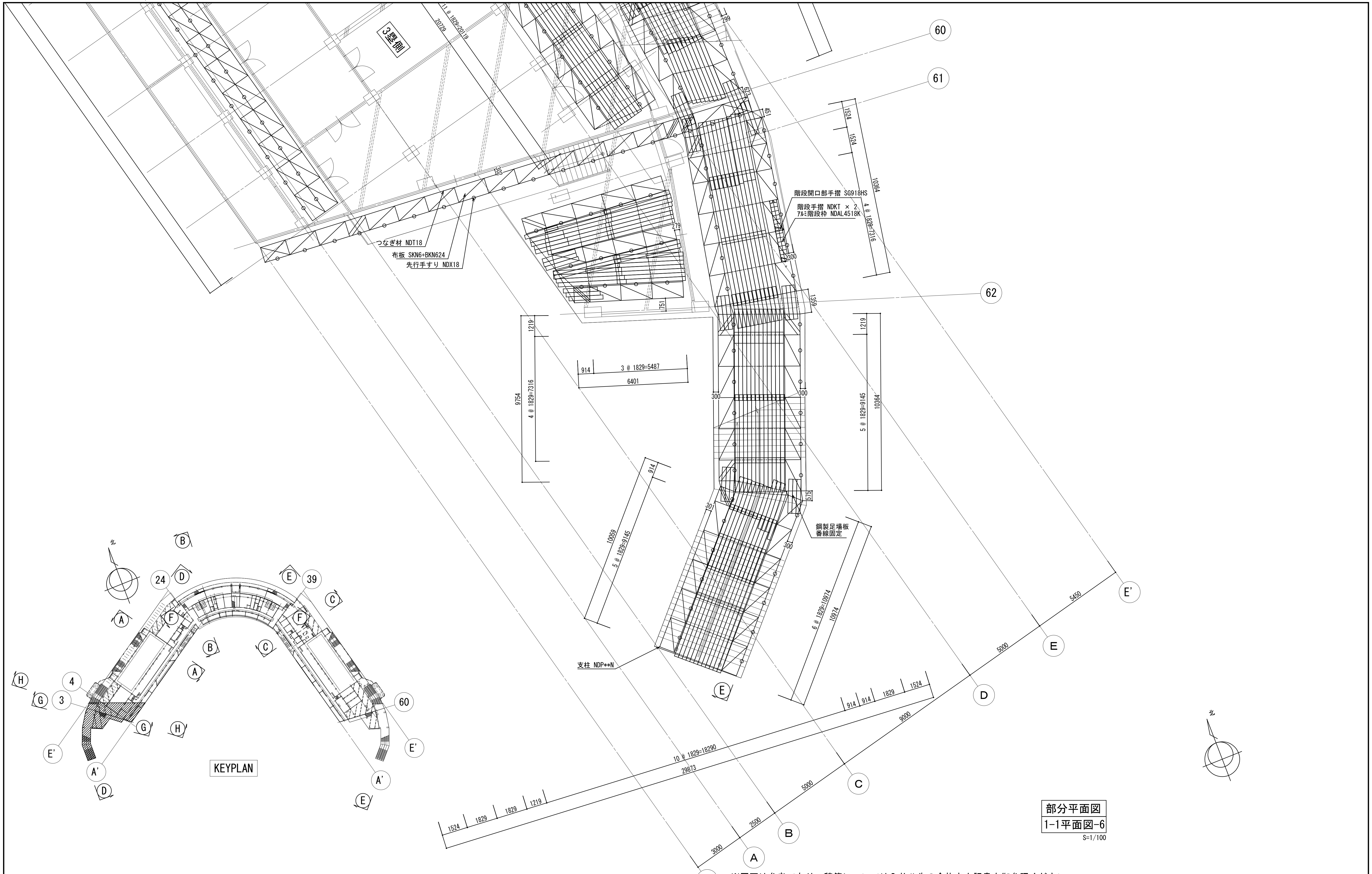
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.4	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－25



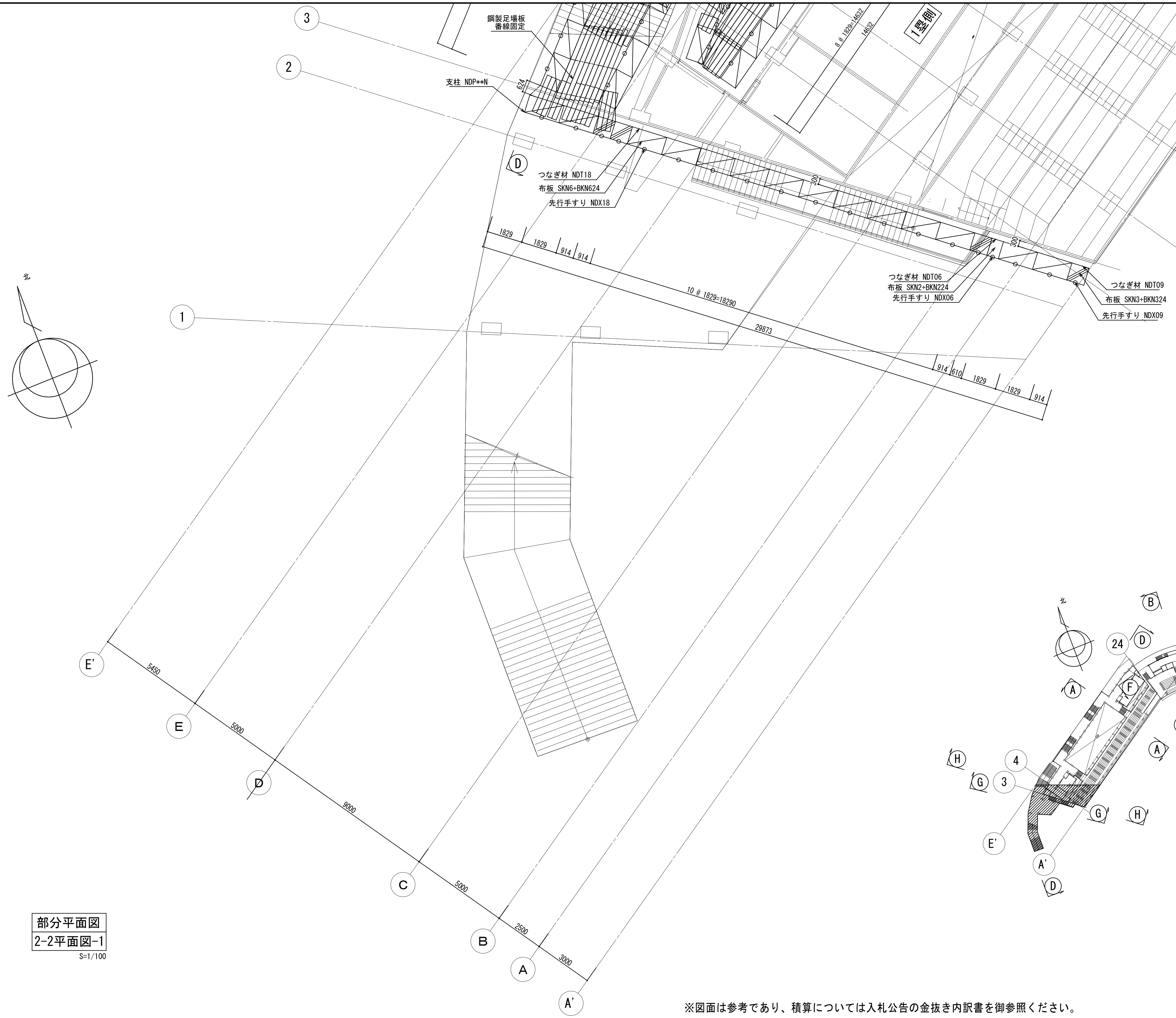
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.5	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－26

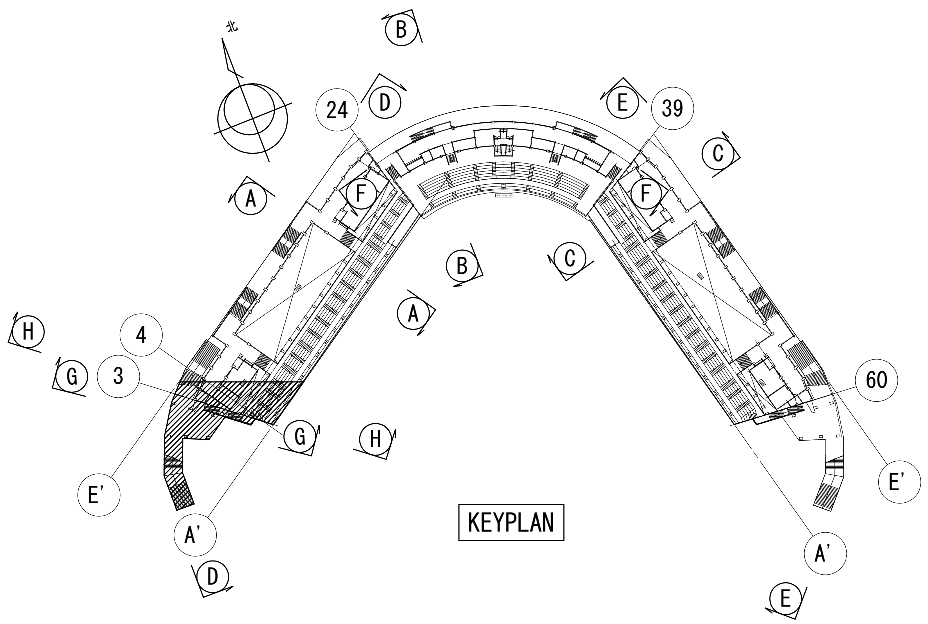


※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.6	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－27

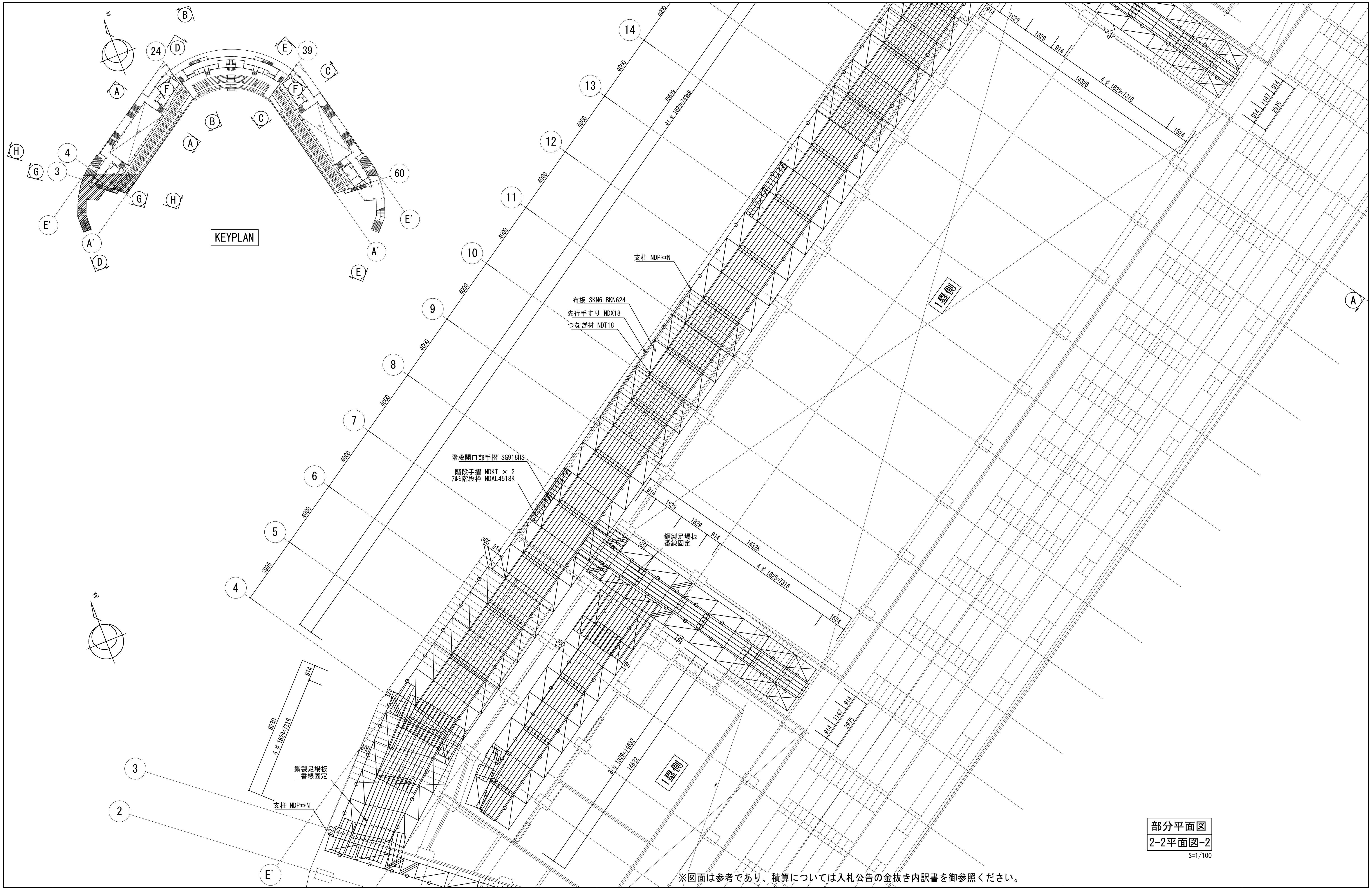


部分平面図
2-2平面図-1
S=1/100



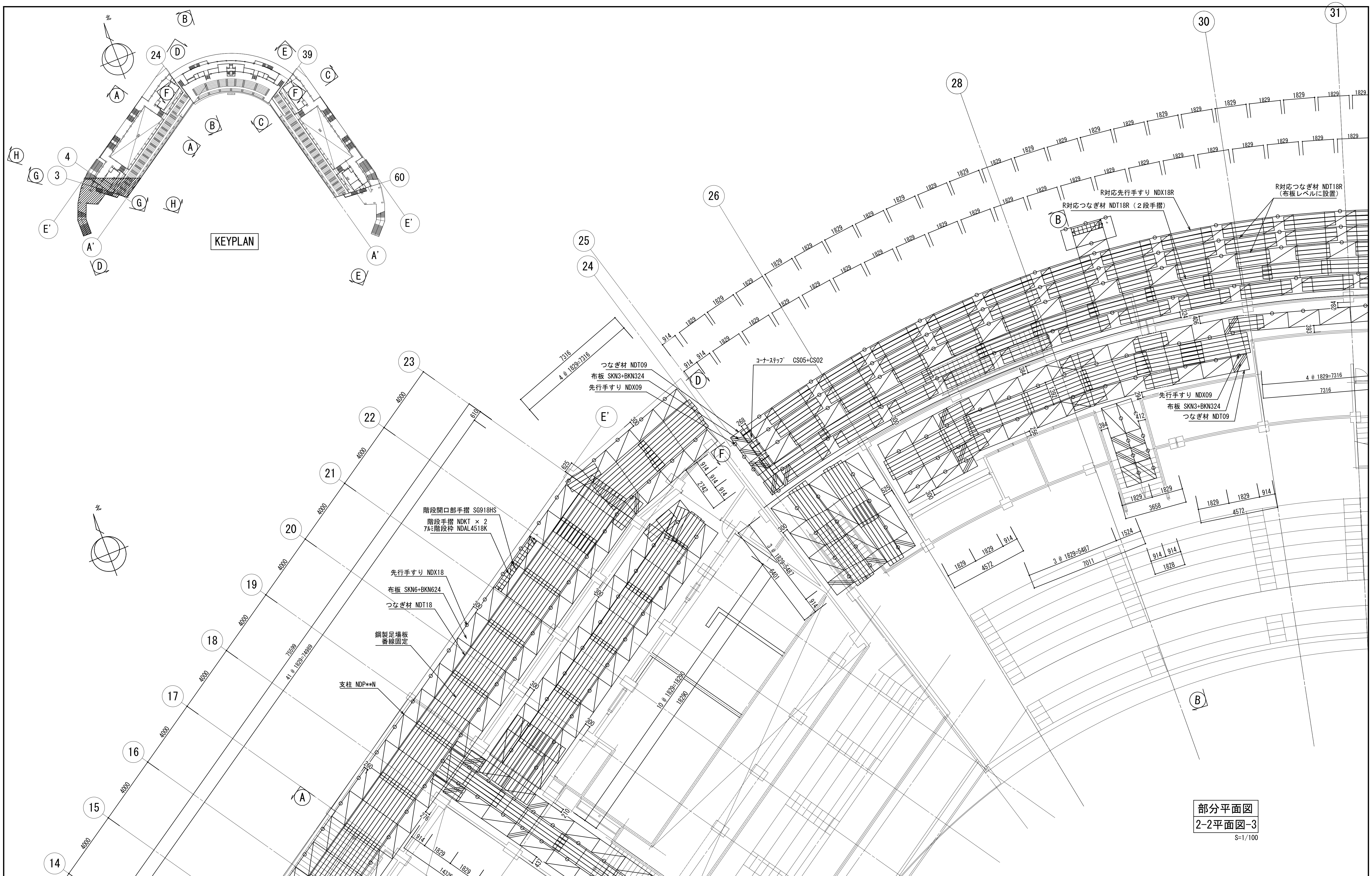
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.7	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－28



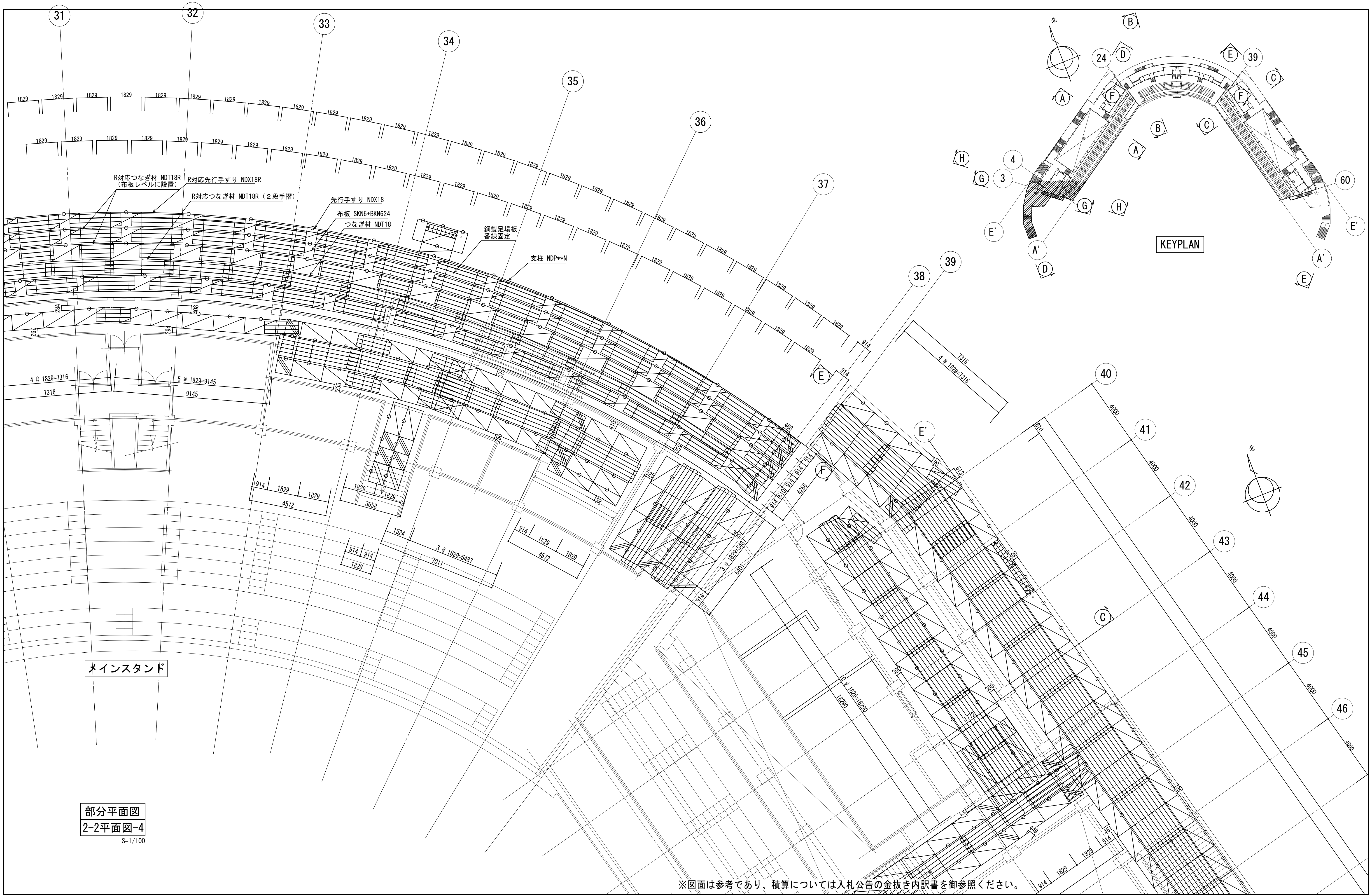
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.8	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－29



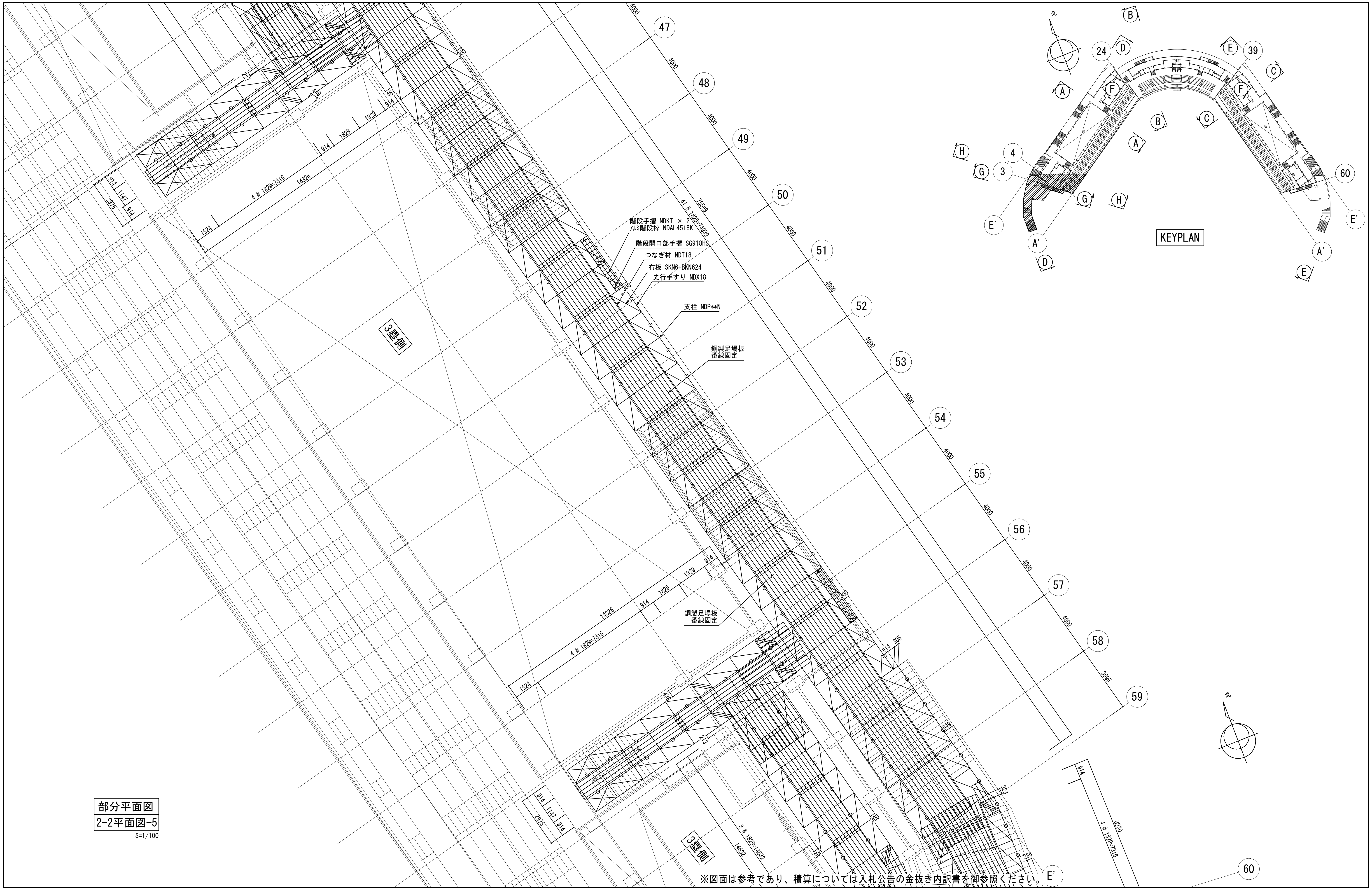
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.9	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－30



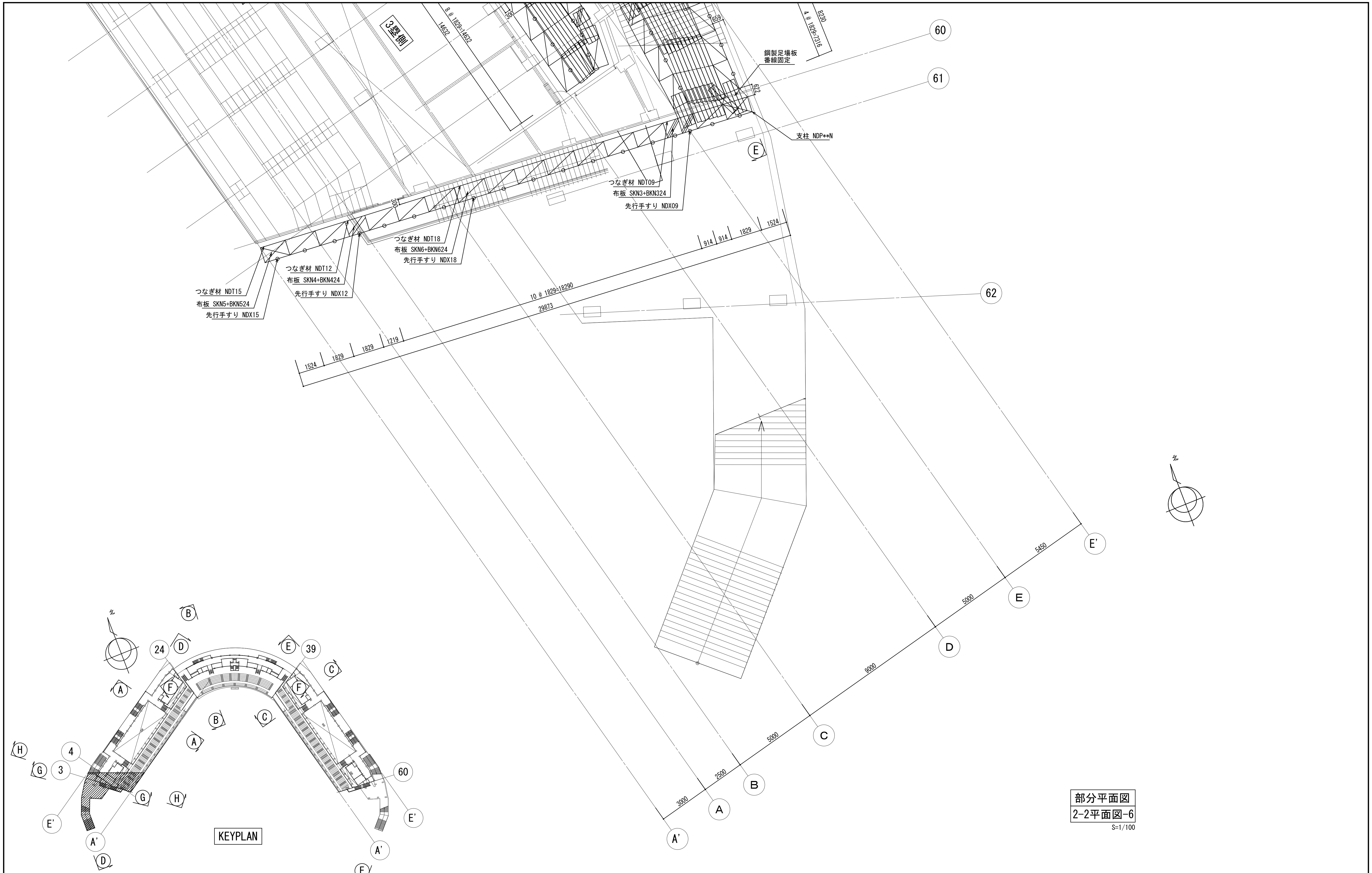
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.10	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－31



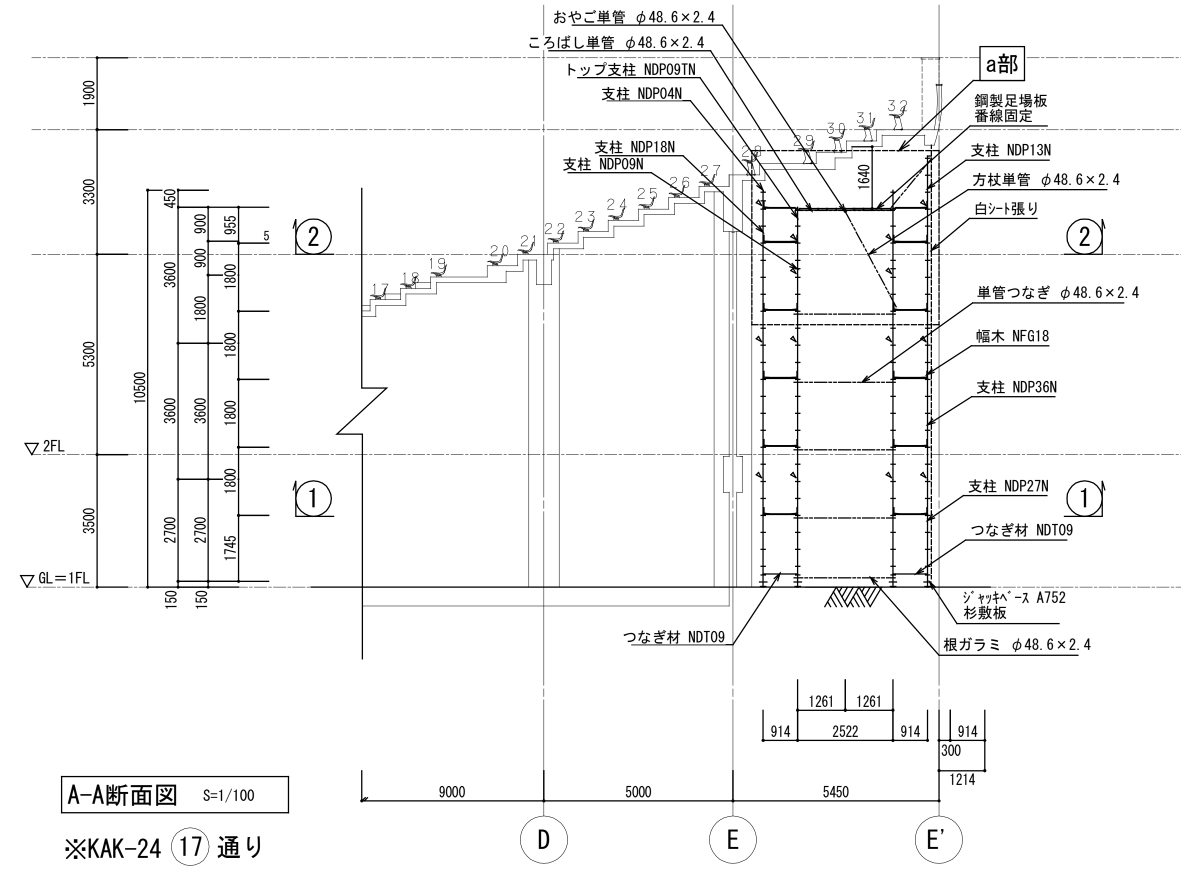
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.11	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－32



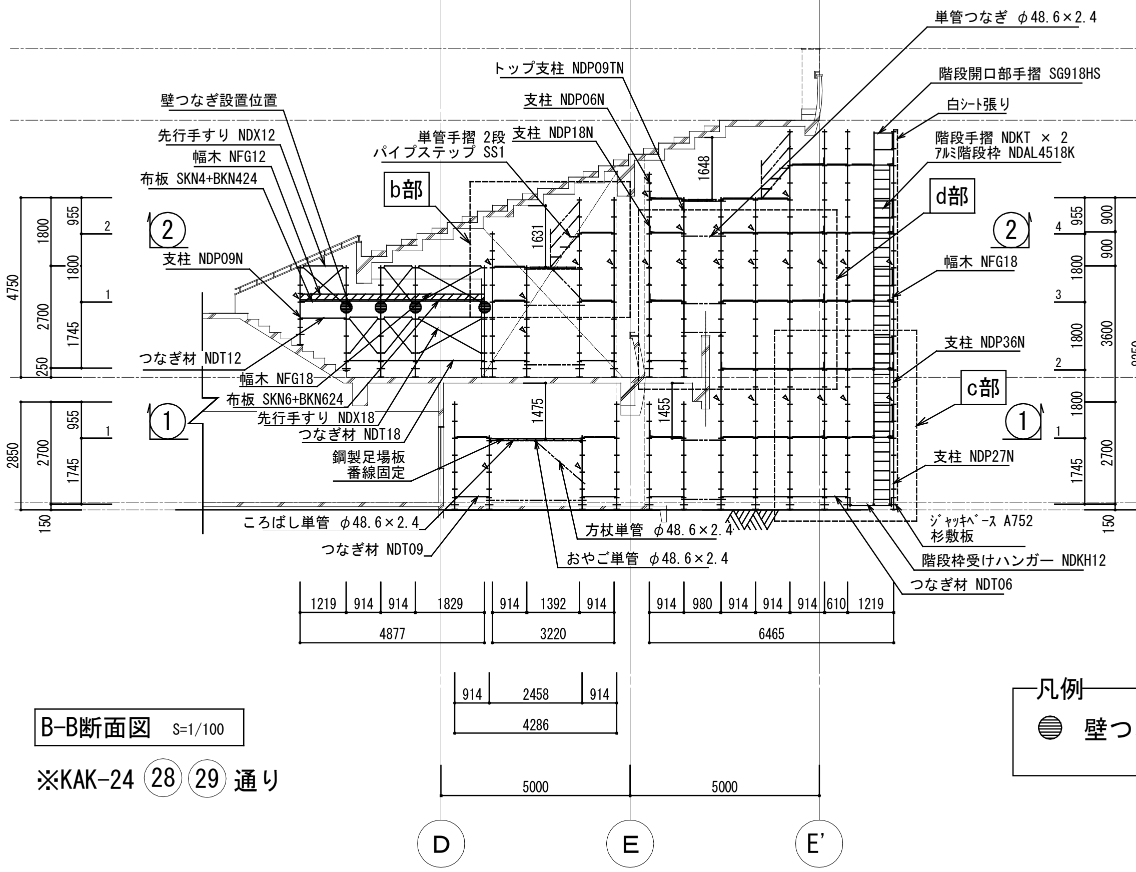
※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事		製図	担当	検印	特記 ※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	年月日		図面内容 【参考図】 仮設計画図（スタンド下部足場）No.12	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	区分 共通	図面番号 KAK－33
							設計番号					



A-A断面図 S=1/100

※KAK-24 ⑰ 通り

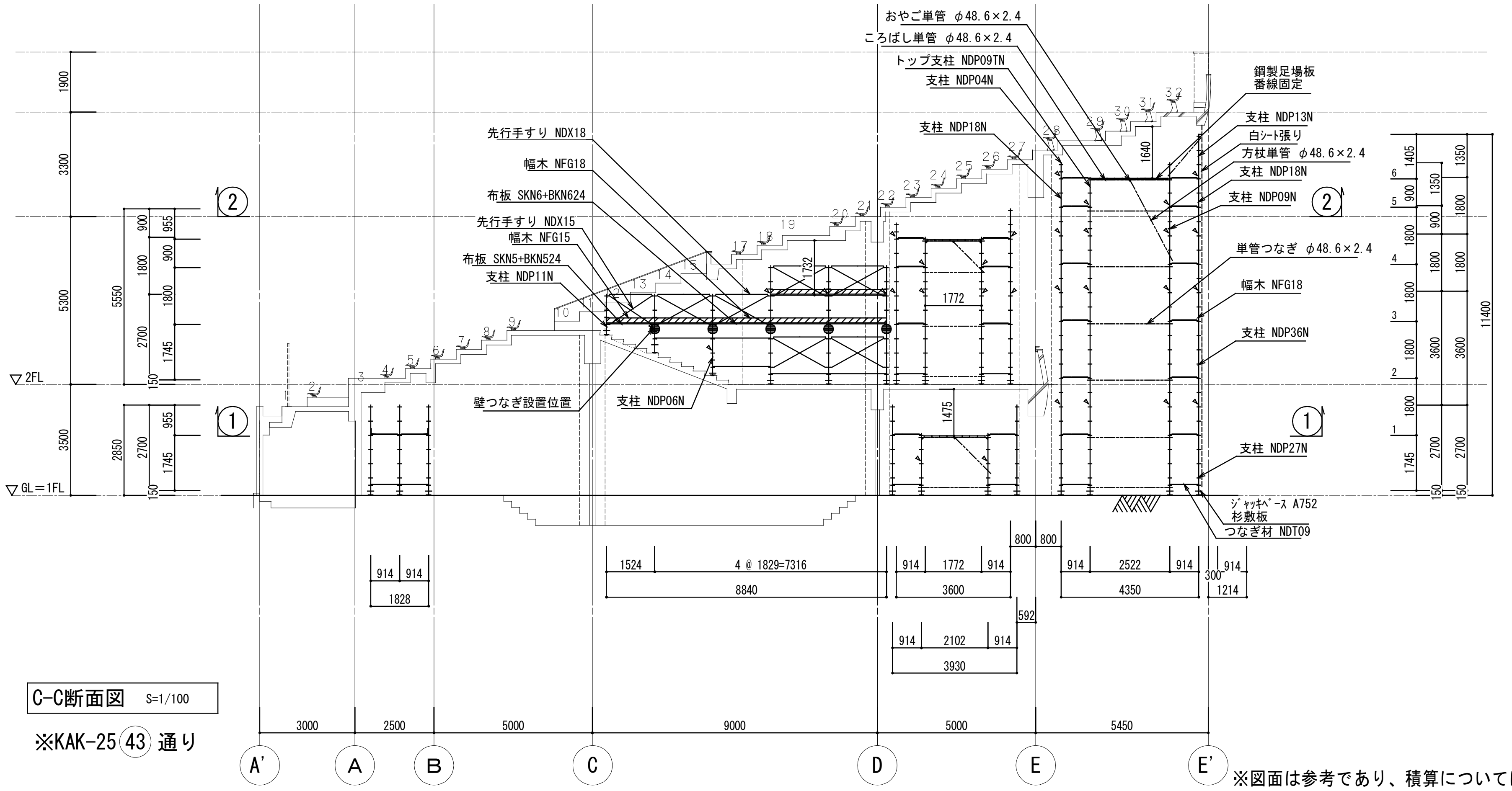


B-B断面図 S=1/100

※KAK-24 ㉘ ㉙ 通り

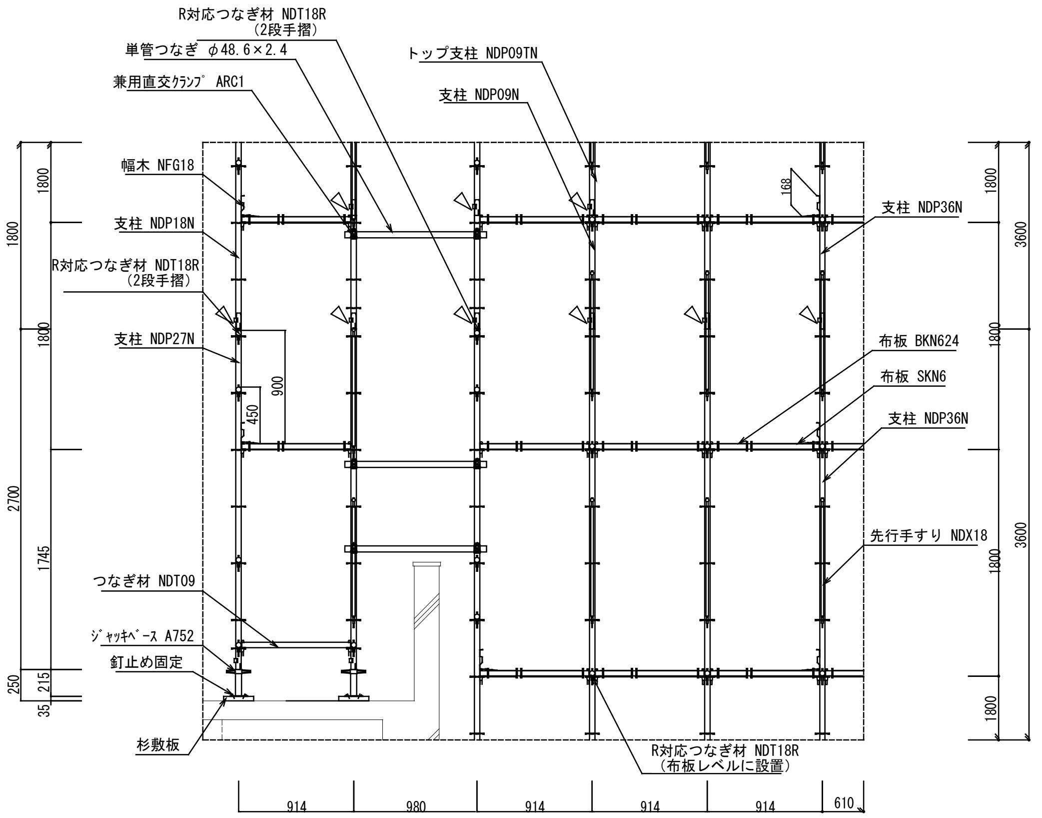
凡例

壁つなぎ取付位置



C-C断面図 S=1/100

※KAK-25 ㊸ 通り

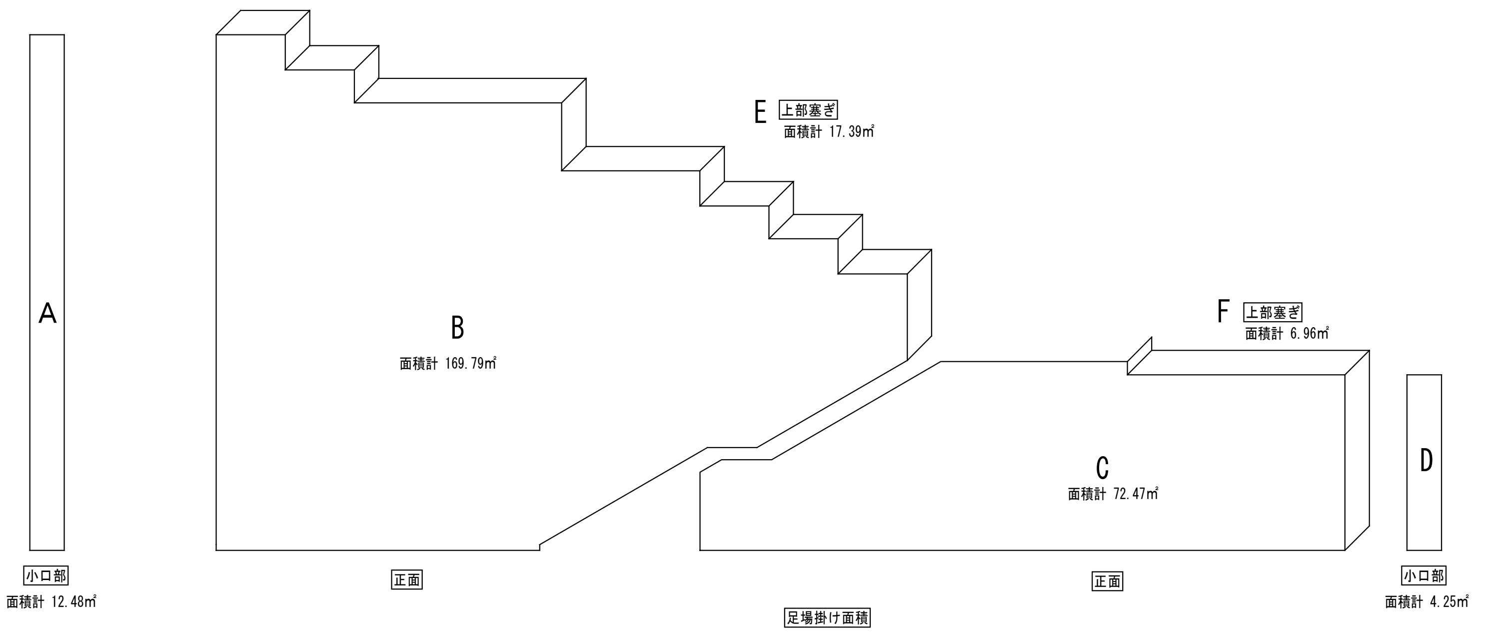


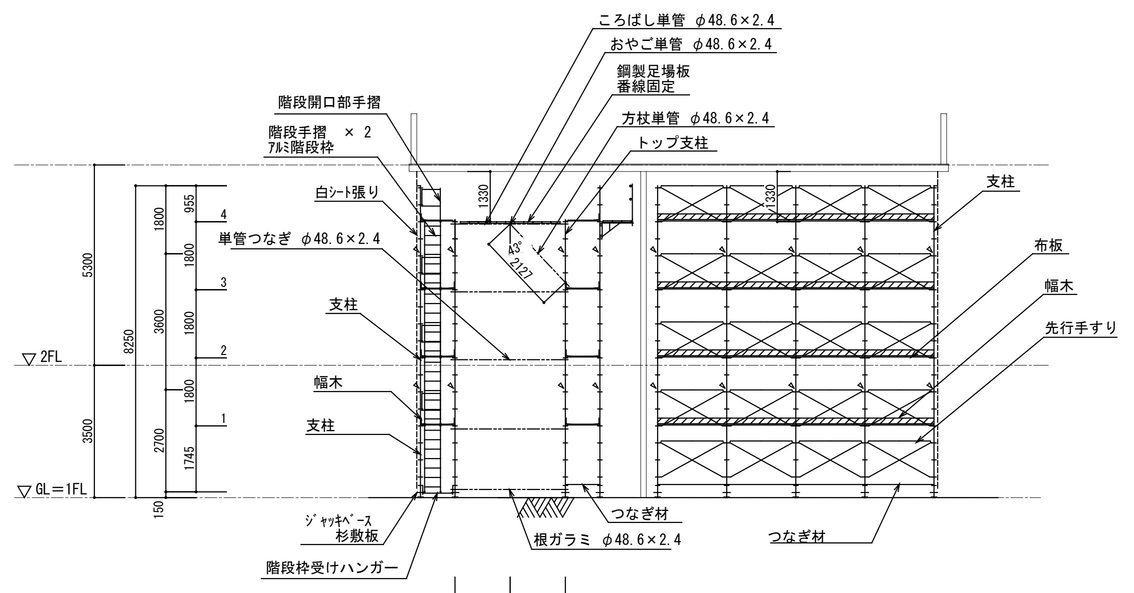
d部詳細図（R対応部材使用部）

S=1/30

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

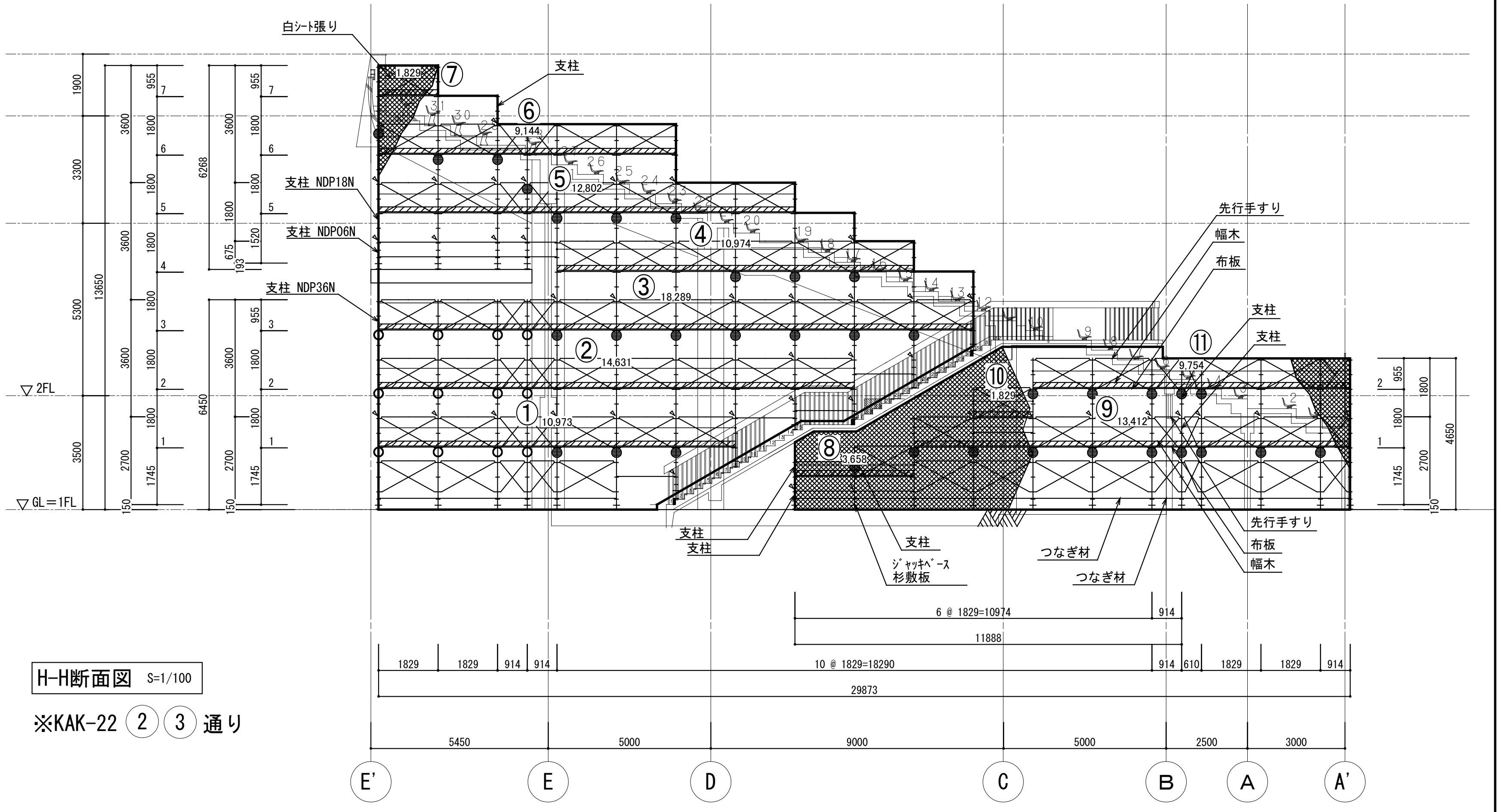
工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日 / 設計番号	図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。		仮設計画図（スタンド下部足場）No.13	A1:1/30,100 A3:1/60,200	共通	KAK－34





G-G断面図 S=1/100

※KAK-22 ① ② 通り



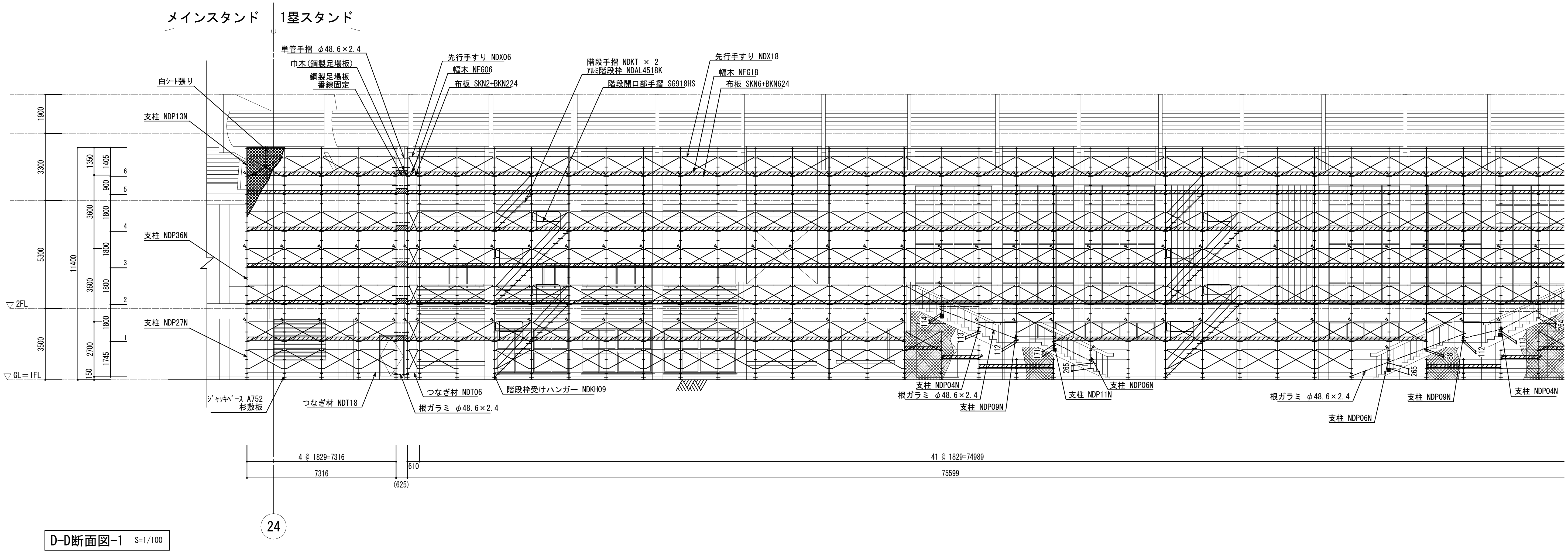
H-H断面図 S=1/100

※KAK-22 ② ③ 通り

凡例
- ● 壁つなぎ取付位置
- ○ 単管つなぎ取付位置

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.14	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－35

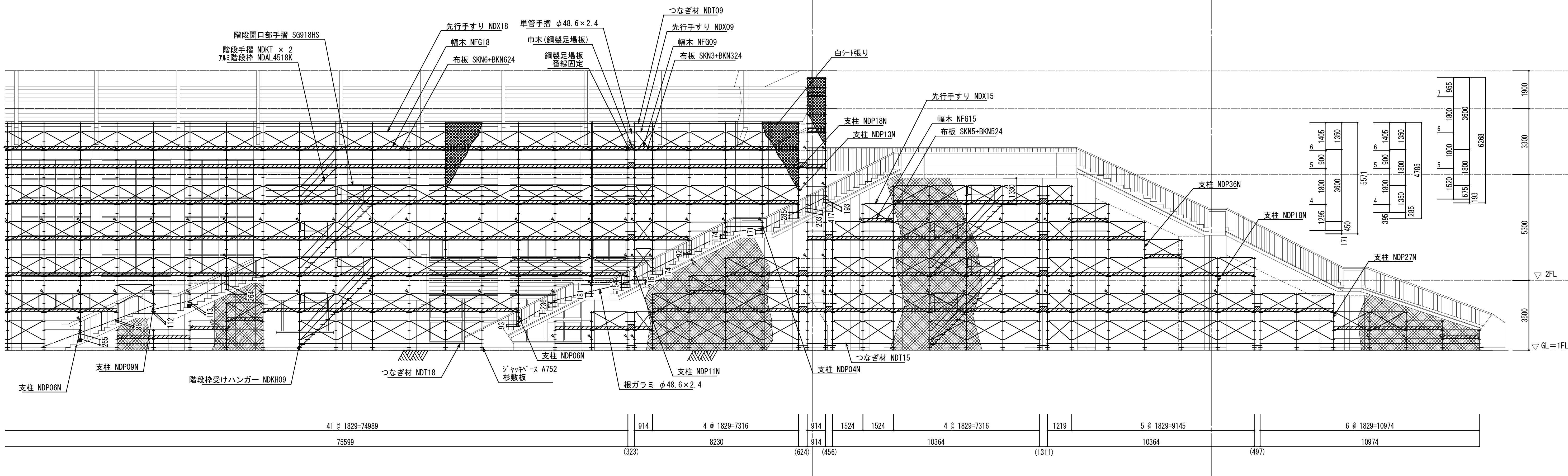


D-D断面図-1 S=1/100

※KAK-22 ～ KAK-24 1塁側 E' 通り面

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事		製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
						※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.15	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－36

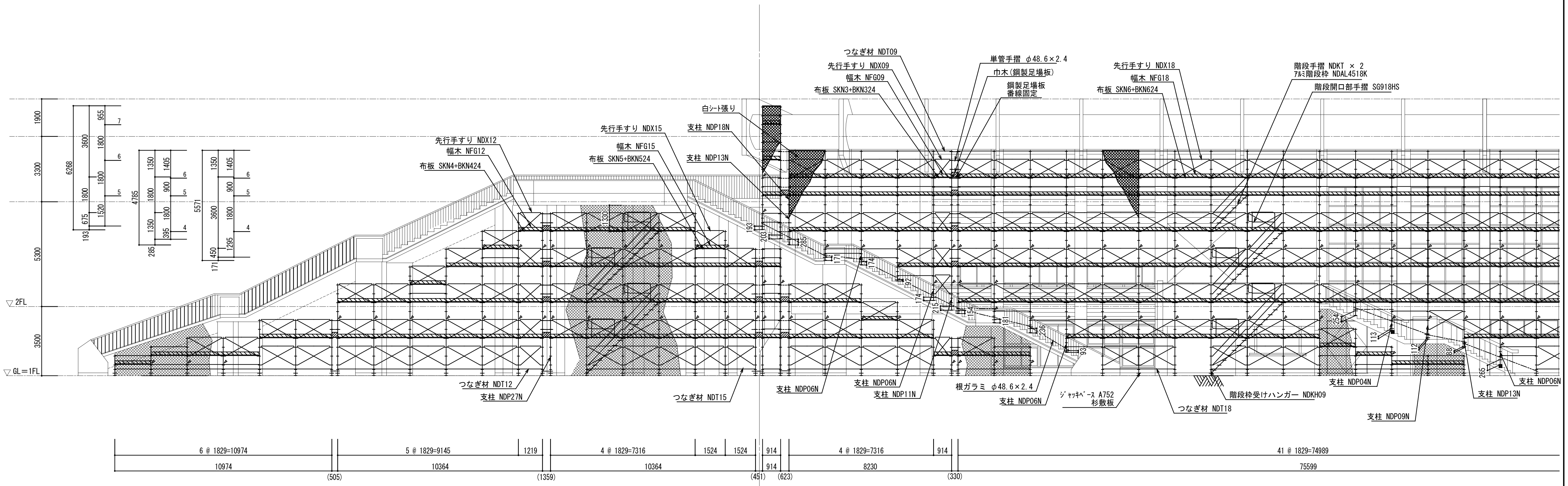


D-D断面図-2 S=1/100

※KAK-22 ～ KAK-24 1塁側(E')通り面

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.16	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－37

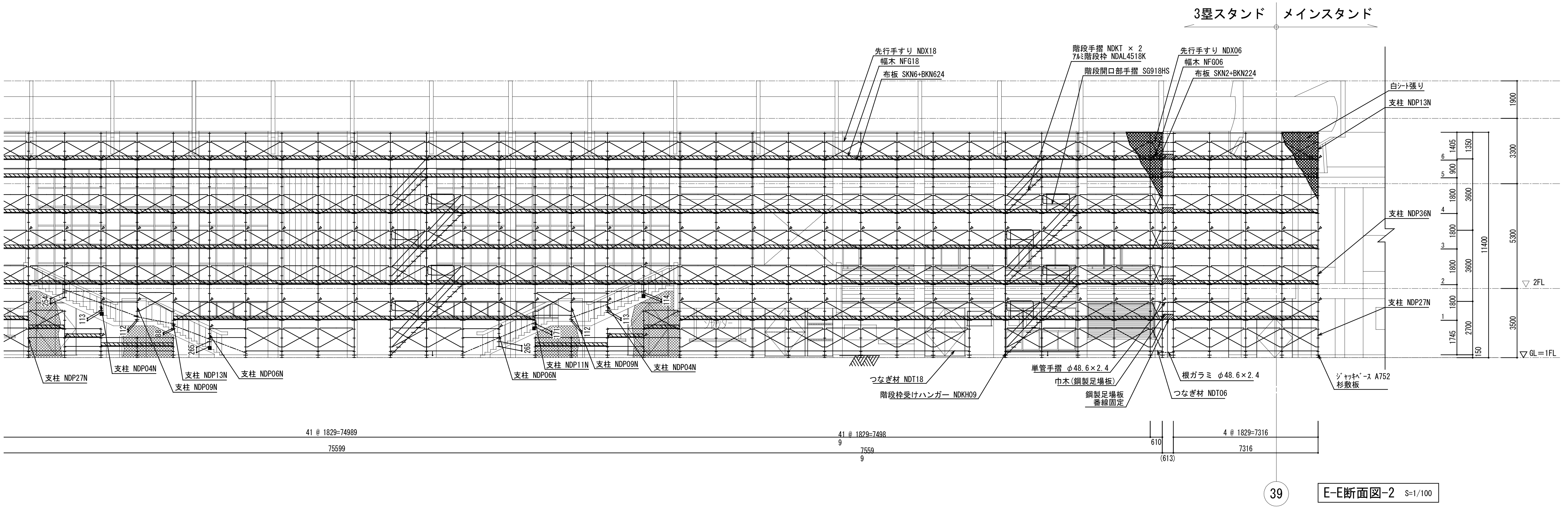


E-E断面図-1 S=1/100

※KAK-25 ～ KAK-27　３塁側 E' 通り面

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号	【参考図】 仮設計画図（スタンド下部足場）No.17	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－38

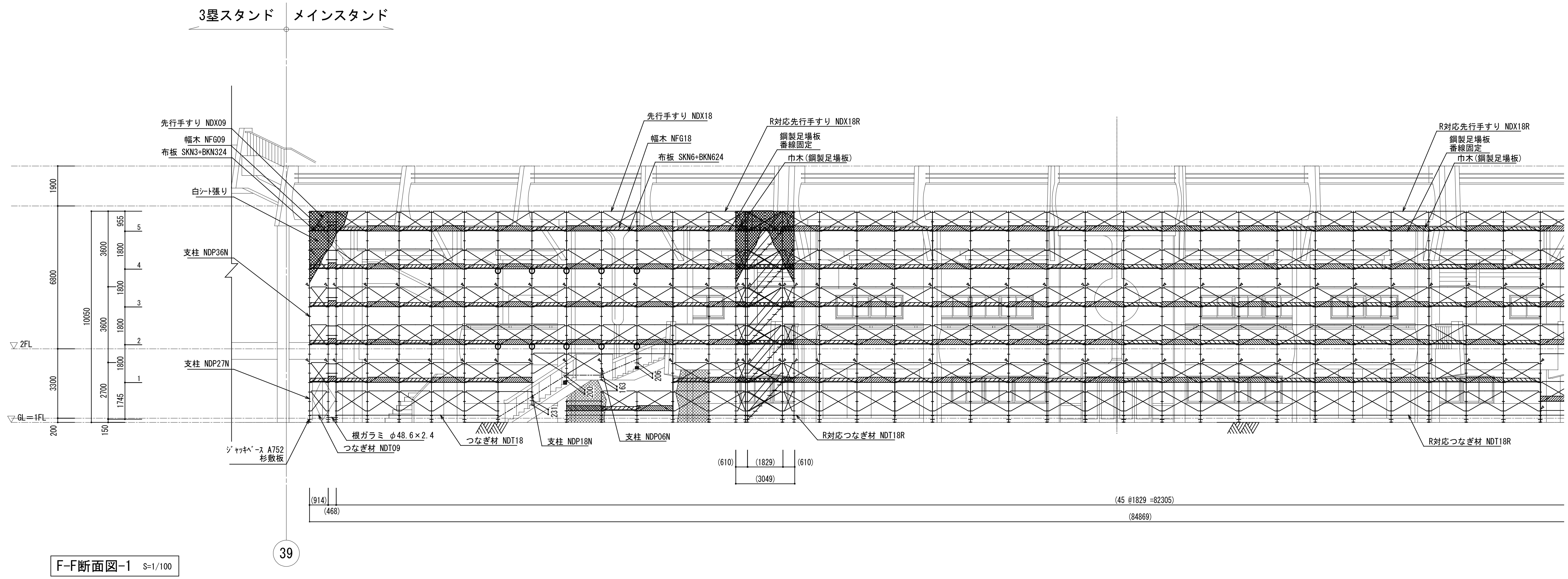


E-E断面図-2 S=1/100

※KAK-25 ～ KAK-27　３塁側 E' 通り面

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	年 月 日 / 設計番号	図面内容 スタジアム 【参考図】 仮設計画図（スタンド下部足場）No.18	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	区分 共通	図面番号 KAK－39

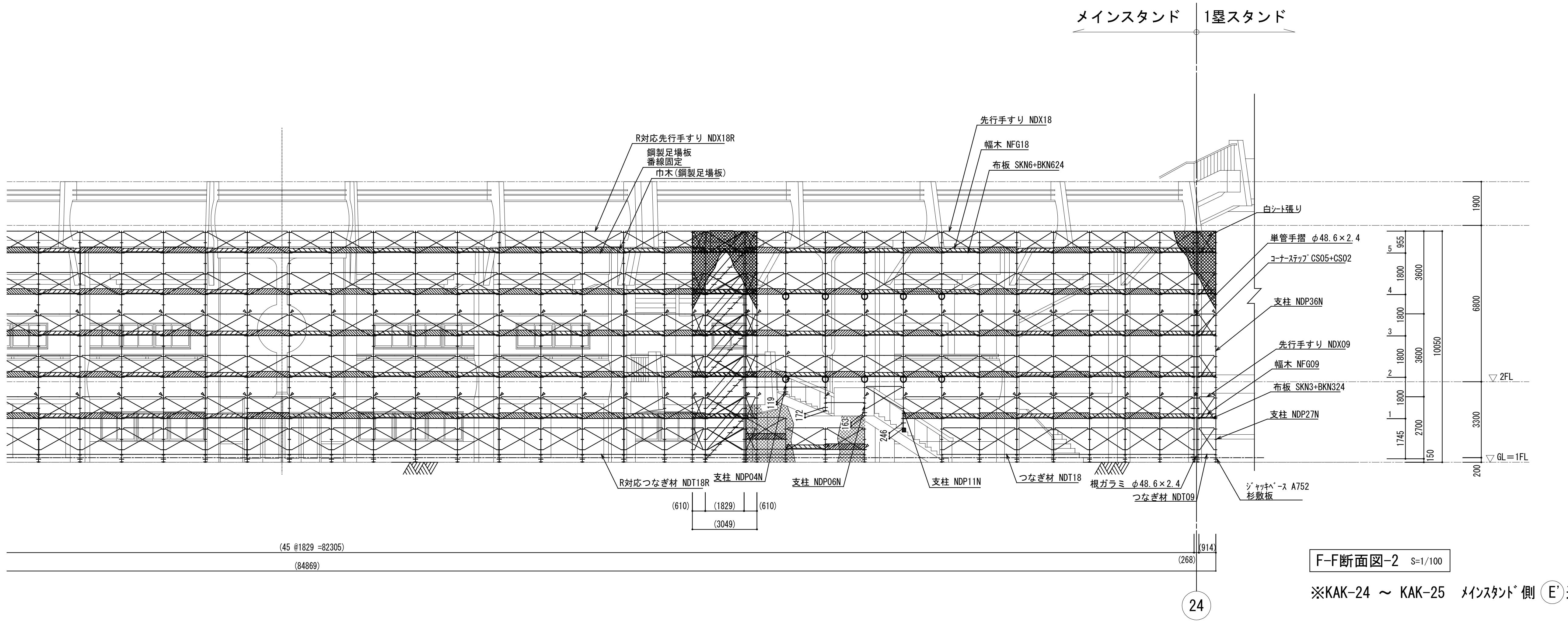


F-F断面図-1 S=1/100

※KAK-24 ～ KAK-25 ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ側 (E')通り側

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	年月日 / 設計番号	図面内容 スタジアム 【参考図】 仮設計画図（スタンド下部足場）No.19	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	区分 共通	図面番号 KAK－40

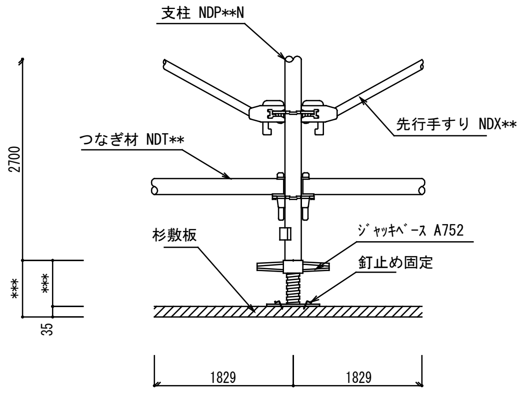


F-F断面図-2 S=1/100

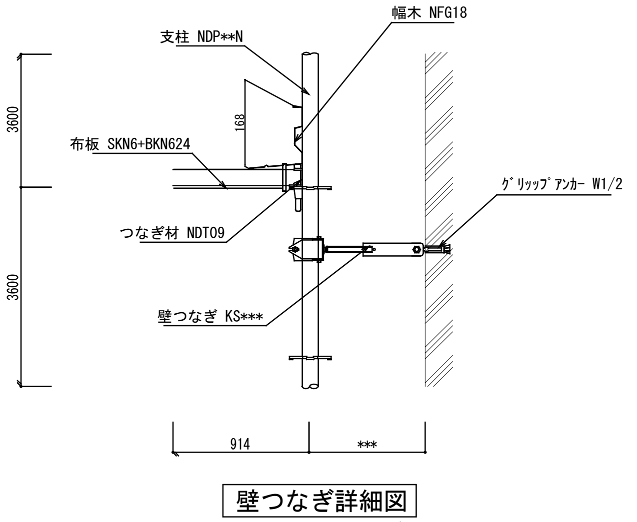
※KAK-24 ～ KAK-25 メインスタンド側 E'通り側

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

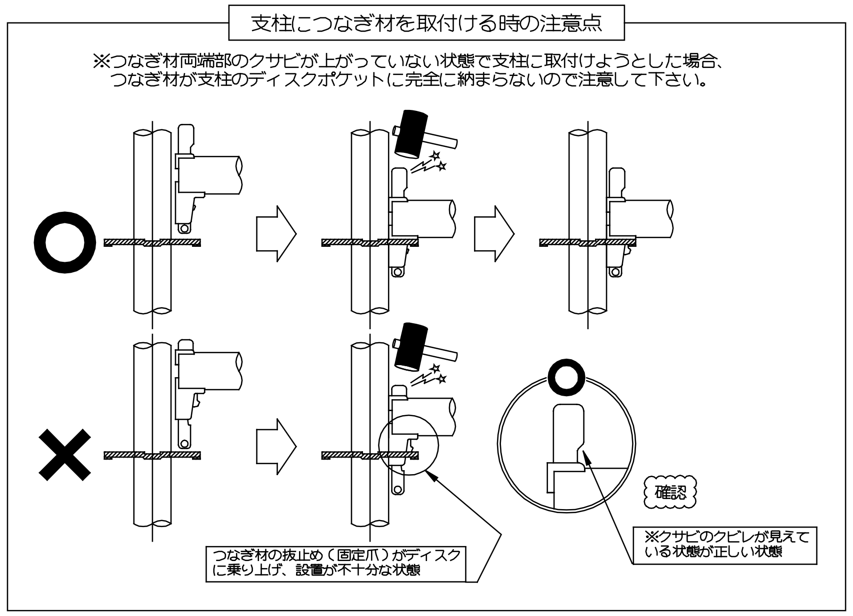
工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場(脚立足場)とする。	設計番号		仮設計画図(スタンド下部足場) No.20	A1:1/100 A3:1/200	共通	KAK－41

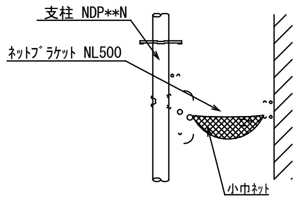


脚部標準詳細図
S=1/10

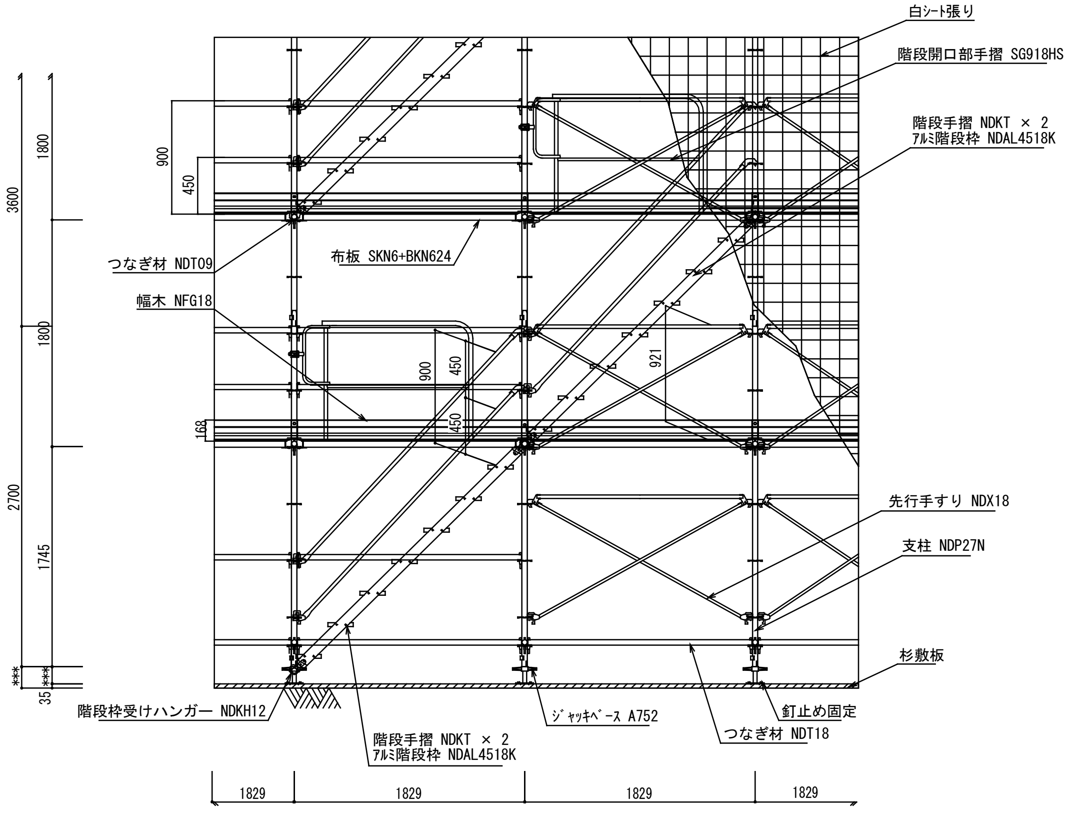


壁つなぎ詳細図
S=1/10





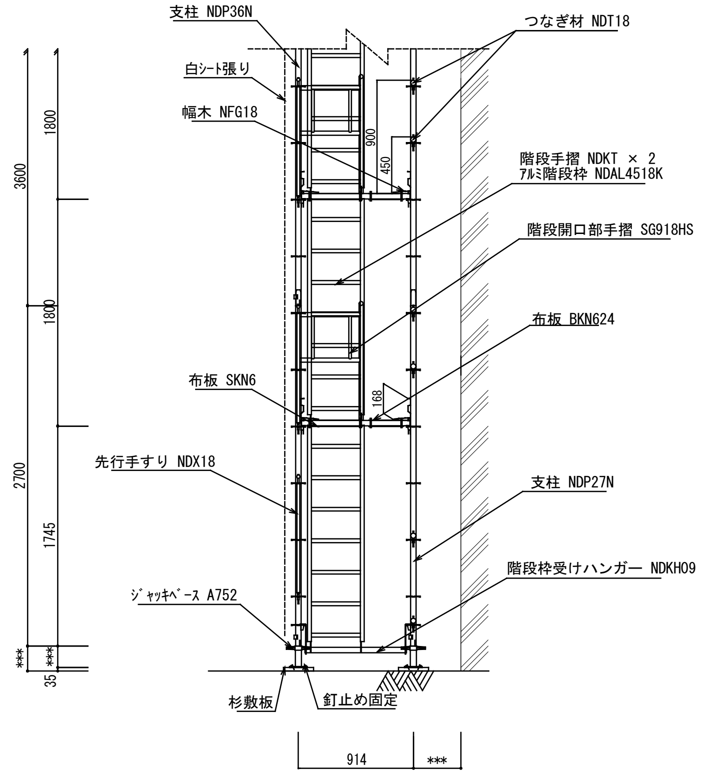
ﾈｯﾄﾌﾞﾗｹｯﾄ部詳細図
S=1/10



内側

外側

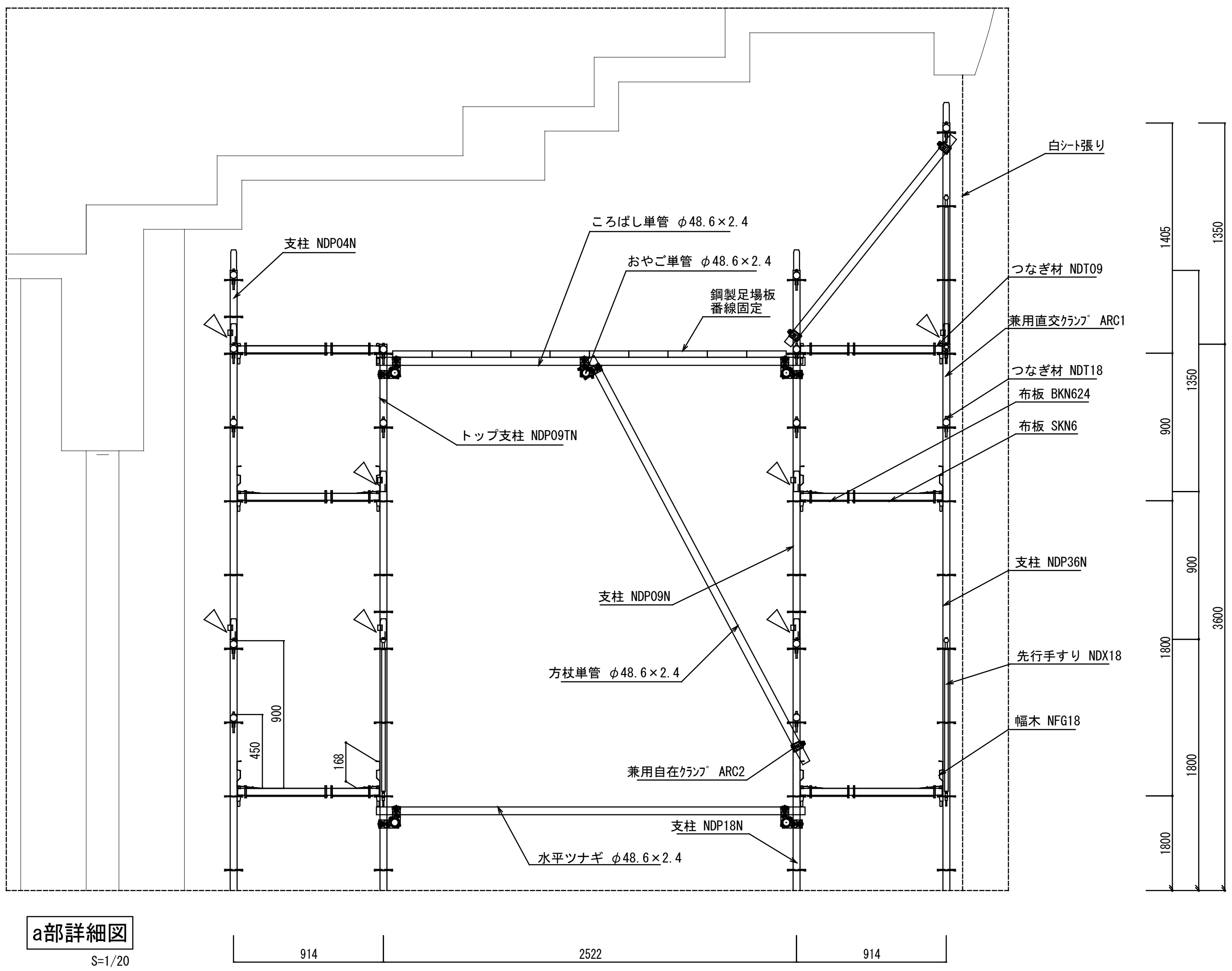
階段部詳細図
S=1/30



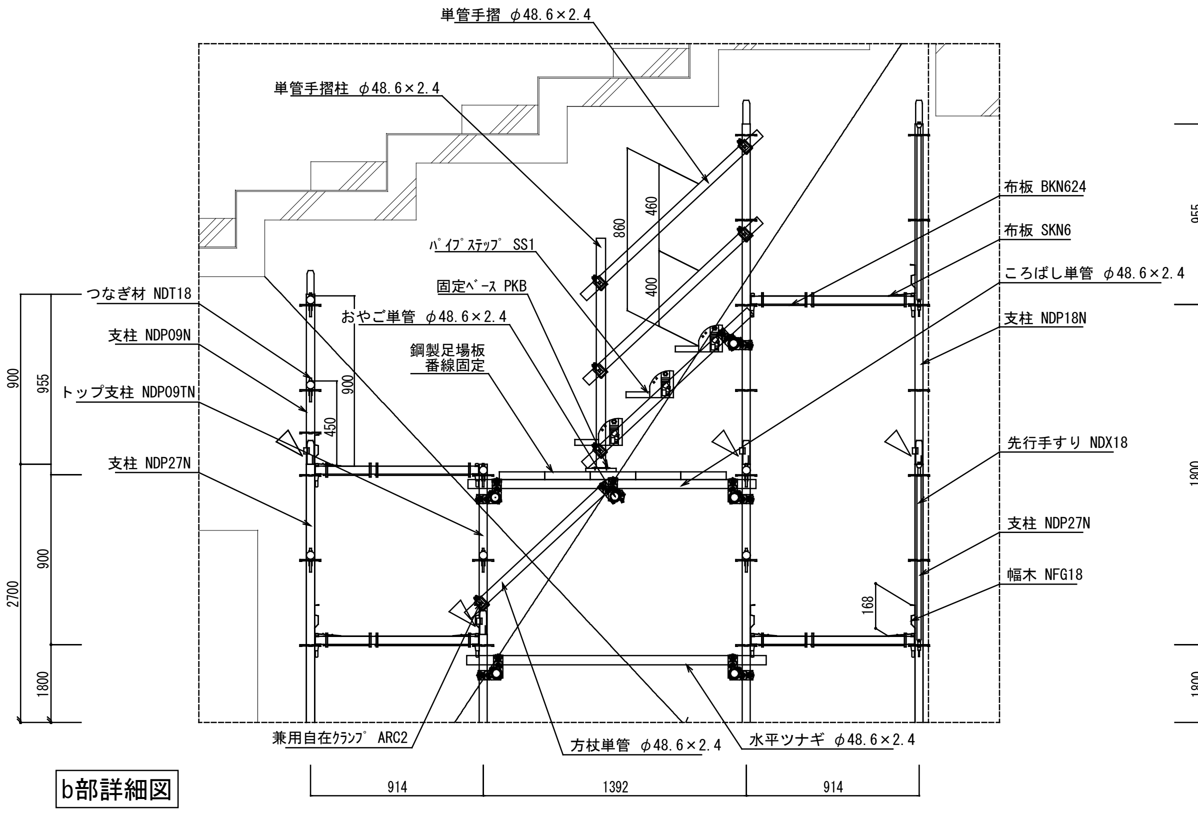
支柱 NDP(W:914)断面詳細図
S=1/30

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

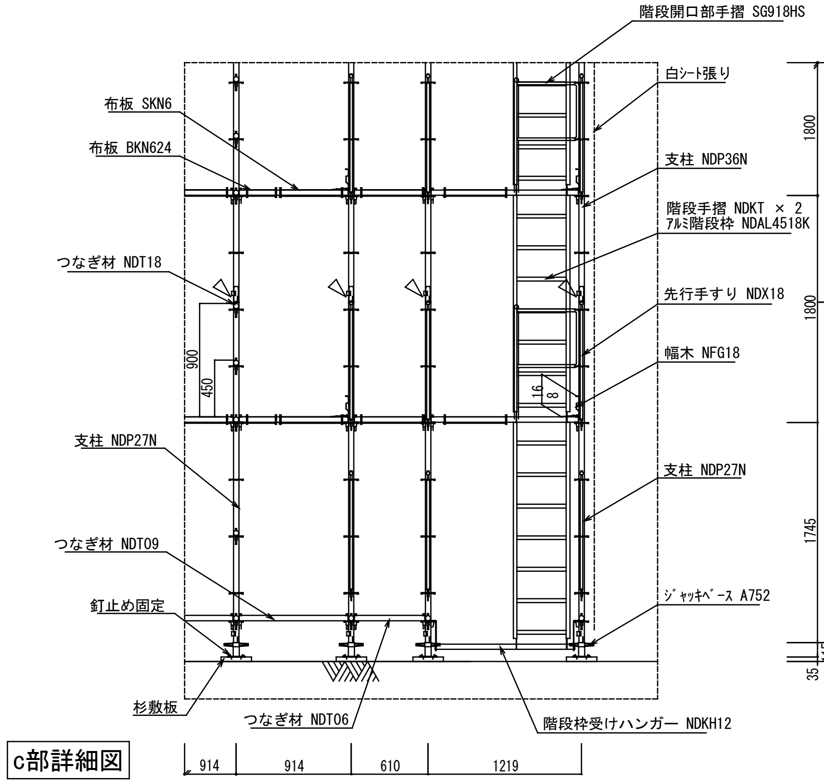
工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容 【参考図】	縮尺	区分	図面番号
					※白ｼｰﾄは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	設計番号		仮設計画図（スタンド下部足場）No.21	A1:1/10,30 A3:1/20,60	共通	KAK－42



a部詳細図
S=1/20



b部詳細図
S=1/20



c部詳細図
S=1/30

※図面は参考であり、積算については入札公告の金抜き内訳書を御参照ください。

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記 ※白シートは防炎Ⅱ類品とする。 ※内部仕上げ撤去は内部仕上げ足場（脚立足場）とする。	年月日 / 設計番号	図面内容 【参考図】 仮設計画図（スタンド下部足場）No.22	縮尺 A1:1/20,30 A3:1/40,60	区分 共通	図面番号 KAK－43

現地調査総括表

【今回調査箇所】

棟、階	部屋名、機器	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	含有部位
例)〇棟〇階		(注1)	(注2)	(注3)	目視・採取	(注4)	有無、種別、含有量	個票頁数	
外部2	スタジアム外周部	外壁	ふっ素樹脂塗装	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部3	スタジアム外周部	外壁	アクリル系弾性 吹付タイル	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部4	スタジアム グラウンド側	外壁	VP2	3	目視(採取)	やや劣化	クリソタイル検出	4	下地調整材
外部5	スタジアム グラウンド側	外壁	超低汚染NAD型 ポリウレタン系弾性塗装	3	目視(採取)	やや劣化	クリソタイル検出	4	下地調整材
外部6	スタジアム グラウンド側	外壁	塗料(緑)	3	目視(採取)	やや劣化	クリソタイル検出	4	下地調整材
外部8	スタジアム	軒天	フレキシブルボード (t=6.0)	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部11	スタジアム 観客席	床-1	一液性ポリウレタン 特殊樹脂塗装	–	目視(採取)	–	無検出	3	
外部18	スタジアム ピロティ(LGS下地)	天井	フレキシブルボード (t=6.0)目スカシEP	3	目視(採取)	劣化	クリソタイル検出	4	ボード
外部20	スタジアム屋外階段 (B、D、E、F)	壁、手摺壁	アクリル系弾性 吹付タイル	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部28	バックスクリーン・ スコアボード	外壁	センターサイディング	–	目視(採取)	–	無検出	2	
外部30	屋外便所	外壁、軒天	アクリルリシン吹付	–	目視(採取)	–	無検出	2	
外部32	スタジアム	外壁 (耐震壁)	複層塗材E	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部33	スタジアム 観客席連絡通路	壁	AP(2)	–	目視(採取)	–	無検出	3	
外部34	スタジアム	外壁 (オレンジ-1)	吹付材	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部35	スタジアム	外壁 (白-1)	吹付材	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部36	スタジアム	階段 (ささら)	吹付材	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部37	スタジアム	外壁 (オレンジ-2)	吹付材	–	目視(採取)	–	無検出	1	
外部38	スタジアム	外壁 (白-2)	吹付材	3	目視(採取)	劣化	クリソタイル検出	1	下地調整材
外部39	スタジアム 観客席	床-2	シート	–	目視(採取)	–	無検出	3	
外部40	スタジアム グラウンド側	外壁 (補助員室外側他)	外壁材	3	目視(採取)	やや劣化	クリソタイル検出	4	下地調整材

【シーリング材種判定結果】

棟、階	採取場所	材種	PCB分析の要否	参照個票頁数	備考
1階 外部26	スタジアム開口部廻り	YC	不要	5	–

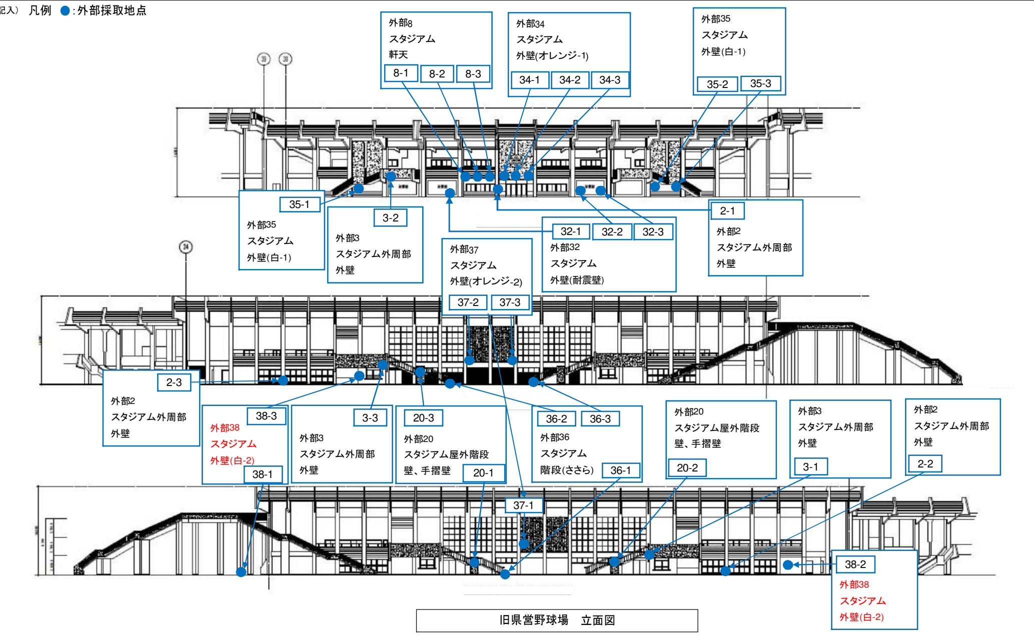
現地調査個票

頁:1/6

階 —	部屋名 —	部位 —	材料 —	厚さ —	劣化度 —	備考 —	(採取) 目視

メモ　石綿含有建材:外部38 スタジアム外壁(白-2)
（石綿含有建材箇所は赤字）

（自由記入）　凡例 ●:外部採取地点



旧県営野球場　立面図

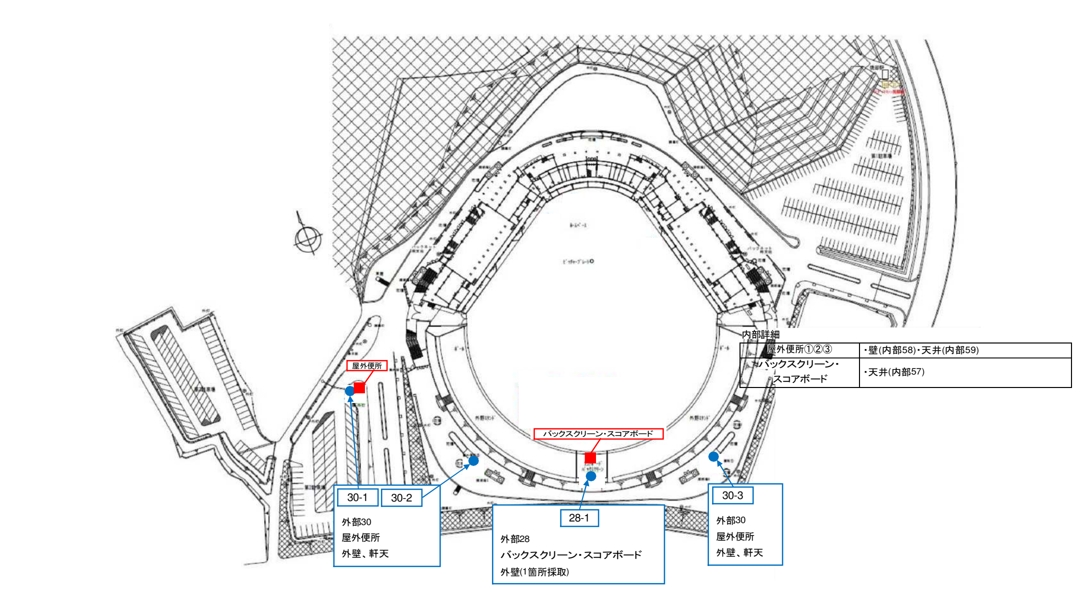
現地調査個票

頁:2/6

階 —	部屋名 —	部位 —	材料 —	厚さ —	劣化度 —	備考 —	(採取) 目視

メモ　石綿含有建材:—
（石綿含有建材箇所は赤字）

（自由記入）　凡例 ●:外部採取地点　■:内部採取地点



旧県営野球場　1階平面図

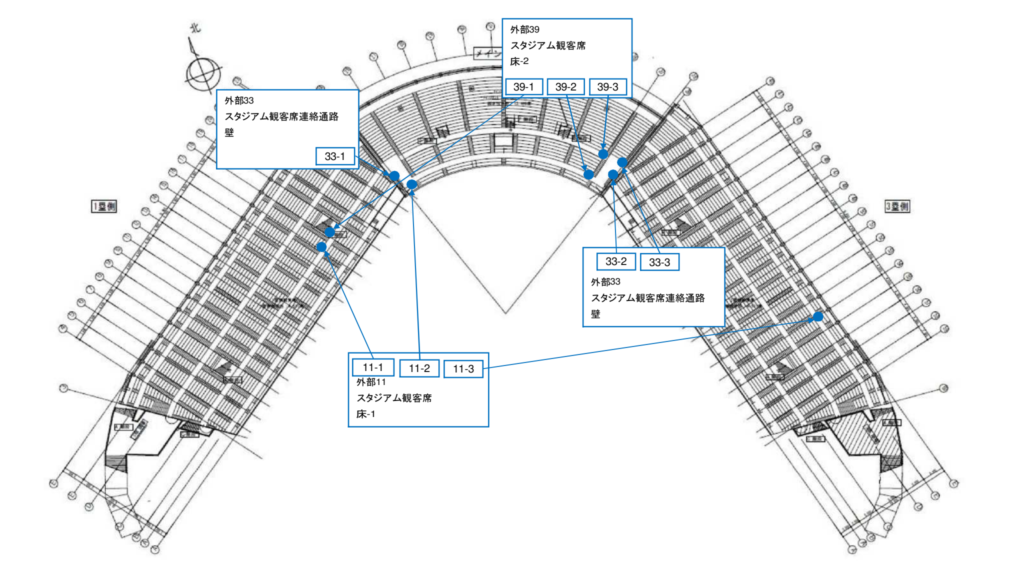
現地調査個票

頁:3/6

階 —	部屋名 —	部位 —	材料 —	厚さ —	劣化度 —	備考 —	(採取) 目視

メモ　石綿含有建材:—
（石綿含有建材箇所は赤字）

（自由記入）　凡例 ●:外部採取地点



旧県営野球場　3階平面図

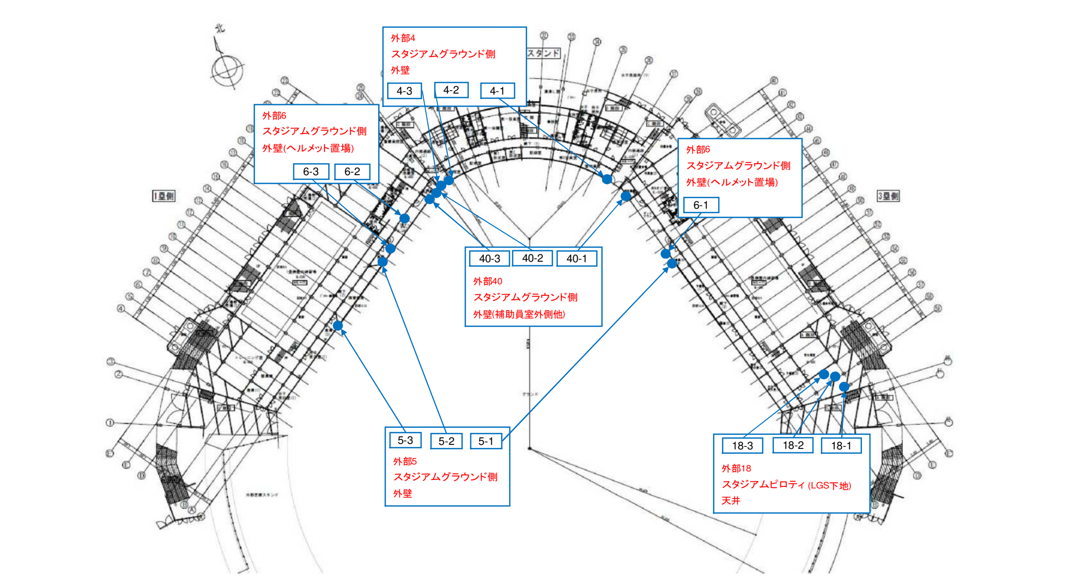
現地調査個票

頁:4/6

階 —	部屋名 —	部位 —	材料 —	厚さ —	劣化度 —	備考 —	(採取) 目視

メモ　石綿含有建材:外部4、外部5、外部6、外部40 スタジアムグラウンド側 外壁、外部18 スタジアム ピロティ(LSG下地)天井
（石綿含有建材箇所は赤字）

（自由記入）　凡例 ●:外部採取地点



旧県営野球場　1階平面図

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日 / 設計番号	図面内容	縮尺	区分	図面番号
							アスベスト調査表No.1 シーリングPCB含有調査表	A1:NON A3:NON	共通	KAK−44

現地調査総括表

【今回調査箇所】

棟、階	部屋名、機器	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	含有部位
例)○棟○階		(注1)	(注2)	(注3)	目視・採取	(注4)	有無、種別、含有量	個票頁数	
内部1	玄関	床	塗床仕上	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部2	玄関	壁	モルタル金ゴテ ダイヤソフト吹付	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部3	玄関	天井	アクリルリシン吹付	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部4	風除室	床	ゴムタイル (t=4.0)	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	5	接着剤
内部5	風除室	壁	モルタル金ゴテVP	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部6	事務室	床	長尺ビニルシート	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	5	接着剤
内部7	事務室	巾木	ソフト巾木	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部8	事務室	壁	石膏ボード(t=12.5)+ ビニルクロス貼	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部9	事務室	天井	成形板	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部12	湯沸室	巾木	EP	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部13	湯沸室	壁	EP	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部14	湯沸室	天井	ケイカル板 (t=5.0)	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部15	医務室	床	ビニルタイル	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部16	医務室	巾木	OP	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部17	医務室	壁	EP	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部18	医務室	天井	化粧石膏ボード (t=9.5)	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部19	女子便所(1)	天井	フレキシブルボード (t=4.0)	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部21	女子洗面所(1)	壁	EP-G	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部22	女子洗面所(1)	天井	フレキシブルボード (t=4.0)	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部25	選手控室(1)	床	塗床仕上	3	目視(採取)	やや劣化	クリソタイル検出	5	下地調整材
内部26	選手控室(1)	壁①	センチュリーボード(t=12)+ アクリル系弾性吹付タイル	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部27	選手控室(1)	壁②	石膏ボード(t=12.5)+ ビニルクロス貼①②	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部27	選手控室(1)	壁②	石膏ボード(t=12.5)+ ビニルクロス貼③	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部28	選手控室(1)	一般部 天井①-1	岩綿吸音板 (t=12)	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部28	選手控室(1)	一般部 天井①-2	石膏ボード(t=9.0)	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部29	選手控室(1)	下がり部 天井②	石膏ボード(t=12.5)+ ビニルクロス貼	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部31	審判員室	天井	アクリルリシン吹付①②	3	目視(採取)	劣化	クリソタイル検出	5	塗材
内部31	審判員室	天井	アクリルリシン吹付③	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部32	脱衣室	壁	アクリル系弾性吹付タイル	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部33	シャワー室	壁	アクリル系弾性吹付タイル ①	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	5	ボード
内部33	シャワー室	壁	アクリル系弾性吹付タイル ②③	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部34	第一会議室	壁	石膏ボード(t=9.5)+ ビニルクロス貼	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部35	入場券売り場	巾木	ソフト巾木	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部36	入場券売り場	壁	石膏ボード(t=12.5)VP	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部37	入場券売り場	天井	化粧石膏ボード (t=9.5)	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	5	ボード
内部38	警備員控室	天井	石膏ボード+塗材	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	5	ボード
内部39	警備員控室	壁	VP	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	5	下地調整材
内部43	ダックアウト (1塁、3塁)	床	合成ゴムマット敷 (t=5)	-	目視(採取)	-	無検出	5	-
内部46	電気室	床	防塵塗装	-	目視(採取)	-	無検出	5	-

棟、階	部屋名、機器	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	含有部位
例)○棟○階		(注1)	(注2)	(注3)	目視・採取	(注4)	有無、種別、含有量	個票頁数	
内部47	応接室	床	タイルカーペット (t=6.5)	-	目視(採取)	-	無検出	6	-
内部48	応接室	巾木	木製OSCL	-	目視(採取)	-	無検出	6	-
内部49	応接室	天井	ビニルクロス	-	目視(採取)	-	無検出	6	-
内部50	倉庫(6)	巾木	巾木	-	目視(採取)	-	無検出	6	-
内部51	売店(1)	天井	吸音防火ライト 目スカシVP	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	6	ボード
内部52	E階段	床	塗床仕上	-	目視(採取)	-	無検出	6	-
内部53	廊下(4)	壁	VP(2)	-	目視(採取)	-	無検出	6	-
内部54	廊下(4)	天井	吸音ボード+EP2	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	6	ボード
内部55	便所(7)	天井	フレキシブルボード (t=6.0)目スカシEP-G	3	目視(採取)	劣化なし	クリソタイル検出	6	ボード
内部57	バックスクリーン・ スコアボード	天井	フレキシブルボード (t=6.0)	-	目視(採取)	-	無検出	2	-
内部58	屋外便所①②③	壁	VP	-	目視(採取)	-	無検出	2	-
内部59	屋外便所①②③	天井	木毛セメント板(t=15)+ 白セメント吹付	-	目視(採取)	-	無検出	2	-
内部61	倉庫(6)	壁	吹付材	-	目視(採取)	-	無検出	6	-
		部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考

(注1)部位欄の「天井」表記は天井仕上げ材および天井裏の見上げ上階の床下も兼ねている。
(注2)国土交通省「目で見るアスベスト建材(第2版)」を参照。
(注3)想定されるレベルを必ず記載。レベルの定義は建設業労働災害防止協会編「石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止マニュアル」
(平成24年12月22日)に掲載されている分類による。石綿含有建材ではない場合「-」と必ず記入する。
(注4)「劣化なし」、「やや劣化」、「劣化」の3段階で評価する。

☐ 今回調査できなかった箇所

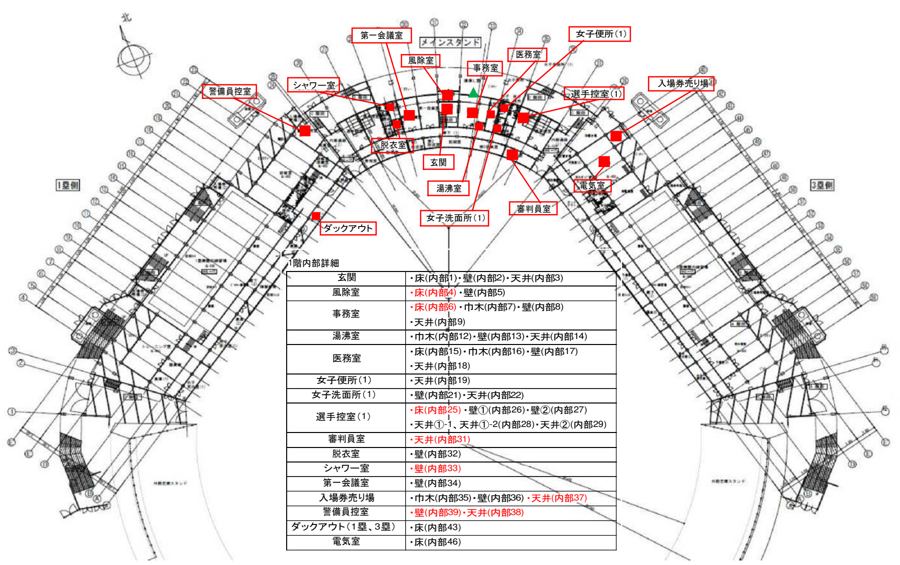
棟・階※	部位		推定材料名	調査できなかった理由	参照頁	備考
スコアボード バックスクリーン	外部軒天	-	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ t4 VP	取付部が高所であるため	-	-
-	-	-	-	-	-	-

現地調査個票

頁:5/6

階 —	部屋名 —	部位 —	材料 —	厚さ —	劣化度 —	備考 —	(採取) 目視
メモ	石綿含有建材:(内部4)風除室 床、(内部6)事務室 床、(内部25)選手控室(1) 床、(内部31)審判員室 天井、(内部33)シャワー室 壁、(内部37)入場券売り場 天井、(内部38)警備員控室 天井、(内部39)警備員控室 壁 (石綿含有建材箇所は赤字)						

(自由記入) 凡例 ■:内部採取地点 ▲:シーリング採取地点



1階内部詳細

玄関	・床(内部1)・壁(内部2)・天井(内部3)
風除室	・床(内部4)・壁(内部5)
事務室	・床(内部6)・巾木(内部7)・壁(内部8) ・天井(内部9)
湯沸室	・巾木(内部12)・壁(内部13)・天井(内部14)
医務室	・床(内部15)・巾木(内部16)・壁(内部17) ・天井(内部18)
女子便所(1)	・天井(内部19)
女子洗面所(1)	・壁(内部21)・天井(内部22)
選手控室(1)	・床(内部25)・壁①(内部26)・壁②(内部27) ・天井①-1、天井①-2(内部28)・天井②(内部29)
審判員室	・天井(内部31)
脱衣室	・壁(内部32)
シャワー室	・壁(内部33)
第一会議室	・壁(内部34)
入場券売り場	・巾木(内部35)・壁(内部36)・天井(内部37)
警備員控室	・壁(内部39)・天井(内部38)
ダックアウト(1塁、3塁)	・床(内部43)
電気室	・床(内部46)

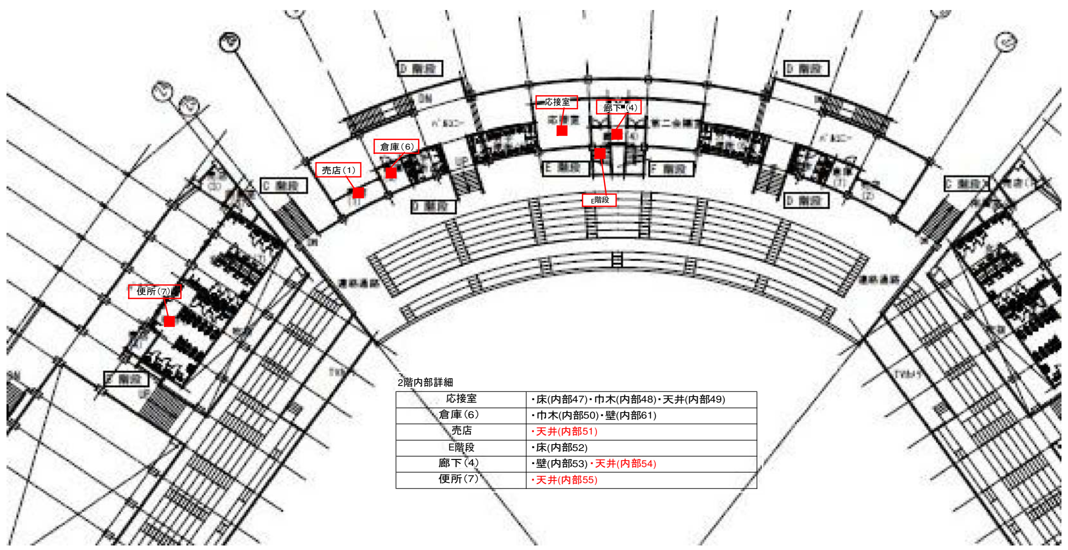
旧県営野球場　1階　平面図

現地調査個票

頁:6/6

階 —	部屋名 —	部位 —	材料 —	厚さ —	劣化度 —	備考 —	(採取) 目視
メモ	石綿含有建材:(内部51)売店 天井、(内部54)廊下(4) 天井、(内部55)便所(7) 天井 (石綿含有建材箇所は赤字)						

(自由記入) 凡例 ■:内部採取地点

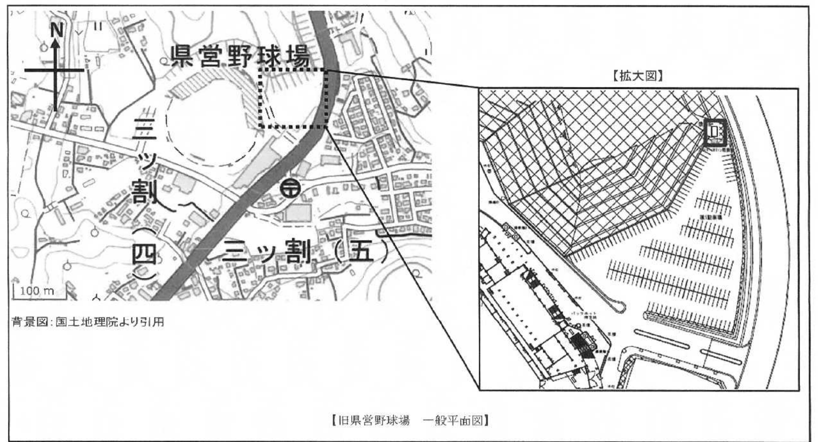


2階内部詳細

応接室	・床(内部47)・巾木(内部48)・天井(内部49)
倉庫(6)	・巾木(内部50)・壁(内部61)
売店	・天井(内部51)
E階段	・床(内部52)
廊下(4)	・壁(内部53)・天井(内部54)
便所(7)	・天井(内部55)

旧県営野球場　2階　平面図(拡大)

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号		アスベスト調査表No.2	A1:NON A3:NON	共通	KAK-45



【凡例】 □ ：小型焼却炉汚染物調査箇所

図2-1　汚染物調査位置図

位置図

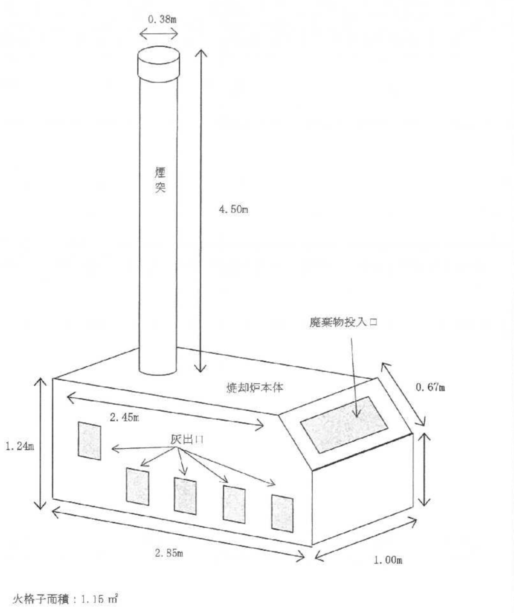


図 2-2　焼却炉概略図

外形図

4

ダイオキシン類分析結果報告書

発 行 番 号 №00D251178_3(1/2)
発行年月日 2025年12月12日

分析結果報告書

岩手県知事　達増　拓也　殿

貴依頼による分析の結果を下記のとおり報告致します。

試料採取日	2025年11月14日	採取時刻	16:30	採取者／所属	
採取状況	天気：曇、気温：8.2℃				
採取場所	旧県営野球場			試料受付日	2025年11月17日
件　名	旧県営野球場解体工事設計業務				
試料名	焼却灰			分析対象	廃棄物

分析項目	(単位)	分析結果	定量下限値	分析方法
Total ダイオキシン類　実測濃度	(ng/g)	8.5	−	厚生省告示第192号(平成4年7月3日)〔最終改正：環境省告示第22号(令和7年3月11日)〕
Total ダイオキシン類　毒性当量	(ng-TEQ/g)	0.11	−	厚生省告示第192号(平成4年7月3日)〔最終改正：環境省告示第22号(令和7年3月11日)〕
以下余白				

備考
1)結果における毒性当量は、PCDDs/PCDFs及びｺﾌﾟﾗﾅｰ-PCBをWHO-TEF(2006)によって2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算した総量を示す
毒性当量：定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出した
本試料は持込試料である

ダイオキシン類分析結果詳細

ダイオキシン類分析結果詳細　　　発 行 番 号 No.00D251178(2/2)

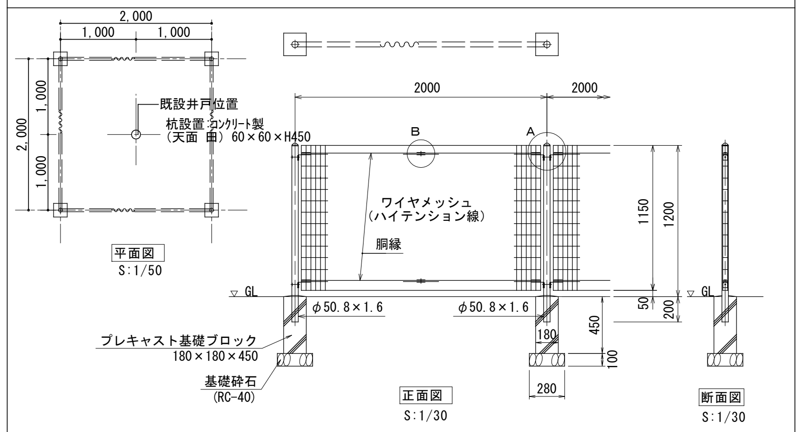
採取日：2025年11月14日

			実測濃度 (C) ng/g	試料における定量下限 C_{QL} ng/g	試料における検出下限 C_{DL} ng/g	毒性等価係数 (TEF)	毒性当量 (TEQ) ng-TEQ/g
試料名			焼却灰				
試料量			4.75 g (dry)				
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD		0.0056	0.0011	0.0003	1	0.0056
	TeCDDs		0.79	0.0011	0.0003	−	−
	1,2,3,7,8-PeCDD		0.026	0.0010	0.0003	1	0.026
	PeCDDs		0.90	0.0010	0.0003	−	−
	1,2,3,4,7,8-HxCDD		0.026	0.0021	0.0006	0.1	0.0026
	1,2,3,6,7,8-HxCDD		0.064	0.0020	0.0006	0.1	0.0064
	1,2,3,7,8,9-HxCDD		0.045	0.0015	0.0005	0.1	0.0045
	HxCDDs		1.1	0.0019	0.0006	−	−
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD		0.43	0.0026	0.0008	0.01	0.0043
	HpCDDs		0.84	0.0026	0.0008	−	−
	OCDD		0.61	0.004	0.001	0.0003	0.000183
	Total PCDDs		4.3	−	−	−	0.049583
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF		0.073	0.0010	0.0003	0.1	0.0073
	TeCDFs		1.6	0.0010	0.0003	−	−
	1,2,3,7,8-PeCDF		0.035	0.0009	0.0003	0.03	0.00105
	2,3,4,7,8-PeCDF		0.062	0.0011	0.0003	0.3	0.0186
	PeCDFs		0.83	0.0010	0.0003	−	−
	1,2,3,4,7,8-HxCDF		0.050	0.0022	0.0006	0.1	0.0050
	1,2,3,6,7,8-HxCDF		0.046	0.0011	0.0003	0.1	0.0046
	1,2,3,7,8,9-HxCDF		(0.0017)	0.0021	0.0006	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF		0.061	0.0024	0.0007	0.1	0.0061
	HxCDFs		0.47	0.0020	0.0006	−	−
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF		0.18	0.0011	0.0003	0.01	0.0018
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF		0.015	0.0007	0.0002	0.01	0.00015
	HpCDFs		0.25	0.0009	0.0003	−	−
	OCDF		0.066	0.0019	0.0006	0.0003	0.0000198
	Total PCDFs		3.2	−	−	−	0.0446198
Total (PCDDs + PCDFs)			7.5	−	−	−	0.0942028
DL-PCBs	3,4,4',5-TeCB	#81	0.069	0.0018	0.0005	0.0003	0.0000207
	3,3',4,4'-TeCB	#77	0.26	0.0014	0.0004	0.0001	0.000026
	3,3',4,4',5-PeCB	#126	0.10	0.0020	0.0006	0.1	0.010
	3,3',4,4',5,5'-HxCB	#169	0.048	0.0012	0.0004	0.03	0.00144
	Total ノンオルト体		0.48	−	−	−	0.0114867
	2',3,4,4',5-PeCB	#123	0.022	0.0019	0.0006	0.00003	0.00000066
	2,3',4,4',5-PeCB	#118	0.19	0.0025	0.0007	0.00003	0.0000057
	2,3,3',4,4'-PeCB	#105	0.14	0.0014	0.0004	0.00003	0.0000042
	2,3,4,4',5-/3,3',4,5,5'-PeCB	#114/#127	0.030	0.0017	0.0005	0.00003	0.00000090
	2,3',4,4',5,5'-HxCB	#167	0.029	0.0009	0.0003	0.00003	0.00000087
	2,3,3',4,4',5-HxCB	#156	0.064	0.0027	0.0008	0.00003	0.00000192
	2,3,3',4,4',5'-HxCB	#157	0.042	0.0017	0.0005	0.00003	0.00000126
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB	#189	0.048	0.0028	0.0009	0.00003	0.00000144
	Total モノオルト体		0.57	−	−	−	0.00001695
Total DL-PCBs			1.0	−	−	−	0.01150365
Total ダイオキシン類			8.5	−	−	−	0.11

[注]　1. 実測濃度（ng/g ）
2. 毒性等価係数：ダイオキシン類は、「WHO (2006)」を使用
3. 毒性当量：2,3,7,8-TeCDD毒性当量（ng-TEQ/g ）
4. 実測濃度が検出下限値未満の場合は「ND」と表示
5. 実測濃度中の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
6. 毒性当量は、定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出したものである。
（$C<C_{QL}$：0×TEF）

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日 / 設計番号	図面内容：ダイオキシン類分析結果	縮尺 A1:NON A3:NON	区分：共通 / 図面番号：KAK－46

新規 メッシュフェンス詳細図　S:1/30



外装仕様

- ・主　柱／パネル取付金具類 ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上 高耐候性樹脂粉体塗装
- ・ワイヤメッシュ／胴　縁 ・・・ 亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・ボルト、ナット ・・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

新規 フェンス取付表示板詳細図　S:1/10

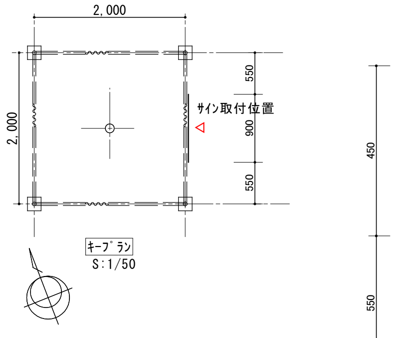
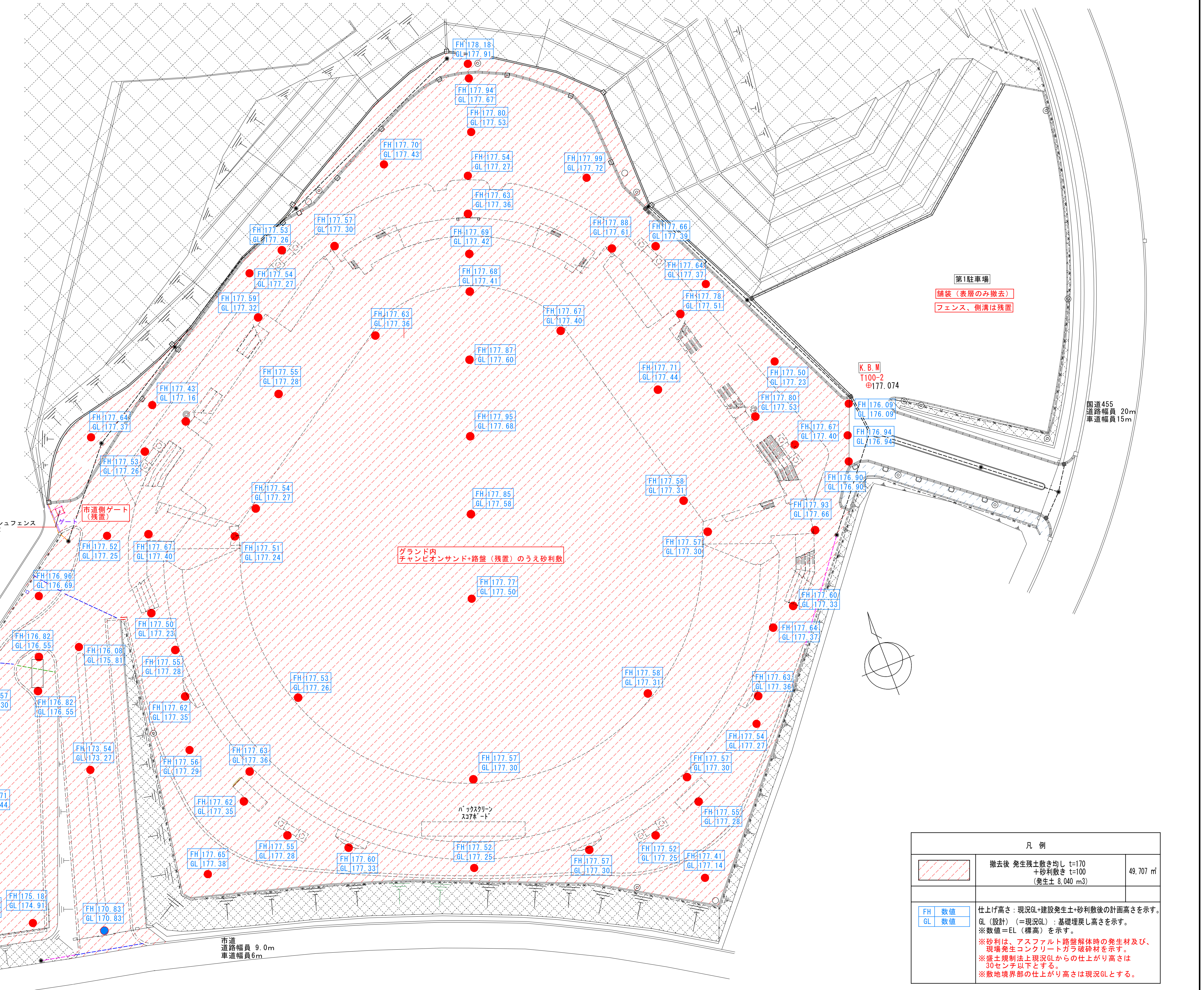
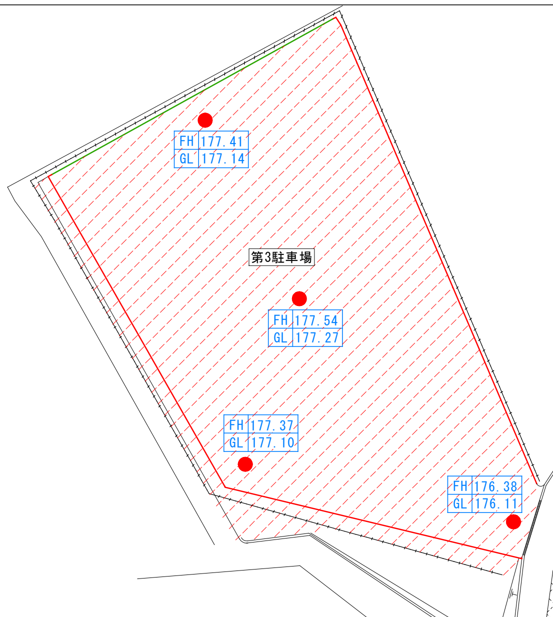


表　示:SUS304 t1.0
＋エッジング文字（文字色:赤文字）
通し穴へ樹脂被覆ワイヤーでフェンス取付（4か所留め）
※表記内容・色については監督員と協議





凡　例		
(斜線ハッチ)	撤去後 発生残土敷き均し t=170 ＋砂利敷き t=100 （発生土 8,040 m3）	49,707 ㎡
FH 数値 GL 数値	仕上げ高さ：現況GL+建設発生土+砂利敷後の計画高さを示す。 GL（設計）（＝現況GL）：基礎埋戻し高さを示す。 ※数値＝EL（標高）を示す。 ※砂利は、アスファルト路盤解体時の発生材及び、現場発生コンクリートガラ破砕材を示す。 ※盛土規制法上現況GLからの仕上がり高さは30センチ以下とする。 ※敷地境界部の仕上がり高さは現況GLとする。	

工事名	旧岩手県営野球場解体工事	製図	担当	検印	特記	年月日		図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号		解体後整地図	A1:1/10, 1/30, 1/600 A3:1/20, 1/60, 1/1200	共通	KAK－47